HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.20

HP Portfolio Managementユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2013年2月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2013年2月 (英語版)

ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Intel®、Intel® Itanium®、Intel® Xeon®、およびPentium® は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、およびWindows Vista®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

次のHPソフトウェアサポートのWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/

HPソフトウェアサポートオンラインでは、対話型の技術支援ツールに効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html （英語サイト）

目次

第 1 章　はじめに 9
HP Portfolio Management の概要 9
関連情報 11
第 2 章　ライフサイクルエンティティの作成 13
ライフサイクルエンティティの作成の概要 13
提案の作成 14
プロジェクトの作成 16
提案からのプロジェクト作成 17
一からのプロジェクトの作成 20
資産の作成 21
プロジェクトからの資産の作成 21
一からの資産の作成 23
スタッフィングプロファイルとライフサイクルエンティティとの併用 25
スタッフィングプロファイルの作成とライフサイクルエンティティへのリンク 26
スタッフィングプロファイルからの財務サマリ予測コストの計算 26
ビジネス目標とライフサイクルエンティティとの併用 27
ビジネス目標の作成とライフサイクルエンティティへのリンク 28
ビジネス目標の更新 29
第 3 章　階層ポートフォリオの作成と表示 31
階層ポートフォリオの作成と表示の概要 31
ポートフォリオ階層の表示 34
階層に表示されるポートフォリオとパス 35
ポートフォリオ階層の [予測コスト]、[実績コスト]、および [承認された予算] 37
名前の文字列によるポートフォリオの検索 37
階層ポートフォリオの作成 38
ポートフォリオヘッダ 40

空のポートフォリオの削除 40
[概要] タブ 41
[下位ポートフォリオ] タブ 43
下位ポートフォリオのポートフォリオへの追加 45
上位ポートフォリオからの下位ポートフォリオの削除 46
[プログラム] タブ 47
プログラムのポートフォリオへの追加 50
ポートフォリオからのプログラムの削除 51
[提案/プロジェクト/資産] タブ 52
提案、プロジェクト、および資産のポートフォリオへの追加 56
提案、プロジェクト、および資産のポートフォリオからの削除 59
ポートフォリオ内の提案、プロジェクト、資産の検索 60
ポートフォリオテーブルの列の変更 61
ポートフォリオの Microsoft Excel® へのエクスポート 62
ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加 63
階層ポートフォリオのアクセス権の構成 64

第 4 章 ポートフォリオの分析 67
ポートフォリオの分析の概要 67
特定のライフサイクルエンティティの表示 68
ポートフォリオの分析 69
価値とリスクの評価の決定 77
HP Portfolio Management ポートレットの使用 78
[現在のポートフォリオの分析] ポートレットを使用したポートフォリオの表示 79
ポートフォリオ (<カテゴリ>別) ポートレットを使用したポートフォリオデータの表示 80

第 5 章 What-If 分析 83
What-If 分析の概要 83
シナリオ比較の作成 84
[シナリオ比較] ページの概要 87
シナリオコンテンツテーブルで使用可能なオプション列 90
シナリオ比較のシナリオコンテンツの外観を変更する方法 91
シナリオ比較の結果 (タブ) の確認 93
[概要] タブ 93
[予算サマリ] タブ 95
[コストベネフィット] タブ 96
[資産クラス別予算] タブ 97
[プロジェクトクラス別予算] タブ 98

[ビジネス目標別予算] タブ 99
[効率的フロンティア] タブ 100
効率的フロンティアグラフについて 100
効率的フロンティアグラフの作成 102
シナリオ比較の表示と変更 107
シナリオ比較のリストと表示 108
シナリオ比較の基本情報の変更 111
シナリオ比較内のシナリオコンテンツの変更 113
シナリオで使用するシナリオ比較内のライフサイクルエンティティの選択 113
ライフサイクルエンティティのシナリオ比較およびそのシナリオへの追加 114
シナリオ比較からのライフサイクルエンティティの削除 117
シナリオ比較へのメモの追加 118
シナリオ比較の削除 118
シナリオ比較のコピー 119
個々のシナリオの変更 119
シナリオに対するシナリオ比較内のライフサイクルエンティティの追加または削除 119
シナリオの名前の変更 120
シナリオ内のライフサイクルエンティティの開始日の調整 121
ライフサイクルエンティティの詳細の表示 123
シナリオのロールの可用性と要件の表示 124
シナリオの最適化の実行 126
新しいシナリオの最適化の実行 127
既存の最適化の変更 137
既存の最適化のコピー 138
最適化済みシナリオのコンテンツの変更 139
シナリオ比較のアクセス権の設定 139
ユーザの表示アクセス権の設定 140
既存ユーザの編集アクセス権の設定 141
シナリオ比較ポートレットの使用 143

付録 A　財務メトリック 147
合計名目収益 147
正味現在価値 (NPV) 148
将来のプロジェクトの例 149
進行中のプロジェクトの例 150

索引 151

第 1 章 はじめに

HP Portfolio Managementの概要

HP Portfolio Management は、HP Project and Portfolio Management Center (PPM Center) のアプリケーションです。IT投資のリアルタイムビューを提供し、戦略的、財務的、機能的、および技術的なガバナンス要件をサポートします。HP Portfolio Managementは、IT提案、現在のプロジェクト、および確定資産をビジネスの戦略と整合させることで、ビジネスの拡大や変革を目指す新しいイニシアティブとビジネスの運営を支援している既存アプリケーションの双方の価値を最大化するのに役立ちます。

HP Portfolio Managementを使用すると、ビジネスとIT利害関係者は次のことを実行できるようになります。

- 適切なレベルの検討と承認を行うことにより、ITへの投資を協力しながら管理する
- 提案の妥当性評価と検討の段階から、プロジェクトの開始、実行、デプロイ、利益の実現にいたるまで、エンティティのライフサイクル全体を監視する
- さまざまなポートフォリオを提案、プロジェクト、資産、プログラム、およびその他のポートフォリオのセットとして構成する
- 特定の目標に基づく自動シナリオの最適化など、より作成しやすいシナリオ比較機能を使用してWhat-Ifシナリオ分析を行うことにより、よりよい投資判断を行う

本書では、「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、または資産を表すために使用されます。「ライフサイクルエンティティ」は提案、プロジェクト、および資産を任意に組み合わせたものです。

各タイプのライフサイクルエンティティは、一から作成することもできますが、通常、リクエストタイプの構成に応じて、提案は承認時に自動的にプロジェクトになり、プロジェクトは完了時に自動的に資産になります。

第 1 章「はじめに」(9ページ) (本章) では、HP Portfolio Management の概要、およびHP Portfolio Managementに関連するその他の情報のリストを提供します。

HP Portfolio Management を使用すると、次のことを実行できるようになります。

- ライフサイクルエンティティを作成する。詳細については、第 2 章「ライフサイクルエンティティの作成」(13ページ) を参照してください。
- ライフサイクルエンティティ、プログラム、および下位ポートフォリオの特定のコレクションのパフォーマンスをトラッキングするポートフォリオを作成する。詳細については、第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31ページ) を参照してください。
- 第 4 章「ポートフォリオの分析」(67ページ) で説明するように、データをさまざまな方法で整理した各種ページやポートレットを使用して現在のポートフォリオを分析し、ライフサイクルエンティティスコアを決定付ける利益 (価値) とリスクを数値化する (財務メトリクスを求めるために HP Portfolio Management で使用される数式については、付録 A「財務メトリック」(147ページ) を参照)。
- シナリオの比較を複数作成し、目的に応じてWhat-If分析を行い、自動シナリオ最適化を実行して効率的フロンティアグラフを生成する (第 5 章「What-If分析」(83ページ) を参照)。

HP Portfolio Management を新しくインストールして使用する際には、管理者はスクリプトを実行して、会社の会計年度の範囲をカバーする、適切なセットの期間を設定する必要があります。詳細については、『Generating Fiscal Periods』を参照してください。

関連情報

次のドキュメントにも、HP Portfolio Managementに関連する情報が記載されています。

- 『HP Portfolio Management設定ガイド』
- 『Generating Fiscal Periods』
- 『Upgrade Guide』
- 『HP Project Managementユーザーガイド』
- 『HP Program Managementユーザーガイド』
- 『HP Resource Managementユーザーガイド』
- 『HP Financial Managementユーザーガイド』
- 『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』
- 『HP エンティティガイド』(ポートレット、リクエストタイプ、ワークフロー、およびレポートの説明があります)

これ以外の一般的な内容については、『スタートアップガイド』を参照してください。

第 2 章 ライフサイクルエンティティの作成

ライフサイクルエンティティの作成の概要

本書では、「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、または資産を表すために使用され、「ライフサイクルエンティティ」は提案、プロジェクト、および資産を任意に組み合わせたものです。

これら各タイプのライフサイクルエンティティは、一から作成することもできますが、通常、リクエストタイプの構成に応じて、提案は承認時に自動的にプロジェクトになり、プロジェクトは完了時に自動的に資産になります。

ライフサイクルエンティティは、ポートフォリオ (第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31ページ) を参照) およびシナリオ比較 (第 5 章「What-If 分析」(83ページ) を参照) に含めることができます。

本章の内容

- ライフサイクルエンティティの作成
- ライフサイクルエンティティに添付されるビジネス目標とスタッフィングプロファイルの作成

次の項では、提案、プロジェクト、資産を一から作成する方法、プロジェクトを提案から自動的に作成する方法、資産をプロジェクトから自動的に作成する方法について説明します。

提案の作成

提案は、提案されたプロジェクトについて意思決定するために必要なすべての情報を統合します。提案が提出されると、提案は解決に向かって事前に定義されたビジネスプロセスをたどります。

提案が本書の説明どおりに動作しない場合は、会社での構成が異なっている可能性があります。必要に応じて管理者に問い合わせてください。

提案を作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**作成**] > [**提案**] を選択します。

   あるいは、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**提案の作成**] を選択するか、[**開く**] > [**Demand Management**] > [**リクエストの作成**] を選択し、[**PFM - 提案**] の [**リクエストタイプ**] を選択して、[**作成**] をクリックします。

新規PFM - 提案の作成

送信 キャンセル

すべて展開する | すべて折りたたむ

サマリ

作成者:
Admin User

ドライブ プロセス:
PFM - 提案

ビジネス ユニット:

ステータス:
未送信

説明:

プロジェクト タイプ:

*地域:

提案の依存関係:

提案の詳細

*提案名:

プロジェクト クラス:

資産クラス:

ビジネス目標:

主要受益者:

スポンサー部署:

エグゼクティブ スポンサー:

プロジェクト スポンサー:

影響を受けるビジネス ユニット:

関係するベンダ:

*予定されている開始期間
April 2013

*予定されている終了期間

プロジェクト マネージャ:

ベネフィット マネージャ:

ビジネス ケースの詳細

スタッフィング プロファイル:
(スタッフィング プロファイルなし) 作成

名目収益:

価値の評価:
0

リスクの評価:
0

スコアの調整

合計スコア:
0

ビジネス ケース ドキュメント:
(ドキュメントが添付されていません) 追加

要件ドキュメント:
(ドキュメントが添付されていません) 追加

財務サマリ:
(財務サマリなし)

関連付けられた プログラム:
(関連付けられたプログラムなし)

ポートフォリオ:
(関連付けられたポートフォリオなし)

価値の評価

内部収益率:

戦略との適合性:

競合上の優位性:

競争上の反応性:

生産性:

リスクの評価

組織のリスク:

技術的なリスク:

アーキテクチャのリスク:

定義リスク:

インフラストラクチャのリスク:

メモ

参照

3. すべての必須フィールドと任意のフィールドに入力します。

提案の構成を変更して、デフォルトの必須フィールドと異なるセットのフィールドを必須に設定できます。必須のフィールドの変更については、『HP Demand Management設定ガイド』を参照してください。

4. [**送信**] をクリックします。

提案が作成され、承認プロセスを開始します。

提案を作成すると、データと関連付けられていない財務サマリが作成されます。アクセス許可とアクセス権がある場合は、財務サマリを表示または編集できます。詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

「提案からのプロジェクト作成」(17ページ) では、提案がその承認時にどのようにプロジェクトになるのか、およびいくつかのフィールド名がそれに応じてどのように変更されるかについて説明します。

プロジェクトの作成

アクティブなプロジェクトは、情報を統合し、実行されたアクションを記録し、現在作業中のイニシアティブのステータスを反映します。

プロジェクトが本書の説明どおりに動作しない場合は、会社での構成が異なっている可能性があります。必要に応じて管理者に問い合わせてください。

プロジェクトは、提案が承認されたときに自動的に作成され、関連情報と添付されているエンティティを繰り越します (「提案からのプロジェクト作成」を参照)。プロジェクトを一から作成することもできます (「一からのプロジェクトの作成」(20ページ) を参照)。

提案からのプロジェクト作成

提案が承認されると、PPM Centerは次のアクションを実行します。

- デフォルトでは、対応するプロジェクトが自動的に作成されます。プロジェクトへの参照が提案に追加され、提案がクローズされ、提案への参照がプロジェクトに追加されます。
- プロジェクトは、そのまま提案と同じ財務サマリを使用し続けます。詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。
- デフォルトでは、財務サマリのスナップショットが自動的に取得されます。このスナップショットは削除できず、ライフサイクルエンティティのレコードの計画 (ベースライン) となります。スナップショットへのリンクを持つ [**承認済み提案のスナップショット**] フィールドが提案に追加されます。詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。
- 提案にスタッフィングプロファイルが添付されている場合、スタッフィングプロファイルがプロジェクトにコピーおよび添付されます。

元の提案のスタッフィングプロファイルと承認済み提案の財務サマリのスナップショットは、将来の比較のベースラインとして使用できます。

プロジェクトに自動的にコピーされる提案のフィールド値については、表 2-1 に示します (表でわかるとおり、プロジェクトではいくつかのフィールドの名前が変更されます)。表 2-1 のすべてのフィールドはデフォルトで有効になっていますが、一部のフィールドはデフォルトでは表示されません。提案内で値を持つ有効なフィールドはすべて、表示、非表示にかかわらずプロジェクトにコピーされます。

表 2-1. 提案からコピーされるプロジェクトのフィールド(1/2ページ)

フィールド名	説明
[**サマリ**] セクション	
ビジネスユニット	プロジェクトのスポンサーとなるビジネスユニット。
[**詳細**] セクション、[**プロジェクトの詳細**] サブセクション	
プロジェクト名 (提案では [提案名])	プロジェクトの名前。
プロジェクトクラス	プロジェクトが属するプロジェクトのクラス (たとえば、[**イノベーション**])。
資産クラス	プロジェクトが属する資産のクラス (たとえば、[**インフラストラクチャ**])。
ビジネス目標	プロジェクトを整合させる元となるビジネス目標。
[**詳細**] セクション、[**ビジネスケースの詳細**] サブセクション	
スタッフィングプロファイル	(読み取り専用) プロジェクトのリソースデマンド。
名目収益	(読み取り専用) 「合計名目収益」(147 ページ) の説明に従って計算される、プロジェクトの名目収益。
価値の評価	(読み取り専用) 「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明に従って計算される、プロジェクトの合計定性値。
リスクの評価	(読み取り専用) 「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明に従って計算される、プロジェクトの合計定性リスク。
正味現在価値 [a]	「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) の説明に従って計算される、プロジェクトのNPV。
カスタムフィールド値 [a]	プロジェクトのランク付けに使用されるカスタム財務メトリクス。
スコアの調整	プロジェクトについて計算された [**価値の評価**] − [**リスクの評価**] が [**合計スコア**] に達するために変更される数量 (負または正)。
合計スコア	(読み取り専用) プロジェクトについて計算された合計スコア ([**価値の評価**] − [**リスクの評価**] ＋ [**スコアの調整**])。

表 2-1. 提案からコピーされるプロジェクトのフィールド(2/2ページ)

フィールド名	説明
割引率 [a]	「正味現在価値 (NPV)」(148ページ) の説明に従って、プロジェクトに適用される割引率 (存在する場合)。
財務サマリ	(読み取り専用) ユーザに財務サマリを表示する権限が与えられている場合、その財務サマリにリンクされている提案およびプロジェクトの財務サマリの名前。提案とプロジェクトには、コピーではなく同じ財務サマリが使用されます。
関連付けられたプログラム	(読み取り専用) プロジェクトを含むプログラム。表示または編集アクセス権を持つプログラムのみリストされます。関連付けられたプログラムの詳細については、『HP Program Managementユーザーガイド』を参照してください。
ポートフォリオ	(読み取り専用) 表示または編集アクセス権を持っている場合に、ポートフォリオへのリンクとして表示される、プロジェクトを含むポートフォリオ。ポートフォリオの詳細については、第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31ページ) を参照してください。

a. デフォルトでは、表示されません。ただし、このフィールドを表示するようにPPM Serverを構成できます。

ビジネスニーズに基づいて、1つの提案から異なるワークフローステップで複数のプロジェクトを作成するように、ワークフローを構成できます。たとえば、承認済み提案をさまざまなビジネスユニットにわたる別のプロジェクトのセットとして実装できます。さまざまなプロジェクトに対してカスタム財務データを作成できます。詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

提案で、(業務コストのほかに) 資産計上されたコストを追跡するかどうかは、提案の [財務サマリの設定] ページのオプション [**提案は、資本コストを記録するプロジェクト用です**] の設定によって決まります。提案がプロジェクトになる場合、その提案の設定が、プロジェクトのコストと工数ポリシーの [**このプロジェクト上で資産計上されたコストを許可します**] オプションと矛盾することがあります。

プロジェクトタイプのコストと工数ポリシーがロックされているときにときに (つまり、そのタイプの個々のプロジェクトを、そのコストと工数ポリシーの設定より優先させることができないときに)、そのポリシーでの資産計上コストのトラッキングの設定が、提案の財務サマリの設定と矛盾する場合は、コストと工数ポリシーが優先されます。そうでない場合、プロジェクトの資産計上コストを追跡するための設定は、提案の設定と矛盾しません。

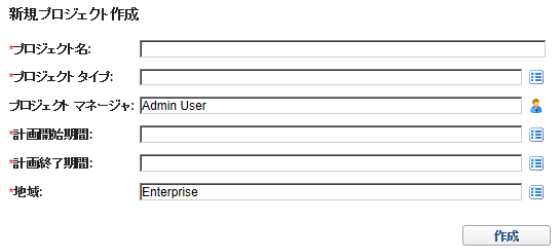
一からのプロジェクトの作成

提案プロセスを回避して、プロジェクトを一から作成することができます。トラッキングするプロジェクトは、計画済みか、すでに進行中の可能性があります。

プロジェクトを一から作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**作成**] > [**プロジェクト**] を選択します。

   または、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**プロジェクトの作成**] を選択します。



3. 必須フィールドのすべてと任意のフィールドに入力します。

   提案の構成を変更して、デフォルトの必須フィールドと異なるセットのフィールドを必須に設定できます。必須のフィールドの変更については、『HP Demand Management設定ガイド』を参照してください。

4. [**作成**] をクリックします。

   プロジェクトが [計画中] のステータスで作成されます。

   プロジェクトを一から作成すると、データと関連付けられていない財務サマリが作成されます。必要なアクセス許可とアクセス権がある場合、財務サマリを表示または編集できます。詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

資産の作成

資産は、企業がそれ以上の開発を行うことなく、継続的に維持し使用するエンティティについての情報を統合し、実行されるアクションを記録し、現在のステータスを反映します。すべてのアクティブな資産は、各アプリケーションのレベルではなくERPなどの集計レベルでトラッキングする必要があります。

資産が本書の説明どおりに動作しない場合は、会社での構成が異なっている可能性があります。必要に応じて管理者に問い合わせてください。

デフォルトでは、資産はプロジェクトが完了したときに自動的に作成され、関連情報と添付されているエンティティを繰り越します (「プロジェクトからの資産の作成」を参照)。資産を一から作成することもできます (「一からの資産の作成」(23ページ) を参照)。

プロジェクトからの資産の作成

プロジェクトが完了すると、PPM Centerは次のアクションを実行します。

- デフォルトでは、対応する資産が自動的に作成されます。資産への参照がプロジェクトに追加され、プロジェクトがクローズされ、プロジェクトへの参照が資産に追加されます。
- プロジェクトは、そのまま提案と同じ財務サマリを使用し続けます。財務サマリについては、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。
- プロジェクトにスタッフィングプロファイルが添付されている場合、スタッフィングプロファイルは資産にコピーされません。

資産に自動的にコピーされるプロジェクトのフィールド値については、表 2-2に示します (表でわかるとおり、資産ではいくつかのフィールドの名前が変更されます)。表 2-2のすべてのフィールドはデフォルトで有効になっていますが、一部のフィールドはデフォルトでは表示されません。プロジェクト内で値を持つ有効なフィールドはすべて、表示、非表示にかかわらず資産にコピーされます。

表 2-2. プロジェクトからコピーされる資産のフィールド(1/2ページ)

フィールド名	説明
[**サマリ**] セクション	
ビジネスユニット	資産の有力なユーザであるビジネスユニット。
[**詳細**] セクション、[**資産の詳細**] サブセクション	
資産名 (プロジェクトでは [プロジェクト名])	資産の名前。
資産ヘルス (プロジェクトでは [プロジェクトヘルス])	資産のステータス。
プロジェクトクラス	資産が属するプロジェクトのクラス (たとえば、[**イノベーション**])。
資産クラス	資産が属する資産のクラス (たとえば、[**インフラストラクチャ**])。
ビジネス目標	資産を整合させる元となるビジネス目標。
プロジェクト	資産となったプロジェクト。
[**詳細**] セクション、[**ビジネスケースの詳細**] サブセクション	
名目収益	(読み取り専用) 「合計名目収益」(147 ページ) の説明に従って計算される、資産の名目収益。
価値の評価	(読み取り専用) 「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明に従って計算される、資産の合計定性値。
リスクの評価	(読み取り専用) 「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明に従って計算される、資産の合計定性リスク。
正味現在価値 [a]	有効な場合、「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) の説明に従って計算される、資産のNPV。
カスタムフィールド値 [a]	定義されている場合、資産のランク付けに使用されるカスタム財務メトリクス。

表 2-2. プロジェクトからコピーされる資産のフィールド(2/2ページ)

フィールド名	説明
スコアの調整	資産について計算された [**価値の評価**] − [**リスクの評価**] が [**合計スコア**] に達するために変更される数量 (負または正) です。
合計スコア	(読み取り専用) 資産について計算された合計スコア ([**価値の評価**] − [**リスクの評価**] ＋ [**スコアの調整**])。
割引率	「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) の説明に従って、資産に適用される割引率 (存在する場合)。
財務サマリ	(読み取り専用) ユーザに財務サマリを表示する権限を与えられている場合、その財務サマリにリンクされているプロジェクトおよび資産の財務サマリの名前。プロジェクトと資産には、コピーでなく同じ財務サマリが使用されます。
関連付けられたプログラム	(読み取り専用) 資産を含むプログラム。表示または編集アクセス権を持つプログラムのみリストされます。関連付けられたプログラムの詳細については、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。
ポートフォリオ	(読み取り専用) 表示または編集アクセス権を持っている場合に、ポートフォリオへのリンクとして表示される、資産を含むポートフォリオ。ポートフォリオの詳細については、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

a. デフォルトでは、表示されません。ただし、このフィールドを表示するように PPM Server を構成できます。

一からの資産の作成

提案とプロジェクトのプロセスを回避して、資産を一から作成することができます。必要な資産がすでに存在している可能性があります。

資産を一から作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[**作成**] > [**資産**] を選択します。

   あるいは、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**資産の作成**] を選択するか、[**開く**] > [**Demand Management**] > [**リクエストの作成**] を選択し、[**PFM - 資産**] の [**リクエストタイプ**] を選択して、[**作成**] をクリックします。

新規PFM - 資産の作成

送信 キャンセル

すべて展開する | すべて折りたたむ

サマリ

作成者:
Admin User

ドライブ プロセス:
PFM - 資産

ビジネス ユニット:

ステータス:
未送信

説明:

資産の依存関係:

プロジェクト マネージャ:

*地域:

ベネフィット マネージャ:

資産の詳細

*資産名:

資産ヘルス:

プロジェクト クラス:

資産クラス:

年間メンテナンス コスト:

ビジネス目標:

プロジェクト:

ベンダ名:

ベンダによるメンテナンス中:
○はい ○いいえ

サービス投入日:

予定されている耐用期間終了日:

場所:

責任者:

従属アプリケーション:

ビジネス ケースの詳細

スタッフィング プロファイル:
(スタッフィング プロファイルなし) 作成

名目収益:
0

価値の評価:
0

リスクの評価:
0

スコアの調整:

合計スコア:
0

*割引率:
10

財務サマリ:
(財務サマリなし)

関連付けられた プログラム:
(関連付けられたプログラムなし)

ポートフォリオ:
(関連付けられたポートフォリオなし)

価値の評価

内部収益率:

戦略との適合性:

競合上の優位性:

競争上の反応性:

生産性:

リスクの評価

組織のリスク:

技術的なリスク:

アーキテクチャのリスク:

定義リスク:

インフラストラクチャのリスク:

メモ

参照

3. すべての必須フィールドと任意のフィールドに入力します。

資産を構成して、デフォルトで必須のフィールドと異なるセットのフィールドを指定することを求めるようにできます。必須のフィールドの変更については、『HP Demand Management設定ガイド』を参照してください。

4. [**送信**] をクリックします。

資産が作成されます。

資産を一から作成すると、データと関連付けられていない財務サマリが作成されます。必要なアクセス許可とアクセス権がある場合、財務サマリを表示または編集できます。詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

スタッフィングプロファイルとライフサイクルエンティティとの併用

スタッフィングプロファイルを使用すると、プロジェクトマネージャは予想されるリソースに対するデマンドをロール別に整理して計画およびトラッキングできます。スタッフィングプロファイルの各行は、ロールおよびオプションでそのロールを果たせるリソースをトラッキングします。

スタッフィングプロファイルは、ライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、および資産) に一対一でリンクできます。提案が承認され、プロジェクトになったときに、提案にスタッフィングプロファイルが添付されている場合、スタッフィングプロファイルがプロジェクトにコピーおよび添付されます。プロジェクトが完了し、資産になった場合、プロジェクトのスタッフィングプロファイルは、資産にコピーされず、資産と共有もされません。資産にスタッフィングプロファイルが必要な場合は、その資産のスタッフィングプロファイルを新しく作成してください。

「ポートフォリオの分析」(69ページ) に説明するように、スタッフィングプロファイル (リソース) はバブルチャートにさまざまな方法で表示できます。

スタッフィングプロファイルの作成とライフサイクルエンティティへのリンク

次のように、既存のスタッフィングプロファイルをライフサイクルエンティティにリンクするか、ライフサイクルエンティティにリンクされている新しいスタッフィングプロファイルを作成することができます。

- 提案または資産では、[**ビジネスケースの詳細**] セクションにある [**スタッフィングプロファイル**] フィールドで、既存のスタッフィングプロファイルを選択するか、[**作成**] をクリックします。
- プロジェクトでは、スタッフィングプロファイルを作成するには、[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにある [**スタッフィングプロファイルの作成**] ボタンをクリックします。

  既存のスタッフィングプロファイルをプロジェクトにリンクするには、メニューバーから [**検索**] > [**スタッフィングプロファイル**] を選択してから、目的のスタッフィングプロファイルを検索し、選択して開きます。[スタッフィングプロファイル] ウィンドウで、[**ヘッダの変更**] をクリックします。[スタッフィングプロファイルヘッダの変更] ウィンドウで、「**これは**」というテキストに続くドロップダウンリストから「**プロジェクト**」を選択し、画面のテキストとフィールドが次のように表示されるようにプロジェクトを選択します。

  これはプロジェクトスタッフィングプロファイル: <選択したプロジェクト>

スタッフィングプロファイルの作成と使用の詳細については、『HP Resource Managementユーザーガイド』を参照してください。

スタッフィングプロファイルからの財務サマリ予測コストの計算

ライフサイクルエンティティの財務サマリは、その予測人件費をライフサイクルエンティティのスタッフィングプロファイルから計算 (ロールアップ) するように構成できます。

この構成では、個々のリソースにコストカテゴリが指定されている場合、そのコストカテゴリが財務サマリの予測に使用されます。リソースにコストカテゴリが指定されていない場合は、ポジションのカテゴリが使用されます。

この構成を有効または無効にするには、提案と資産では、[財務サマリの設定] ページで、プロジェクトでは、[プロジェクト設定] ページの [**コストと工数**] ポリシーで行います。詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

ビジネス目標とライフサイクルエンティティとの併用

ビジネス目標には、ビジネスゴールを、優先順位付けしてライフサイクルエンティティにリンクできる個別のエンティティとしてトラッキングする方法が用意されています。ライフサイクルエンティティの [**ビジネス目標**] フィールドは、ライフサイクルエンティティをそのビジネス目標にリンクします。ビジネス目標は、ライフサイクルエンティティとは無関係に作成、変更、および削除できます。ただし、すでにライフサイクルエンティティにリンクされているビジネス目標は削除できません。

「ポートフォリオの分析」(69ページ) に説明するように、ビジネス目標はバブルチャートにさまざまな方法で表示できます。

また、ポートフォリオ (<**カテゴリ**> 別) ポートレットの1つであるビジネス目標別ポートフォリオポートレットは、一定期間のビジネス目標別の予算の内訳を棒グラフとして表示します。詳細については、「ポートフォリオ (<**カテゴリ**>別) ポートレットを使用したポートフォリオデータの表示」(80ページ) を参照してください。

最後に、シナリオ比較の [**ビジネス目標別予算**] タブは、一定期間の3つのシナリオに対して予算を視覚化して表示するタブの1つです。詳細については、「[ビジネス目標別予算] タブ」(99ページ) を参照してください。

ビジネス目標の詳細については、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。

ビジネス目標を作成および更新するには、「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可が必要です。詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。

ビジネス目標の作成とライフサイクルエンティティへのリンク

PPM Centerインスタンスが複数の言語をサポートしている場合、作成するビジネス目標は、ログオン時に選択した言語 (セッション言語) で定義されます。ビジネス目標は、作成した後、定義言語でのみ変更できます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

ビジネス目標を作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**ビジネス目標**] > [**新規ビジネス目標の作成**] を選択します。

   [新規ビジネス目標の作成] ページが開きます。

3. 必須フィールドのすべてと任意のフィールドに入力します。
4. [**作成**] をクリックします。

   ビジネス目標が作成されます。

提案、プロジェクト、または資産は、次のように既存のビジネス目標にリンクできます。

- 提案では、[**提案の詳細**] セクションの [**ビジネス目標**] フィールドで、既存のビジネス目標を選択します。
- プロジェクトでは、[**プロジェクトの詳細**] タブの [**PFM プロジェクト**] セクションの [**ビジネス目標**] フィールドで、既存のビジネス目標を選択します。
- 資産では、[**資産の詳細**] セクションの [**ビジネス目標**] フィールドで、既存のビジネス目標を選択します。

ビジネス目標の更新

PPM Centerインスタンスが複数の言語をサポートしていて、ビジネス目標がセッション言語以外の言語で定義されている場合、ビジネス目標を変更できません。詳細については、ビジネス目標を開いたときにページの上部に表示されるヘッダの [**理由**] をクリックするか、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

ビジネス目標を更新するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**ビジネス目標**] > [**ビジネス目標の管理**] を選択します。

   既存のビジネス目標のリストが表示されます。
3. 変更するビジネス目標の名前をクリックするか、[**削除**] アイコンをクリックしてビジネス目標を削除します。
4. 必要に応じてビジネス目標を更新し、[**完了**] をクリックします。

第 3 章 階層ポートフォリオの作成と表示

階層ポートフォリオの作成と表示の概要

本書では、「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、または資産を表すために使用されます。「ライフサイクルエンティティ」は提案、プロジェクト、および資産を任意に組み合わせたものです。

各タイプのライフサイクルエンティティは、一から作成することもできますが、通常、リクエストタイプの構成に応じて、提案は承認時に自動的にプロジェクトになり、プロジェクトは完了時に自動的に資産になります。

HP Portfolio Management を使用すると、ポートフォリオの財務情報を階層構造で作成し、トラッキングできます。階層ポートフォリオは、単一のビューポイント (IT組織とその提供サービス、ビジネスユニットとそれらのサービスに対するデマンドなど) から作成した場合に最も役に立ちます。たとえば、組織構成、地域の集合、機能ニーズや戦略ニーズに基づいて、階層全体を通じてポートフォリオに意味のある名前のセットを指定できます。

各階層ポートフォリオには、指定した次の項目を含めることができます。

- **ほかのポートフォリオ**: ポートフォリオに追加したときに下位ポートフォリオになります。PPM Centerインスタンス内のすべてのポートフォリオの階層は、[ポートフォリオ階層の表示] ページに表示されます。ポートフォリオ階層で下位ポートフォリオの次に高いレベルのポートフォリオは、下位ポートフォリオの上位ポートフォリオと呼ばれ、下位ポートフォリオは上位ポートフォリオの下位とも呼ばれます。

  上位ポートフォリオと下位ポートフォリオの階層リレーションシップを確立するには、リレーションシップが確立される可能性がある上位ポートフォリオと下位ポートフォリオの両方の編集が許可されている必要があります。上位ポートフォリオから下位ポートフォリオを削除する場合も同

様に、上位ポートフォリオと下位ポートフォリオの両方の編集が許可されている必要があります。ポートフォリオ階層の表示の詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34ページ) を参照してください。

下位ポートフォリオは、任意のレベルの従属 (深度) までネストすることができます。

ポートフォリオ (または下位ポートフォリオ) には、次の下位レベルで最大40個の下位ポートフォリオを設定できます。

- **プログラム**: ライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、および資産) のコレクションを含んでいます。ポートフォリオに追加されたプログラムは、ポートフォリオの下位ポートフォリオ内のプログラムとは異なるため、ポートフォリオ内の「直接」プログラムとも呼ばれます。

  ポートフォリオにプログラムを追加または削除するには、プログラムの表示に必要なセキュリティアクセス権が必要です (HP Program Management ライセンスは必要ありません)。プログラムをポートフォリオに追加するには、[プログラム設定] で、HP Portfolio Management に対してプログラムを有効にする必要があります。プログラムの作成については、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。

ポートフォリオ (または下位ポートフォリオ) には、最大 250 個のプログラムを設定できます。

- **提案、プロジェクト、および資産**: ポートフォリオに追加したときに、ポートフォリオのプログラムや下位ポートフォリオ内の提案、プロジェクト、および資産とは異なるため、「直接」の提案、プロジェクト、および資産とも呼ばれます。

  提案、プロジェクト、または資産をポートフォリオに追加するか、ポートフォリオから削除するには、提案リクエストの表示、プロジェクトの表示、または資産リクエストの表示が許可されている必要があります。提案、プロジェクト、および資産 (ライフサイクルエンティティ) の作成については、第 2 章「ライフサイクルエンティティの作成」(13ページ) を参照してください。

ポートフォリオ (または下位ポートフォリオ) には、最大 1000 個の提案、プロジェクト、資産の組み合わせを設定できます。

階層の任意のレベルのポートフォリオは、ポートフォリオに選択した下位ポートフォリオ、プログラム、提案、プロジェクト、および資産のコレクションで、予測と実績のコストとベネフィット、および承認された予算をロールアップできます。詳細については、「ポートフォリオ階層の [予測コスト]、[実績コスト]、および [承認された予算]」(37ページ) を参照してください。

ポートフォリオ間、または1つのポートフォリオ内で財務情報の「二重カウント」を防止するために、すべての下位ポートフォリオ、プログラム、提案、プロジェクト、または資産はただ1つのポートフォリオにただ一度だけ含めることができます。ポートフォリオに追加する項目を検索すると、次のように検索結果からは特定の項目が自動的に除外されます。

- ポートフォリオに追加する下位ポートフォリオの検索では、ほかのすべての下位ポートフォリオ (つまり、すでに上位ポートフォリオがあるすべてのポートフォリオ) が除外されます。
- ポートフォリオに追加するプログラムの検索では、(直接または任意の下位ポートフォリオの一部として) すでに何らかのポートフォリオに含まれているすべてのプログラムが除外されます。

  検索では、[プログラム設定] で HP Portfolio Management に対して有効になっていないすべてのプログラムも除外されます。

  複数のプログラムで同じライフサイクルエンティティを組み込むことができます。この場合、HP Program Management では、これらのプログラムのただ1つしか HP Portfolio Management に対して有効にできない、つまり、ポートフォリオに含めることができません。これらのプログラムの1つが実際 HP Portfolio Management に対して有効になっている場合、同じライフサイクルエンティティを組み込んでいるプログラムの中でそのプログラムのみポートフォリオに追加できます。詳細については、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。

- 提案、プロジェクト、または資産の検索では、すでに何らかのポートフォリオに含まれているすべてのもの (直接または任意のポートフォリオのプログラムまたは下位ポートフォリオの一部として) が除外されます。

1つのポートフォリオのすべての財務情報は、システム基本通貨で表示されます。

ポートフォリオを作成、表示、および変更するには、Portfolio Management ライセンス、および特定のアクセス許可とアクセス権 (『HP Program Management Configuration Guide』および「階層ポートフォリオのアクセス権の構成」(64 ページ) を参照) が必要です。

この章で説明する手順を実行する必要があるが、必要なアクセス権がない場合、管理者に問い合わせてください。

ポートフォリオの作成の詳細については、「階層ポートフォリオの作成」(38 ページ) を参照してください。

ポートフォリオ階層の表示

ポートフォリオ階層内で、下位ポートフォリオは、階層内の親ポートフォリオのすぐ下に従属するポートフォリオです。下位ポートフォリオは、必要な任意のレベル (深度) までネストすることができます。下位ポートフォリオの有無に関わらず、複数のポートフォリオが「ルート」レベル (階層の最上位レベル) に存在できます。

ポートフォリオ階層を表示するには、「ポートフォリオの編集」アクセス許可、「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可、または「すべてのポートフォリオの表示」アクセス許可がある必要があります。

ポートフォリオ階層を表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**ポートフォリオ階層の表示**] を選択します。

   [ポートフォリオ階層の表示] ページが開きます。

初めて階層を表示したとき、どのポートフォリオも展開されておらず、存在していても、下位ポートフォリオは表示されません。つまり、ルートポートフォリオのみ表示されています。図 3-1に、完全に展開されたポートフォリオ階層の例を示します。ここでは、ポートフォリオと下位ポートフォリオに階層を説明する名前が付けられています。階層内の従属状況はインデントで表現されています。

図 3-1. 展開されたポートフォリオ階層の例

名前	ポートフォリオ マネージャ	予測コスト	実績コスト	承認された予算
Root 1	David Jones	$8,200,000	$4,130,000	$7,500,000
Child 1	David Jones, Carolyn Hill	$2,000,000	$1,000,000	$1,900,000
Grandchild 1	David Jones, Barbara Tan	$700,000	$400,000	$700,000
Great Grandchild	David Jones	$700,000	$400,000	$700,000
Grandchild 2	David Jones	$0	$0	$0
Child 2	David Jones	$5,000,000	$2,630,000	$4,500,000
Grandchild 3	David Jones	$900,000	$380,000	$1,100,000
Root 2	David Jones	$2,200,000	$0	$0
Child 3	David Jones	$1,000,000	$0	$0

次の各項では、階層について詳細に説明します。

階層に表示されるポートフォリオとパス

階層に表示されるポートフォリオのセットは、付与されているアクセス許可とポートフォリオマネージャとして指定したポートフォリオによってユーザごとに異なります。一般的に、PPM Center 内のポートフォリオごとにユーザを指定して表示する権限を与えます。

階層のポートフォリオ名に下線が付けられている場合に、そのポートフォリオ名をクリックするとポートフォリオが開き、権限に応じて表示または編集ができます。

すべてのルートを完全に展開すると、ポートフォリオ階層には、開くことができるすべてのポートフォリオが表示されます。開くことができるかどうかに関わらず、次のものも表示されます。

- ルートまでのポートフォリオの完全パス
- 直接の下位のすべてのポートフォリオ (つまり、次の下位レベルの下位ポートフォリオ)

開くことができる各ポートフォリオとその直接の下位について、階層には、ポートフォリオの [**ポートフォリオマネージャ**] および [**予測コスト**]、[**実績コスト**]、[**承認された予算**] の各列に現在の会計年度の財務情報が表示されます。このデータは、開くことができない上位ポートフォリオには表示されません。

図 3-1 の例では、ログインしているユーザ、Ron Steele に「すべてのポートフォリオの表示」または「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可があるとします。このため Ron は、[ポートフォリオ階層の表示] ページで PPM Center インスタンス内のすべてのポートフォリオを表示し、開くことができます。この中には Ron がポートフォリオマネージャになっていないポートフォリオも含まれます。この例では、Ron は階層内のどのポートフォリオについてもポートフォリオマネージャではありません。Ron はまた、すべてのポートフォリオのポートフォリオマネージャと財務情報を表示できます(アクセス許可については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加については、「ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加」(63 ページ) 」を参照してください)。

図 3-1 の例では、ユーザ David Jones は、(おそらく彼が作成した) すべてのポートフォリオのポートフォリオマネージャです。David には「ポートフォリオの編集」アクセス許可があり、Ron と同じ階層が表示されます(デフォルトとアサインされたポートフォリオマネージャについては、「ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加」(63 ページ) を参照してください)。

図 3-1の例では、ユーザBarbara TanはGrandchild 1ポートフォリオのポートフォリオマネージャとして表示されています。彼女には「ポートフォリオの編集」アクセス許可があり、図 3-2に示すポートフォリオ階層が表示されます。

図 3-2. Grandchild 1のポートフォリオマネージャのポートフォリオ階層の例

Barbaraのアクセス権は次のとおりです。

- 彼女はGrandchild 1のポートフォリオマネージャであるため、このポートフォリオを開くことができます。
- 彼女には、Grandchild 1からそのルートまでの階層内のポートフォリオ、つまり、Child 1とRoot 1が表示されます。
- 彼女はChild 1またはRoot 1を開くことができないため、そのポートフォリオマネージャと財務情報を表示できません。
- 彼女にはGrandchild 1の下位、つまり、Great Grandchildが表示されますが、そのポートフォリオマネージャの1人でないため、開くことができません。
- 彼女はChild 1またはその下位ポートフォリオGrandchild 2のポートフォリオマネージャでないため、階層内のGrandchild 2は表示されません。
- 彼女はChild 2、Root 2、またはそのいずれの下位ポートフォリオのポートフォリオマネージャでないため、階層内のそれらのポートフォリオは表示されません。

ポートフォリオ階層の [予測コスト]、[実績コスト]、および [承認された予算]

[**予測コスト**]、[**実績コスト**]、[**承認された予算**] の各データは、ユーザが開くことができるポートフォリオとその直接の下位には表示されますが、ユーザが開くことができない上位ポートフォリオには表示されません。

[**予測コスト**]、[**実績コスト**]、[**承認された予算**] に表示される金額は、階層内のすべての下位ポートフォリオを表示できるかどうかに関わらず、ポートフォリオ内のすべての直接項目と下位ポートフォリオ内のすべての項目の現在の会計年度の合計です。これらの列のいずれかで、ポートフォリオに指定された金額に該当する直接プログラム、提案、プロジェクト、資産がある場合、そのポートフォリオの合計金額は、下位ポートフォリオの金額の合計とは異なります。

たとえば、図 3-1 では、Child 3 ポートフォリオの予測コストは $1,000,000 であり、その上位 Root 2 の予測コストは $2,200,000 になっています。このため、Root 2 には、直接プログラム、提案、プロジェクト、資産の組み合わせで、それらの予測コストの合計が差額 $1,200,000 になるはずです。

名前の文字列によるポートフォリオの検索

名前やポートフォリオ階層の一部に特定の文字列を持つポートフォリオを検索するには、[ポートフォリオ階層の表示] ページで [**ポートフォリオの検索**] テキストボックスにその文字列を指定し、[**検索**] をクリックします。検索では、大文字と小文字が区別されません。

検索結果には、表示または編集アクセス権を持つポートフォリオのみリストされます。最大 10 個のポートフォリオがリストされます。パス内にあるポートフォリオの表示または編集のアクセス権を持つかどうかに関わらず、各ポートフォリオの横に、ポートフォリオのルートからの階層完全パスが表示されます。

検索結果 (ただし、隣接する階層パスではありません) で、ポートフォリオ名をマウスでポイントすると、名前がリンクになります。リンクをクリックすると、そのポートフォリオを開くことができます。

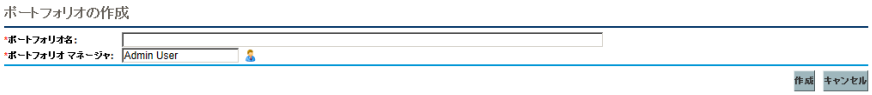
階層ポートフォリオの作成

ポートフォリオを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**作成**] > [**ポートフォリオ**] を選択します。

   または、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**ポートフォリオの作成**] を選択できます。

   [ポートフォリオの作成] ページが開きます。



3. 次の表に説明するようにフィールドに入力します。

フィールド名 (*必須)	説明
* ポートフォリオ名	ポートフォリオの名前。
* ポートフォリオ マネージャ	このポートフォリオを編集できるユーザ。ほかのユーザをポートフォリオマネージャとして追加したり、ポートフォリオの表示、編集のアクセス権も設定できます。 元 (デフォルト) のポートフォリオマネージャは、そのポートフォリオを作成したユーザです。 ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加については、「ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加」(63 ページ) を参照してください。 ポートフォリオに対するアクセス権の構成については、「階層ポートフォリオのアクセス権の構成」(64 ページ) を参照してください。

4. [**作成**] をクリックします。

   ポートフォリオが作成されます。

[**ポートフォリオ名**] と [**ポートフォリオマネージャ**] の各フィールドは、一連のタブの上にあるポートフォリオヘッダの一部になります。ヘッダは、どのタブを選択したかに関わらず表示されます。

タブは次のとおりです。

- [**概要**] (デフォルトで表示)
- [**下位ポートフォリオ**]
- [**プログラム**]
- [**提案/プロジェクト/資産**]

ポートフォリオとそのタブの詳細については、次の各項を参照してください。

このページに対するすべての変更は自動的に保存されます。このページには、変更を保存またはキャンセルするボタンはありません。変更を元に戻すには、前の値を再入力する必要があります。

ポートフォリオヘッダ

ポートフォリオヘッダには、次のものが含まれています。

- [**Excelにエクスポート**] リンク: 詳細については、「ポートフォリオのMicrosoft Excel®へのエクスポート」(62ページ) を参照してください。
- [**アクセスの設定**] ボタン: ポートフォリオのポートフォリオマネージャのみ利用可能で、「ポートフォリオの表示」アクセス権と「ポートフォリオの編集」アクセス権を特定のユーザまたはセキュリティグループに提供できるようになります。詳細については、「階層ポートフォリオのアクセス権の構成」(64ページ) を参照してください。
- [**ポートフォリオの削除**] ボタン: 空のポートフォリオを削除します。詳細については、「空のポートフォリオの削除」 を参照してください。
- [**ポートフォリオ名**] フィールドと [**ポートフォリオマネージャ**] フィールド: 必要な編集アクセス権がある場合、これらのフィールドを編集できます。
- 読み取り専用の [**上位ポートフォリオ**] フィールド: ポートフォリオの作成時には、空白です。その後、新しいポートフォリオを上位ポートフォリオの下位ポートフォリオにすると、このフィールドにその上位ポートフォリオの名前が表示されます。上位ポートフォリオを開く (表示または編集する) ことが許可されている場合、このフィールドに表示される名前が上位ポートフォリオへのリンクになります。

  直接上位ポートフォリオを指定できませんが、「下位ポートフォリオのポートフォリオへの追加」(45ページ) に説明するように、下位ポートフォリオをポートフォリオに追加できます。

空のポートフォリオの削除

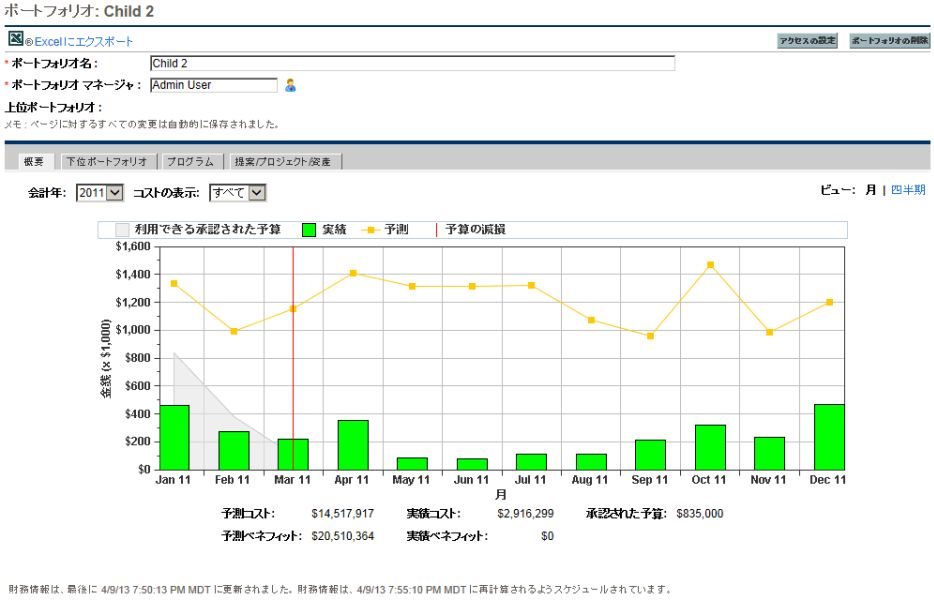
ポートフォリオが空 (つまり、下位ポートフォリオ、プログラム、提案、プロジェクト、または資産を含まない) で、適切なアクセス権がある場合、ポートフォリオヘッダの [**ポートフォリオの削除**] をクリックし、確認ダイアログで [**削除**] をクリックすると、そのポートフォリオを削除できます。

下位ポートフォリオ、プログラム、提案、プロジェクト、資産があるポートフォリオは、削除できません。

[概要] タブ

例として、図 3-3 に、34 ページの図 3-1 のポートフォリオ階層に表示される Child 2 ポートフォリオの [**概要**] タブを示します。

図 3-3. ポートフォリオの例の [概要] タブ



[**概要**] タブには、選択した年度における、ポートフォリオのすべての項目 (下位ポートフォリオ、プログラム、およびライフサイクルエンティティ) の予測コスト、実績コスト、承認された予算の減損のサマリ (ロールアップ) を表すグラフが表示されます。このグラフには、ポートフォリオ内の特定のプログラム、提案、プロジェクト、資産の財務サマリと同様、選択した会計年度における表 3-1 に説明する項目が表示されます。

表 3-1. ポートフォリオの [概要] タブでのグラフのキー

グラフ項目/色	説明
灰色の領域	年度内に利用可能な承認された予算 (実績コストまたは実績コストが指定されていない予測コストによって毎月減少する)
緑色の垂直の棒	実績コスト
明るいオレンジ色の線	予測コスト
赤色の垂直線	表示されている場合は、承認済み予算が完全になくなった時点を示します。
黄色の垂直の棒 (グラフの最大限の高さ)	今月または本四半期 (選択された [**ビュー**] オプションによる)

デフォルトでは、現在の会計年度が表示されますが、[**会計年**] フィールドのドロップダウンリストを使用すると、2年前から5年後までの別の会計年度を選択できます。[**ビュー**] フィールドを使用すると、データを月または四半期単位で表示できます。

グラフの下に表示されている次のフィールドには、ポートフォリオのすべての項目の財務サマリからロールアップされた値が表示されます。

- **予測コスト**
- **実績コスト**
- **承認された予算**
- **予測ベネフィット** (グラフには表示されません)
- **実績ベネフィット** (グラフには表示されません)

図 3-3の例では、会計年度が2012年1月から2012年12月であり、今月が2012年9月であるため、実績コスト/実績ベネフィットが予測コスト/予測ベネフィットよりはるかに少なくなっています。

これらのフィールドの詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

ポートフォリオに対して項目を追加または削除するか、ポートフォリオの既存の項目の財務サマリを更新すると、財務サマリのロールアップサービスで指定されたスケジュールに従って、ポートフォリオの財務情報が再計算されます。このサービスの詳細については、『Installation and Administration Guide』を参照してください。グラフの下のメッセージは、財務情報が最後に更新された日時と再計算がスケジュールされている日時を示します。

[下位ポートフォリオ] タブ

ポートフォリオの [**下位ポートフォリオ**] タブには、選択した年度の財務情報を持つ下位ポートフォリオのテーブルが含まれています。

例として、図 3-4に、34ページの図 3-1のポートフォリオ階層のChild 2ポートフォリオの [**下位ポートフォリオ**] タブを示します。下位ポートフォリオは、階層に合わせてGrandchild 3のみです。

図 3-4. ポートフォリオの例の [下位ポートフォリオ] タブ

図 3-4に示すように、デフォルトで次のフィールド (列) が表示されます。

- **ポートフォリオ名**
- **ポートフォリオマネージャ**
- **予測コスト**
- **実績コスト**

- **予測ベネフィット**
- **実績ベネフィット**
- **承認された予算**

COST_CAPITALIZATION_ENABLED server.conf パラメータが true に設定され、資本コストと運用コストを別々にトラッキングできる場合は、任意のポートフォリオの [**下位ポートフォリオ**] タブに次の列も追加できます。

- **承認された資本予算**
- **承認された業務予算**
- **予測資本コスト**
- **予測業務コスト**
- **実績資本コスト**
- **実績業務コスト**

下位ポートフォリオ用に表示される財務情報は、[**概要**] タブ (「[概要] タブ」を参照) に表示される上位ポートフォリオのものと同じ意味を持ちます。財務情報フィールドの詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

ポートフォリオ内のすべての下位ポートフォリオがリストされます。下位ポートフォリオの表示または編集が許可されている場合、その名前がリンクとなり、クリックして開くことができます。表示または編集が許可されていない下位ポートフォリオは、リンクなしで表示されます。

選択した [**会計年**] (現在の会計年度の最大5年前から最大10年後まで) の財務情報が表示されます。表示されるのは、実績データの有無を問わず、データベースに期間が定義されている年度に限定されます。

任意のポートフォリオについて、[**下位ポートフォリオ**] タブのテーブル内の任意の列を表示または非表示にできます。ソートに使用する列の変更、列の再配置、列幅のサイズ変更、および列の「凍結」を行うことができます。ポートフォリオに加えた変更は、そのポートフォリオのみに適用され、ほかのユーザに対するポートフォリオの表示方法には影響しません。詳細については、「ポートフォリオテーブルの列の変更」(61 ページ) を参照してください。

次の各項では、ポートフォリオに対する下位ポートフォリオの追加および削除方法について説明します。

下位ポートフォリオのポートフォリオへの追加

下位ポートフォリオは、必要な任意のレベル (深度) までネストすることができます。ポートフォリオまたは下位ポートフォリオには、次の下位レベルで最大40個の下位ポートフォリオを設定できます。

上位ポートフォリオと下位ポートフォリオの階層リレーションシップを確立するには、リレーションシップを確立する上位/下位双方のポートフォリオの編集が許可されている必要があります。

下位ポートフォリオをポートフォリオに追加するには、次の手順を実行します。

1. ポートフォリオ階層で、目的の下位ポートフォリオの上位となるポートフォリオをクリックします。詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34ページ) を参照してください。

   ポートフォリオが開きます。

2. ポートフォリオの [**下位ポートフォリオ**] タブを選択します。

3. [**アクション**] をクリックして、[**下位ポートフォリオの追加**] をクリックします。

   システム内で下位ポートフォリオになっていないポートフォリオで、アクセス権を持つすべてのポートフォリオをリストしたオートコンプリートダイアログが開きます。

4. (オプション) 必要に応じてリストをフィルタするには、[**下位ポートフォリオ (前方一致)**] フィールドと [**ポートフォリオマネージャ**] フィールドに値を入力して、[**検索**] をクリックします。

5. 左側の [**利用可能**] リストで、下位ポートフォリオにするポートフォリオをクリックします。選択したポートフォリオが右側の [**選択済み**] リストに移動します(移動したポートフォリオはクリックして、左側にある [**利用可能**] リストに戻せます)。

6. [**OK**] をクリックします。

   右側のリストで選択したポートフォリオが手順 1 で選択したポートフォリオの [**下位ポートフォリオ**] タブに追加され、色付きで強調表示されます

([**ポートフォリオ名**] 列では、リストされた下位ポートフォリオをマウスでポイントすると、該当する下位ポートフォリオへのリンクになります)。こうしてポートフォリオ階層 (「ポートフォリオ階層の表示」(34 ページ) を参照) が変更されます。

上位ポートフォリオからの下位ポートフォリオの削除

上位ポートフォリオから下位ポートフォリオを削除する場合も同様に、上位/下位双方の編集が許可されている必要があります。

下位ポートフォリオを上位ポートフォリオから削除し、ポートフォリオ階層のルートレベルに移動するには、次の手順を実行します。

1. ポートフォリオ階層で目的の上位ポートフォリオをクリックします。詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34 ページ) を参照してください。

   ポートフォリオが開きます。

2. ポートフォリオの [**下位ポートフォリオ**] タブを選択します。

3. 上位ポートフォリオから削除する下位ポートフォリオを、[**ポートフォリオ名**] 列のリンクをクリックせずに選択します。[`Ctrl`] キー、または [`Shift`] キーを押しながらクリックすると、複数の下位ポートフォリオ (行) を選択できます。選択した下位ポートフォリオが色付きで強調表示されます。

4. [**アクション**] をクリックして、[**下位ポートフォリオの削除**] をクリックします。

5. 確認ダイアログで [**はい**] をクリックします。

   下位ポートフォリオが上位ポートフォリオから削除されますが、PPM Centerから削除されるわけではありません。削除された下位ポートフォリオは、ポートフォリオ階層のルートレベルに移動します (「ポートフォリオ階層の表示」(34 ページ) を参照)。

[プログラム]タブ

[**プログラム**] タブには、提案、プロジェクト、および資産を組み込めるプログラムのテーブルが含まれています。プログラムの詳細については、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。

例として、図 3-5 に、34 ページの図 3-1 のポートフォリオ階層の Child 2 ポートフォリオの [**プログラム**] タブを示します。

図 3-5. ポートフォリオの例の [プログラム] タブ

次のフィールド (列) は常に表示できますが、ポートフォリオの作成時には、図 3-5 に示したフィールド (以下にも、アスタリスク (*) 付きでリスト) のみデフォルトで表示されます。

- *** プログラム名**
- *** マネージャ**
- *** ステータス**
- *** 全体のヘルス**
- *** 予測コスト**
- *** 実績コスト**
- *** 予測ベネフィット**
- *** 実績ベネフィット**
- *** 承認された予算**

- **ビジネス目標**
- **POR (Plan of Record) コスト** (レコードの計画予測コスト)
- **POR (Plan of Record) ベネフィット** (レコードの計画予測ベネフィット)
- **説明**
- **NPV**
- **TNR**(合計名目収益)
- **問題ヘルス**
- **リスクヘルス**
- **スコープ変更ヘルス**
- **相対的優先度**

`COST_CAPITALIZATION_ENABLED` `server.conf` パラメータが `true` に設定され、資本コストと運用コストを別々にトラッキングできる場合は、任意のポートフォリオの [**プログラム**] タブに次の列も追加できます。

- **承認された資本予算**
- **承認された業務予算**
- **予測資本コスト**
- **予測業務コスト**
- **実績資本コスト**
- **実績業務コスト**

ポートフォリオ内のあるプログラムについて資本計上が財務サマリ設定で有効になっていない場合、プログラムの予測コストと実績コストはすべて運用コストとして表示され、資本コストは0として表示されます。

[**プログラム**] タブでは、列の右側に、プログラムのカスタムユーザデータフィールドを最大20個、列ごとに1つずつ表示できます。管理者は、PPM Workbenchで各ユーザデータフィールドを、プログラムで表示可能かどうかを含めて設定できます。[**プログラム**] タブでは、すべてのユーザデータフィールド (列) がデフォルトで非表示になっていますが、後述するように表示可能に設定したフィールドは表示されます。

プログラムの財務サマリについては、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。HP Financial Managementがプログラムに対して有効になっていない場合、そのプログラムの財務情報は表示されません。また、HP Financial Managementが有効になっているプログラムでも、財務情報が存在していない場合、テーブルエントリは0になります。

財務情報でないフィールドの詳細については、『HP Program Managementユーザーガイド』を参照してください。

プログラムのヘルスインジケータが有効でない場合、対応するテーブルエントリは空白になります。

問題ヘルス、リスクヘルス、およびスコープ変更ヘルスの各インジケータは、定期的に再計算されるため、最新でない可能性があります。

ポートフォリオ内のすべてのプログラムがリストされます。プログラムの表示または編集が許可されている場合、[**プログラム名**] 列の名前がリンクとなり、クリックして開くことができます。表示または編集が許可されていないプログラムは、リンクなしで表示されます。

[**予測コスト**]、[**実績コスト**]、[**予測ベネフィット**]、[**実績ベネフィット**]、[**承認された予算**]、(表示用に選択されている場合) [**PORコスト**] と [**PORベネフィット**] の各列に、選択した [**会計年**] (現在の会計年度の最大5年前から最大10年後まで) のデータが表示されます。表示されるのは、実績データの有無を問わず、データベースに期間が定義されている年度に限られます。また、[**会計年**] フィールドの [**合計**] を選択すると、すべての年度の合計を表示できます。デフォルトでは、現在の年度が表示されます。

任意のポートフォリオについて、[**下位ポートフォリオ**] タブのテーブル内の任意の列を表示または非表示にできます。この中には、ポートフォリオの作成時に表示されなかった列も含まれます。ソートに使用する列の変更、列の再配置、列幅のサイズ変更、および列の「凍結」を行うことができます。ポートフォリオに加えた変更は、そのポートフォリオのみに適用され、ほかのユーザに対するポートフォリオの表示方法には影響しません。詳細については、「ポートフォリオテーブルの列の変更」(61ページ) を参照してください。

次の各項では、ポートフォリオに対するプログラムの追加および削除方法について説明します。

プログラムのポートフォリオへの追加

ポートフォリオ (または下位ポートフォリオ) には、最大250個のプログラムを設定できます。

ポートフォリオにプログラムを追加するには、プログラムの表示に必要なセキュリティアクセス権が必要です (ただし、HP Program Management ライセンスは必要ありません)。また、[プログラム設定] で、HP Portfolio Management に対してプログラムを有効にする必要があります。

プログラムをポートフォリオに追加するには、次の手順を実行します。

1. ポートフォリオ階層の目的の上位ポートフォリオをクリックします。詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34ページ) を参照してください。

   ポートフォリオが開きます。

2. ポートフォリオの [**プログラム**] タブを選択します。

3. [**アクション**] をクリックして、[**プログラムの追加**] をクリックします。

   [プログラムの検索] ページが開きます。

4. 必要に応じて検索の結果を制限するためのフィールドに入力して、[**検索**] をクリックします。

   検索基準を満たし、どのポートフォリオにもなく、[プログラム設定] で Portfolio Management に対して有効になっているプログラムが、[プログラムの検索] ページの上部に追加される [**表示するプログラムの選択**] セクションの検索結果にリストされます。

5. ポートフォリオに追加するプログラムのチェックボックスを選択 (または [**すべてを選択**] をクリック) して、[**追加**] をクリックします。

   選択したプログラムがポートフォリオの [**プログラム**] タブに追加され、選択したプログラムが色付きで強調表示されます。

ポートフォリオからのプログラムの削除

ポートフォリオからプログラムを削除するには、プログラムの表示に必要なセキュリティアクセス権が必要です (ただし、HP Program Management ライセンスは必要ありません)。

ポートフォリオからプログラムを削除する (ただし、PPM Center からは削除しない) には、次の手順を実行します。

1. ポートフォリオ階層の目的の上位ポートフォリオをクリックします。詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34 ページ) を参照してください。

   ポートフォリオが開きます。

2. ポートフォリオの [**プログラム**] タブを選択します。

3. ポートフォリオから削除するプログラムを、[**プログラム名**] 列のリンクをクリックせずに選択します。[**Ctrl**] キーを押しながらクリックするか、[**Shift**] キーを押しながらクリックすると、複数のプログラム (行) を選択できます。選択したプログラムが色付きで強調表示されます。

4. [**アクション**] をクリックして、[**プログラムの削除**] をクリックします。

5. 確認ダイアログで [**はい**] をクリックします。

   プログラムがポートフォリオから削除されますが、PPM Center から削除されるわけではありません。

[提案/プロジェクト/資産]タブ

[**提案/プロジェクト/資産**] タブには、提案、プロジェクト、資産 (ライフサイクルエンティティ) のテーブルが含まれています。

例として、図 3-6に、34ページの図 3-1のポートフォリオ階層のChild 2ポートフォリオの [**提案/プロジェクト/資産**] タブを示します。

図 3-6. ポートフォリオの例の [提案/プロジェクト/資産] タブ

次のフィールド (列) は常に表示できますが、ポートフォリオの作成時には、図 3-6に示したフィールド (以下にも、アスタリスク (*) 付きでリスト) のみデフォルトで表示されます。

- *** [名前]:** 提案、プロジェクト、または資産の名前。
- *** [タイプ]:** ライフサイクルエンティティのタイプが [**提案**]、[**プロジェクト**]、または [**資産**] のいずれかです。
- **[計画コスト]:** (データにすべての年度が含まれている場合、つまり、[**会計年**] フィールドが [**合計**] に設定されている場合にのみ、この列は利用可能です)。提案、プロジェクト、または資産の財務サマリから、次の項目の合計。
  - 過去の会計月の場合: 実績コストがレポートされている (つまりブランクやゼロでない) 場合はその値、レポートされていない場合は予測コスト
  - 現在の会計月の場合: 予測コストと実績コスト (レポートされている場合) のいずれか大きい方
  - 将来の会計月の場合: 予測コスト

- **[計画ベネフィット]:** (データにすべての年度が含まれている場合、つまり、[**会計年**] フィールドが [**合計**] に設定されている場合にのみ、この列は利用可能です)。提案、プロジェクト、または資産の財務サマリから、次の項目の合計。
  - 過去の会計月の場合: 実績ベネフィットがレポートされている場合 (つまりブランクやゼロでない場合) はその値で、レポートされていない場合は予測ベネフィット
  - 現在の会計月の場合: 予測ベネフィットと実績ベネフィット (レポートされている場合) のいずれか大きい方
  - 将来の会計月の場合: 予測ベネフィット
- **[計画人月]:** (データにすべての年度が含まれている場合、つまり、[**会計年**] フィールドが [**合計**] に設定されている場合にのみ、この列は利用可能です)。提案、プロジェクト、資産に添付されているスタッフィングプロファイルから、次の項目の合計。
  - 過去の会計月の場合: 実績人月がレポートされている場合 (つまりブランクやゼロでない場合) はその値で、レポートされていない場合は予測人月
  - 現在の会計月の場合: 予測人月と実績人月 (レポートされている場合) のいずれか大きい方
  - 将来の会計月の場合: 予測人月
- **[予測人月]:** (データにすべての年度が含まれている場合、つまり、[**会計年**] フィールドが [**合計**] に設定されている場合にのみ、この列は利用可能です)。提案、プロジェクト、または資産に添付されているスタッフィングプロファイルから、すべての年度の予測人月の合計。
- **[実績人月]:** (データにすべての年度が含まれている場合、つまり、[**会計年**] フィールドが [**合計**] に設定されている場合にのみ、この列は利用可能です)。提案、プロジェクト、または資産に添付されているスタッフィングプロファイルから、これまでの実績人月の合計。
- **[予測コスト]:** 提案、プロジェクト、資産の財務サマリから、選択した [**会計年**] の予測コスト、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。
- **[実績コスト]:** 提案、プロジェクト、資産の財務サマリから、選択した [**会計年**] の実績コスト、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。

- **[予測ベネフィット]:** 提案、プロジェクト、資産の財務サマリから、選択した [**会計年**] の予測コスト、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。
- **[実績ベネフィット]:** 提案、プロジェクト、資産の財務サマリから、選択した [**会計年**] の実績ベネフィット、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。
- **[承認された予算]:** 提案、プロジェクト、資産の財務サマリから、選択した [**会計年**] の承認された予算、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。
- **[PORコスト]:** 提案、プロジェクト、資産のレコードの計画 (POR) 財務サマリスナップショットから、選択した [**会計年**] のコスト、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。
- **[PORベネフィット]:** 提案、プロジェクト、資産のレコードの計画 (POR) 財務サマリスナップショットから、選択した [**会計年**] のベネフィット、[**合計**] を選択した場合、すべての年度の合計。
- *** [全体のヘルス]:** プロジェクトにのみ適用されます。提案と資産の場合、空白。
- **[コストのヘルス]:** プロジェクトにのみ適用されます。提案と資産の場合、空白。
- **[スケジュールのヘルス]:** プロジェクトにのみ適用されます。提案と資産の場合、空白。
- **[問題ヘルス]:** プロジェクトにのみ適用されます。提案と資産の場合、空白。

上記の 18 の列は常に使用し、選択することができますが、それに加えて、管理者が [Portfolio Management の設定] ページで使用できるように設定した列であれば、その列も任意に追加できます。詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。列は最大で 20 個まで追加できます。したがって、[**提案/プロジェクト/資産**] タブには最大で 38 列まで表示できます。

`COST_CAPITALIZATION_ENABLED server.conf` パラメータが `true` に設定され、資本コストと運用コストを別々にトラッキングできる場合は、任意のポートフォリオの [**提案/プロジェクト/資産**] タブに次の列も追加できます。

- **承認された資本予算**
- **承認された業務予算**

- **予測資本コスト**
- **予測業務コスト**
- **実績資本コスト**
- **実績業務コスト**

ポートフォリオ内のある提案、プロジェクト、または資産について資本計上が財務サマリ設定で有効になっていない場合、その予測コストと実績コストはすべて運用コストとして表示され、資本コストは0として表示されます。

ライフサイクルエンティティを提案として作成した場合は、提案から、プロジェクト、資産へと進み、プロジェクトとして作成した場合は、プロジェクトから資産へと進みます。資産を直接作成することもできます。いずれの場合も、ライフサイクルエンティティはその有効期間中同じ財務サマリを保持します。[**提案 / プロジェクト / 資産**] タブに表示されるすべてのコスト、ベネフィット、承認された予算の各データは、保持している財務サマリから取得されます。提案、提案が移行するプロジェクト、プロジェクトが移行する資産の間では、データがポートフォリオ内で二重にカウントされることはありません。財務サマリおよびそのレコードの計画スナップショットについては、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

ポートフォリオでは、通常、アクティブに管理されている関連項目のコレクションに関する財務情報をトラッキングしています。このため、これらの提案が承認間近になった場合のみ、提案をポートフォリオに含めることをお勧めします。

提案がプロジェクトになった場合、提案のスタッフィングプロファイルが開始点としてプロジェクトにコピーされます。ただし、プロジェクトが資産になった場合、プロジェクトのスタッフィングプロファイルは資産にコピーされないため、新しいスタッフィングプロファイルが必要な場合は、資産に対して新しく作成する必要があります。[**提案 / プロジェクト / 資産**] タブに表示されるリソースデータ (人月) は、提案、プロジェクト、資産に添付されている独立したスタッフィングプロファイルから取得されます。スタッフィングプロファイルについては、『HP Resource Managementユーザーガイド』を参照してください。

ポートフォリオ内のすべてのライフサイクルエンティティは、[**提案 / プロジェクト / 資産**] タブに表示されます。ライフサイクルエンティティの表示または編集が許可されている場合、その名前がリンクとなり、クリックして開くことができます。表示または編集が許可されていないライフサイクルエンティティは、リンクなしで表示されます。

選択した [**会計年**] (現在の会計年度の最大5年前から最大10年後まで) のデータが表示されます。表示されるのは、実績データの有無を問わず、データベースに期間が定義されている年度に限られます。デフォルトでは、現在の年度が表示されます。また、[**会計年**] フィールドの [**合計**] を選択すると、すべての年度の合計を表示できます。

任意のポートフォリオについて、[**提案/プロジェクト/資産**] タブのテーブル内の任意の列を表示または非表示にできます。この中には、ポートフォリオの作成時に表示されなかった列も含まれます。ソートに使用する列の変更、列の再配置、列幅のサイズ変更、および列の「凍結」を行うことができます。ポートフォリオに加えた変更は、そのポートフォリオのみに適用され、ほかのユーザに対するポートフォリオの表示方法には影響しません。詳細については、「ポートフォリオテーブルの列の変更」(61ページ) を参照してください。

管理者が [**正味現在価値**] 列や [**名目収益**] 列の表示を有効にしている場合でも、ユーザがその列を表示できるのは、[**会計年**] フィールド (本項で後述) が [**合計**] に設定されている場合のみです。

次の各項では、ポートフォリオに対する提案、プロジェクト、および資産 (ライフサイクルエンティティ) の追加および削除方法について説明します。

提案、プロジェクト、および資産のポートフォリオへの追加

ポートフォリオ (または下位ポートフォリオ) には、最大1000個の提案、プロジェクト、資産の組み合わせを設定できます。

ポートフォリオに含めることができるのは、「アクティブ」なライフサイクルエンティティのみです。たとえば、提案がプロジェクトになった場合、プロジェクトのみポートフォリオに追加できます。すでにポートフォリオにある提案がプロジェクトになった場合、それはポートフォリオ内のプロジェクトにもなります。

提案リクエスト、資産リクエスト、またはプロジェクトをポートフォリオに追加するには、その表示が許可されている必要があります。

ポートフォリオのライフサイクルエンティティをポートフォリオに追加するには、次の手順を実行します。

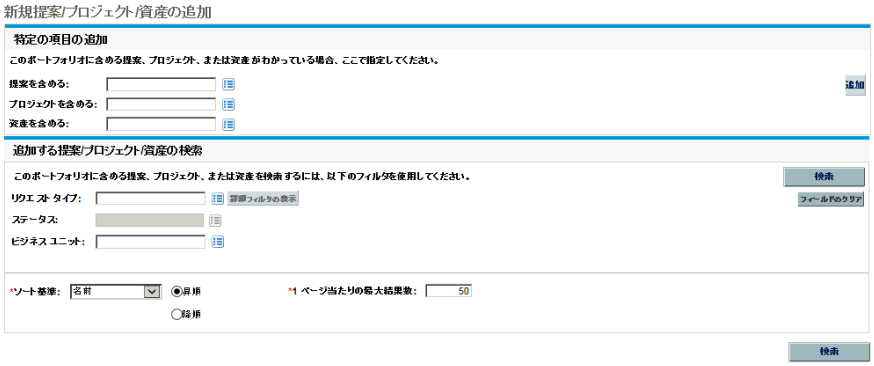
1. ポートフォリオ階層の目的の上位ポートフォリオをクリックします。詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34ページ) を参照してください。

   ポートフォリオが開きます。

2. ポートフォリオの [**提案/プロジェクト/資産**] タブを選択します。

3. [**アクション**] をクリックして、[**提案/プロジェクト/資産の追加**] をクリックします。

   [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウが開きます。



4. 特定の提案、プロジェクト、資産を名前別にポートフォリオに追加するには、次の手順を実行します。

   a. [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウの [**特定の項目の追加**] セクションで、[**提案を含める**]、[**プロジェクトを含める**]、[**資産を含める**] の各フィールドのオートコンプリートを使用して、追加するライフサイクルエンティティを選択します。オートコンプリートには、すでにどのポートフォリオにもないライフサイクルエンティティのみリストされます。

   b. [**追加**] をクリックします。

      [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウが閉じます。選択したエンティティが前のエンティティと同じソート順序で [**提案/プロジェクト/資産**] タブに追加され、追加したエンティティが色付きで強調表示されます。

   特定のフィルタ基準に一致するエンティティを検索して追加するには、手順 5に進みます。

5. 特定のフィルタ基準に一致するエンティティを検索して追加するには、次の手順を実行します。

   a. 必要に応じて [**追加する提案/プロジェクト/資産の検索**] セクションのフィールドに入力します。

      [**リクエストタイプ**] フィールドのオートコンプリートを使用して1つ以上のリクエストタイプを選択すると、[**詳細フィルタの表示**] ボタンが有効になります。詳細フィルタの使用については、手順 bを参照してください。

      [**リクエストタイプ**] フィールドのオートコンプリートを使用して1つのリクエストタイプを選択すると、[**ステータス**] フィールドのオートコンプリートが有効になります。

   b. 詳細フィルタのセットは、リクエストタイプによって異なります。複数のリクエストタイプを選択して、[**詳細フィルタの表示**] をクリックすると、すべてのリクエストタイプに共通のフィールドのみ、[新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウの [**追加する提案/プロジェクト/資産の検索**] セクションに詳細フィルタとして表示されます。詳細フィルタを使用すると、フィルタ基準に一致するリクエストの一部またはすべてをポートフォリオに追加できます。

      詳細フィルタを使用するには、次の手順を実行します。

      i. [**リクエストタイプ**] フィールドで少なくとも1つのリクエストタイプを指定します。

      ii. [**詳細フィルタの表示**] をクリックします。

      iii. 目的の詳細フィルタを指定します。

   c. [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウの下部にある [**ソート基準**] フィールドに、ライフサイクルエンティティのリスト時に使用するソート順序、および表示の昇順、降順の選択を行います。[**1ページ当たりの最大結果数**] フィールドも指定します。

   d. [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウの [**追加する提案/プロジェクト/資産の検索**] セクションで、[**検索**] をクリックします。

      検索基準を満たし、すでにどのポートフォリオにもないライフサイクルエンティティが、[新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウの上部に追加された [**追加する提案/プロジェクト/資産の選択**] セクションの検索結果にリストされます。

   e. 詳細フィルタを使用後、詳細フィルタを再度非表示にする場合、[**単純フィルタの表示**] をクリックします。

f. [**追加する提案/プロジェクト/資産の選択**] セクションのエンティティのリストで、ポートフォリオに追加するエンティティの左側のチェックボックスを選択 (または [**すべてチェック**] をクリック) して、[**追加**] をクリックします。

[新規提案/プロジェクト/資産の追加] ウィンドウが閉じます。選択したエンティティが前のエンティティと同じソート順序で [**提案/プロジェクト/資産**] タブに追加され、追加したエンティティが色付きで強調表示されます。

提案、プロジェクト、および資産のポートフォリオからの削除

提案リクエスト、資産リクエスト、プロジェクトをポートフォリオから削除するには、その表示が許可されている必要があります。

ポートフォリオから提案、プロジェクト、資産を削除する (ただし、PPM Center からは削除しない) には、次の手順を実行します。

1. ポートフォリオ階層の目的の上位ポートフォリオをクリックします。詳細については、「ポートフォリオ階層の表示」(34ページ) を参照してください。

   ポートフォリオが開きます。

2. ポートフォリオの [**提案/プロジェクト/資産**] タブを選択します。

3. ポートフォリオから削除するエンティティを、[**名前**] 列のリンクをクリックせずに選択します。[`Ctrl`] キーを押しながらクリックするか、[`Shift`] キーを押しながらクリックすると、複数の項目 (行) を選択できます。選択したエンティティが色付きで強調表示されます。

4. [**アクション**] をクリックして、[**提案/プロジェクト/資産の削除**] をクリックします。

5. 確認ダイアログで [**はい**] をクリックします。

   エンティティがポートフォリオから削除されますが、PPM Center から削除されるわけではありません。

ポートフォリオ内の提案、プロジェクト、資産の検索

指定した既知のポートフォリオ、または指定したポートフォリオのセットから提案、プロジェクト、資産リクエストを検索できます。

1. メニューバーから、[**検索**] > [**リクエスト**] を選択します。
2. [**リクエストタイプ**] フィールドのオートコンプリートを使用して、[**PFM - 提案**]、[**PFM - プロジェクト**]、[**PFM - 資産**] の各リクエストタイプの任意の組み合わせ、およびPFMフィールドグループのいずれかが有効になっている任意のカスタムリクエストタイプを選択します。
3. 必要に応じて [**リクエストの検索**] ページのほかのフィールドに入力し、検索対象のリクエストをフィルタします。ただし、まだ [**検索**] をクリックしないでください。
4. [**リクエストタイプ**] フィールドの横にある [**詳細検索**] をクリックします。
5. [**ビジネスケースの詳細**] セクションで、[**ポートフォリオ**] フィールドのオートコンプリートを使用して、1つ以上のポートフォリオを選択します。
6. 必要に応じてほかのフィールドに入力し、検索対象のリクエストをフィルタします。
7. 検索結果にリクエストを含むポートフォリオ名を表示するために、[**ポートフォリオ**] が [リクエストの検索] ページの [**列の選択**] セクションの [**選択した列**] の間にあることを確認します。
8. [**検索**] をクリックします。

   選択したポートフォリオの1つに含まれているリクエストを含め、検索基準を満たすリクエストがリストされます。

ポートフォリオテーブルの列の変更

アクセス権を持つポートフォリオ内のタブのテーブルは、次の方法で変更できます。変更内容は、PPM Center からいったんログアウトした後に再度ログインすると有効になります。

- 列を再配置するには、列見出しをクリックして目的の場所までドラッグします。
- 列のサイズは、列見出しと隣接する列見出しの間にある区切り線をクリックしてドラッグし、調整します。

次のオプションについては、必要に応じて列見出しをクリックまたは右クリックする代わりに、マウスを移動したときに列見出しの右側に表示されるドロップダウン矢印をクリックできます。

- テーブルの列を非表示にするには、任意の列見出しを右クリックし、[**列**] を選択して、非表示にする列の名前をクリック (選択解除) します。

  表示されていない列を表示するには、任意の列見出しを右クリックし、[**列**] を選択して、表示する列の名前をクリック (選択解除) します。

- 列内の値を基にして行のソートを行うには、基準とする列の見出しをクリックするか、右クリックして、[**昇順でソート**] または [**降順でソート**] を選択します。

  ソートを実行した後、複数レベルのソートも設定できます。この場合、元のソート順序を保持し、2 番目の列、3 番目の列などによる下位レベルのソートを追加できます。列を下位レベルのソート列として設定するには、列見出しを **SHIFT** キーを押しながらクリックします。列見出し上の小さな数字で、ソートの優先度が表示されます。昇順と降順を変更するには、**SHIFT** キーを押しながらソートされた列の見出しをクリックします。

  ソートを解除するには、ソート基準となっている列見出しを右クリックし、[**ソートのクリア**] をクリックします。複数レベルのソートでは、該当する列のソートのみが解除され、それ以外が選択されている場合は、保持されます。

- 列見出しを右クリックし、[**列 "<列名>" の凍結**] をクリックすると、次の操作を実行できます。
  - 該当する列を左側については可能な限り、ただし、右側については、前に凍結されたほかの列まで移動する
  - 見出しをクリックしたりドラッグしても該当する列を移動できないようにする
  - ほかの列に水平スクロールが使用されている場合、該当する列の幅を凍結する

  列を凍結した場合は、列見出しを右クリックして、[**列 "<列名>" の凍結解除**] をクリックすれば、列を凍結されたほかの列のすぐ右側まで移動できます。

ポートフォリオのMicrosoft Excel®へのエクスポート

ブラウザがMicrosoft Internet Explorer 7の場合、『スタートアップガイド』ドキュメントの説明に従って [インターネットオプション] を設定してポートフォリオをMicrosoft Excelにエクスポートする必要があります。

ポートフォリオのMicrosoft Excelスプレッドシートを作成するには、ポートフォリオヘッダの上部にある [**Excelにエクスポート**] リンクをクリックします。スプレッドシートには、ポートフォリオヘッダ情報、セクションと列の見出し、[**下位ポートフォリオ**]、[**プログラム**]、[**提案/プロジェクト/資産**] の各タブに対応した項目のリストが含まれています。スプレッドシートの各項目の名前が項目へのリンクになります。スプレッドシートの [**下位ポートフォリオ**]、[**直接プログラム**]、[**直接の提案/プロジェクト/資産**] の各行に表示される年度は、ポートフォリオのこれらのタブに表示するために選択された年度です。

各タブで、エクスポートされるのは、表示するように選択された列のみです。列は、表示されているのと同じ順序でエクスポートされ、変更した内容も反映されます。データが存在するが、フィールドレベルセキュリティなどに基づいてポートフォリオの特定の場所に表示されない場合、そのデータはスプレッドシートにエクスポートされません(ヘルスインジケータは、**緑**、**黄**、または**赤**のテキストとしてエクスポートされるため、Microsoft Excelでこれらのインジケータをソートできます)。

ポートフォリオマネージャのポートフォリオへの追加

ポートフォリオマネージャの機能については、38 ページの手順 3 を参照してください。

ポートフォリオを作成した人が最初のポートフォリオマネージャになります。

「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可を持つユーザ、または特定のポートフォリオの現在のポートフォリオマネージャであるユーザだけが、新しいポートフォリオマネージャをそのポートフォリオに追加できます。

「ポートフォリオの編集」アクセス許可または「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可を持つユーザのみ、新しいポートフォリオマネージャとして追加できます。

ポートフォリオマネージャをポートフォリオに追加するには、次の手順を実行します。

1. ポートフォリオヘッダで、[**ポートフォリオマネージャ**] フィールドのオートコンプリートをクリックします。

   「ポートフォリオの編集」アクセス許可または「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可を持ち、すでにそのポートフォリオのポートフォリオマネージャでないユーザがリストされます。

2. 必要に応じて、[**ポートフォリオマネージャ**]、[**名**]、および [**姓**] の各フィールドを使用し、[**検索**] をクリックして、利用できるユーザのリストをフィルタします。

3. 矢印ボタンを使用して、ポートフォリオマネージャとして追加するユーザを選択します。

4. オートコンプリートで [**OK**] をクリックします。

   選択したユーザがこのポートフォリオのポートフォリオマネージャとして追加されます。

階層ポートフォリオのアクセス権の構成

階層ポートフォリオへのアクセスは、セキュリティグループ定義で管理者によって設定されたアクセス許可を通じてシステムレベルで制御されます。ユーザは、所属しているセキュリティグループを通じてアクセス許可にリンクされます。階層ポートフォリオのアクセス許可とセキュリティグループの詳細については、『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』および『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。

さらに、「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可を持つか、特定のポートフォリオのポートフォリオマネージャであるユーザは、ポートフォリオの [アクセスの設定] ページを使用して、「ポートフォリオの編集」アクセス許可を持つユーザまたはセキュリティグループに対して「ポートフォリオの表示」アクセス権と「ポートフォリオの編集」アクセス権を指定できます。その後、これらのユーザとセキュリティグループは、ポートフォリオの表示、または表示と編集を行えます。

「すべてのポートフォリオの編集」アクセス許可を持つユーザは、すでにすべてのポートフォリオの表示と編集ができるため、アクセス権は必要なく、付与もできません。

ユーザによるポートフォリオの表示または編集を許可するアクセス許可とアクセス権の組み合わせの詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。

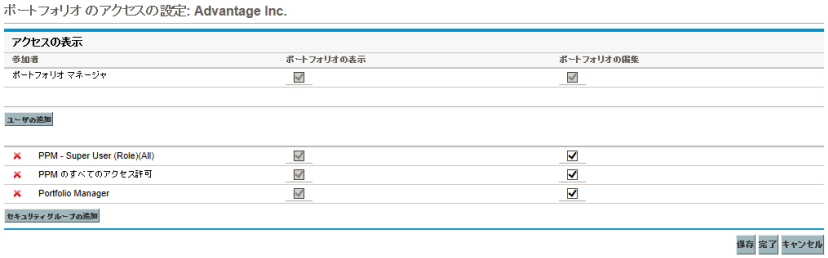
ポートフォリオのアクセス権を構成するには、次の手順を実行します。

1. 目的のポートフォリオを開きます。

   ポートフォリオに対するアクセス権を変更するアクセス許可がある場合、ポートフォリオの上部にある [**アクセスの設定**] ボタンが利用可能になります。

2. [**アクセスの設定**] をクリックします。

   選択したポートフォリオの [アクセスの設定] ページが開きます。



ポートフォリオのすべてのポートフォリオマネージャには自動的に「ポートフォリオの表示」アクセス権と「ポートフォリオの編集」アクセス権が付与され、これらのユーザとこれらのアクセス権は [アクセスの設定] ページから削除できないことに注意してください。

3. ユーザまたはセキュリティグループを追加するには、[**ユーザの追加**] または [**セキュリティグループの追加**] をクリックし、このポートフォリオの [アクセスの設定] ページで参加者に追加する1人のユーザまたは1つのセキュリティグループを選択します。

   「ポートフォリオの編集」アクセス許可を持つユーザがリストされます。

   追加したユーザまたはセキュリティグループには、「ポートフォリオの表示」アクセス権が自動的に付与され、削除できません。つまり、[アクセスの設定] ページにリストされているすべてのユーザは、このポートフォリオに対する表示アクセス権を持ちます。

4. ユーザまたはセキュリティグループにこのポートフォリオの編集を許可する場合、[**ポートフォリオの編集**] 列のチェックボックスを選択します。

5. [アクセスの設定] ページからユーザまたはセキュリティグループを削除する場合、その名前の左側にある [削除] アイコンをクリックします。

第 4 章 ポートフォリオの分析

ポートフォリオの分析の概要

本章では、HP Portfolio Management の視覚化を使用して、提案、プロジェクト、資産のセット全体と特定のサブセットのさまざまな要素を分析する方法について説明します。

本章の内容とここで説明する機能では、ポートフォリオとは、PPM Center インスタンスでの提案、プロジェクト、資産のセット全体またはそれらから選択した一部のことです。第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31 ページ) で説明する階層ポートフォリオとは異なり、本章で説明するポートフォリオは、プログラムを直接含めることができず、親ポートフォリオや下位ポートフォリオを組み込める階層の一部でもありません。ただし、本章で後述するように、ポートフォリオには、指定する特定の階層ポートフォリオのコンテンツを含めることができます。

本書では、「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、または資産を表すために使用されます。「ライフサイクルエンティティ」は提案、プロジェクト、および資産を任意に組み合わせたものです。

各タイプのライフサイクルエンティティは、一から作成することもできますが、通常、リクエストタイプの構成に応じて、提案は承認時に自動的にプロジェクトになり、プロジェクトは完了時に自動的に資産になります。

ポートフォリオのバブルチャートまたはポートフォリオのフィルタを適用したサブセットのバブルチャートを表示できます。このチャートでは、各バブルが 1 つのライフサイクルエンティティを表します。横軸 (デフォルトでは [**値**])、縦軸 (デフォルトでは [**リスク**])、バブルの色 (デフォルトでは [**ビジネス目標**])、およびバブルのサイズ (デフォルトでは [**計画コスト**]) を表すパラメータを制御します。

ライフサイクルエンティティにはさまざまな定性的基準 (管理者による変更が可能) のランキングをアサインできるため、HP Portfolio Management では、指定可能なベネフィット ([**価値**])、[**リスク**]、[**スコアの調整**] に基づいてライフサイクルエンティティの総合スコアを計算できます。

また、HP Portfolio Management ポートレットを使用すると、コストとリソースデータを、ビジネス目標、プロジェクトクラス ([**成長**]、[**効率性**] など)、または資産クラス ([**インフラストラクチャ**]、[**トランザクション**] など) 別に分割できます。

特定のライフサイクルエンティティの表示

目的のライフサイクルエンティティのセットを表示し、次に特定のライフサイクルエンティティを表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[**開く**] > [**Demand Management**] > [**リクエストの検索**] を選択します。

   [リクエストの検索] ページが表示されます。
3. [**リクエストタイプ**] フィールドの右側にあるオートコンプリートボタンをクリックします。
4. 表示されるリクエストタイプのリストから、[**利用可能**] 列内にあるリクエストタイプをクリックし、[**OK**] をクリックして、[**リクエストタイプ**] フィールドのテキストボックスに追加します。

   HP によってデフォルトで提供されるリクエストタイプを選択するには、次の手順を実行します。

   - 提案の場合、[**PFM - 提案**] リクエストタイプを選択します。
   - プロジェクトの場合、そのプロジェクトに応じて [**PFM - プロジェクト**] リクエストタイプ、[**プロジェクトの詳細**] リクエストタイプ、またはその両方を選択します。

     メニューバーの [開く] > [Project Management] メニュー、[開く] > [Portfolio Management] メニュー、または [作成] > [プロジェクト] メニューを使用してプロジェクトを作成する場合は、プロジェクトタイプを選択する必要があります。各プロジェクトタイプは、このタイプを持つすべてのプロジェクトに、[プロジェクトの詳細] または [PFM - プロジェクト] のいずれかのリクエストタイプを関連付けるかを指定します。

   - 資産の場合、[**PFM - 資産**] リクエストタイプを選択します。

5. [**OK**] をクリックします。

6. (オプション) [リクエストの検索] ページで、表示されるライフサイクルエンティティを絞るためのその他のフィルタを必要に応じて入力します。

7. [**検索**] をクリックします。

8. 提案または資産に関連付けられている特定のリクエスト、またはプロジェクトを開くには、[**リクエスト検索結果**] セクションの [**リクエスト番号**] カラムで目的のリクエスト番号をクリックします。

ポートフォリオの分析

[現在のポートフォリオの分析] ページには、バブルチャートが表示されます。バブルチャートは、ポートフォリオをさまざまな方法で表示するための簡単で強力なツールです。フィルタフィールドの指定内容によって、選択したポートフォリオの要素を表示または非表示にできます。71ページの図 4-1の例を参照してください。

ポートフォリオの表示、分析には、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。

2. メニューバーから、[**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**現在のポートフォリオの分析**] を選択します。

   [現在のポートフォリオの分析] ページが開きます。表 4-1の説明に従って、必要に応じてフィルタフィールドを指定し、バブルチャートの内容と外観を設定します。

3. フィルタフィールドを指定します。デフォルトでは、バブルチャートに提案は表示されず、ポートフォリオ内の現在アクティブなすべてのプロジェクトと資産が制限なしで表示されます。これにより、プロジェクトと資産のコレクションを参照でき、相対的な [**価値**] と [**リスク**] を評価できます。

   最後の4つのフィールドは、応用性の高いオプションで、バブルチャートの基本的な目的と外観を制御するための多目的のオプションのセットを提供します。その他のフィールドは、バブルチャートに含めるライフサイクルエンティティを各バブルに1つずつ制御します。たとえば、[**ビジネスユニット**] にフィルタを適用することで、ほかのすべての基準を使用して、特定のビジネスユニットのポートフォリオを表示できます。

4. [**適用**] をクリックして、選択したフィルタを適用します。

   許可された数を超えるライフサイクルエンティティを選択すると、さらにフィルタ基準を追加するよう求めるメッセージが表示されます。

   バブルチャートが表示され、チャートの上に、[**バブルのサイズの意味**] や [**バブルの色の意味**] など、一部のフィルタ基準に対して行った選択内容がリストされます。

図 4-1. [現在のポートフォリオの分析] ページ

表 4-1. [現在のポートフォリオの分析] ページのフィルタフィールド(1/5ページ)

フィールド名	説明
グラフに次の提案を含める	バブルチャートに表示する提案を選択します。すべての提案、選択する特定の提案、または提案なしを指定できます。
グラフに次のプロジェクトを含める	バブルチャートに表示するプロジェクトを選択します。すべてのプロジェクト、選択する特定のプロジェクト、またはプロジェクトなしを指定できます。
グラフに次の資産を含める	バブルチャートに表示する資産を選択します。すべての資産、選択する特定の資産、または資産なしを指定できます。
以下のポートフォリオ (サブポートフォリオを含む) の項目をグラフに含める	バブルチャートにすべてのライフサイクルエンティティを表示する階層ポートフォリオを選択します。またはポートフォリオを選択しません。階層ポートフォリオの詳細については、第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31 ページ) を参照してください。 特定の階層ポートフォリオを簡単に選択できるように、オートコンプリート機能によって、ポートフォリオの名前、その親ポートフォリオの名前 (該当する場合)、およびそのポートフォリオマネージャが表示されます。 バブルチャートには、選択する各階層ポートフォリオの個々のライフサイクルエンティティごとにバブルが表示されます。階層ポートフォリオのすべての下位ポートフォリオおよびプログラム内のライフサイクルエンティティも表示されます。 特定のライフサイクルエンティティを (前述した3つのフィールドのいずれかで) 選択し、それを含む階層ポートフォリオを選択した場合、ライフサイクルエンティティはバブルチャートに1度だけ表示されます。
ビジネスユニット	1つまたは複数の特定のビジネスユニットによってライフサイクルエンティティをフィルタします。
ビジネス目標	1つまたは複数の特定のビジネス目標によってライフサイクルエンティティをフィルタします。
プロジェクトクラス	1つまたは複数の特定のプロジェクトクラスによってライフサイクルエンティティをフィルタします。
資産クラス	1つまたは複数の特定の資産クラスによってライフサイクルエンティティをフィルタします。

表 4-1. [現在のポートフォリオの分析] ページのフィルタフィールド(2/5ページ)

フィールド名	説明
価値 > <**X**> および < <**Y**>	「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明に従って、指定した価値の評価の範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。
リスク > <**X**> および < <**Y**>	「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明に従って、指定したリスクの評価の範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。
スコア > <**X**> および < <**Y**>	「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明に従って、指定した合計スコアの範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。
計画コスト合計 > <**X**> および < <**Y**>	指定した合計計画コストの範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。このコストは、以下の合計として計算されます。 ● 過去の各月について: 実績コストがレポートされている (つまりブランクやゼロでない) 場合はその値、レポートされていない場合は予測コスト ● 今月について: 予測コストと実績コスト (レポートされている場合) のいずれか大きい方 ● 将来の月について: 予測コスト
ベネフィット合計 > <**X**> および < <**Y**>	指定した財務ベネフィットの範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。このベネフィットは、以下の合計として計算されます。 ● 過去の各月について: 実績ベネフィットがレポートされている (つまりブランクやゼロでない) 場合はその値、レポートされていない場合は予測ベネフィット ● 今月について: 予測ベネフィットと実績ベネフィット (レポートされている場合) のいずれか大きい方 ● 将来の月について: 予測ベネフィット
リソース合計 (人月) > <**X**> および < <**Y**>	指定したスタッフィングプロファイルのリソース合計 (単位は人月) の範囲によって、ライフサイクルエンティティをフィルタします。
名目収益 > <**X**> および < <**Y**>	このフィールドが表示される場合、指定した名目収益の範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。名目収益は、「合計名目収益」(147ページ) の説明に従って計算されます。

表 4-1. [現在のポートフォリオの分析] ページのフィルタフィールド(3/5ページ)

フィールド名	説明
正味現在価値 > <**X**> および < <**Y**>	このフィールドが表示される場合、指定したNPVの範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。NPVは、「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) の説明に従って計算されます。
カスタムフィールド値 > <**X**> および < <**Y**>	このフィールドが表示される場合、指定したカスタムフィールド値の範囲によってライフサイクルエンティティをフィルタします。カスタムフィールド値は、PPM Centerの特定のインストールに対して構成されます。詳細については、『HP Portfolio Management設定ガイド』を参照してください。
横軸	バブルチャートの横軸に使用されるパラメータを指定します。オプションは次のとおりです。 ● **[価値]:** ライフサイクルエンティティの価値の評価 (「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明を参照)。これはデフォルトオプションです。 ● **[リスク]:** ライフサイクルエンティティのリスクの評価 (「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明を参照)。 ● **[スコア]:** ライフサイクルエンティティの合計スコア (「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) の説明を参照)。 ● **[計画コスト]:** ライフサイクルエンティティの計画コスト。 ● **[ベネフィット]:** ライフサイクルエンティティの財務ベネフィット。 ● **[リソース]:** ライフサイクルエンティティのスタッフィングプロファイル。 ● **[名目収益]:** 有効な場合、「合計名目収益」(147 ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの名目収益。 ● **[正味現在価値]:** 有効な場合、「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの正味現在価値 (NPV)。 ● **[カスタムフィールド値]:** 有効な場合、ライフサイクルエンティティのカスタムフィールド値 (『HP Portfolio Management設定ガイド』の説明を参照)。

表 4-1. [現在のポートフォリオの分析] ページのフィルタフィールド(4/5ページ)

フィールド名	説明
縦軸	バブルチャートの縦軸に使用されるパラメータを指定します。オプションは次のとおりです。 ● **[リスク]:** ライフサイクルエンティティのリスクの評価 (「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明を参照)。これはデフォルトオプションです。 ● **[価値]:** ライフサイクルエンティティの価値の評価 (「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明を参照)。 ● **[スコア]:** ライフサイクルエンティティの合計スコア (「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明を参照)。 ● **[計画コスト]:** ライフサイクルエンティティの計画コスト。 ● **[ベネフィット]:** ライフサイクルエンティティの財務ベネフィット。 ● **[リソース]:** ライフサイクルエンティティのスタッフィングプロファイル。 ● **[名目収益]:** 有効な場合、「合計名目収益」(147ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの名目収益。 ● **[正味現在価値]:** 有効な場合、「正味現在価値 (NPV)」(148ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの正味現在価値 (NPV)。 ● **[カスタムフィールド値]:** 有効な場合、ライフサイクルエンティティのカスタムフィールド値 (『HP Portfolio Management設定ガイド』の説明を参照)。
バブルの色の意味	バブル (ライフサイクルエンティティ) のさまざまな色が表すものを指定します。これはバブルチャートの下の凡例に示されます。オプションは次のとおりです。 ● **[ビジネス目標]:** これがデフォルトのオプションです。 ● **[資産クラス]** ● **[ビジネスユニット]** ● **[ヘルス]** ● **[プロジェクトクラス]** ● **[タイプ]:** [**提案**]、[**プロジェクト**]、[**資産**] が色分けされています。

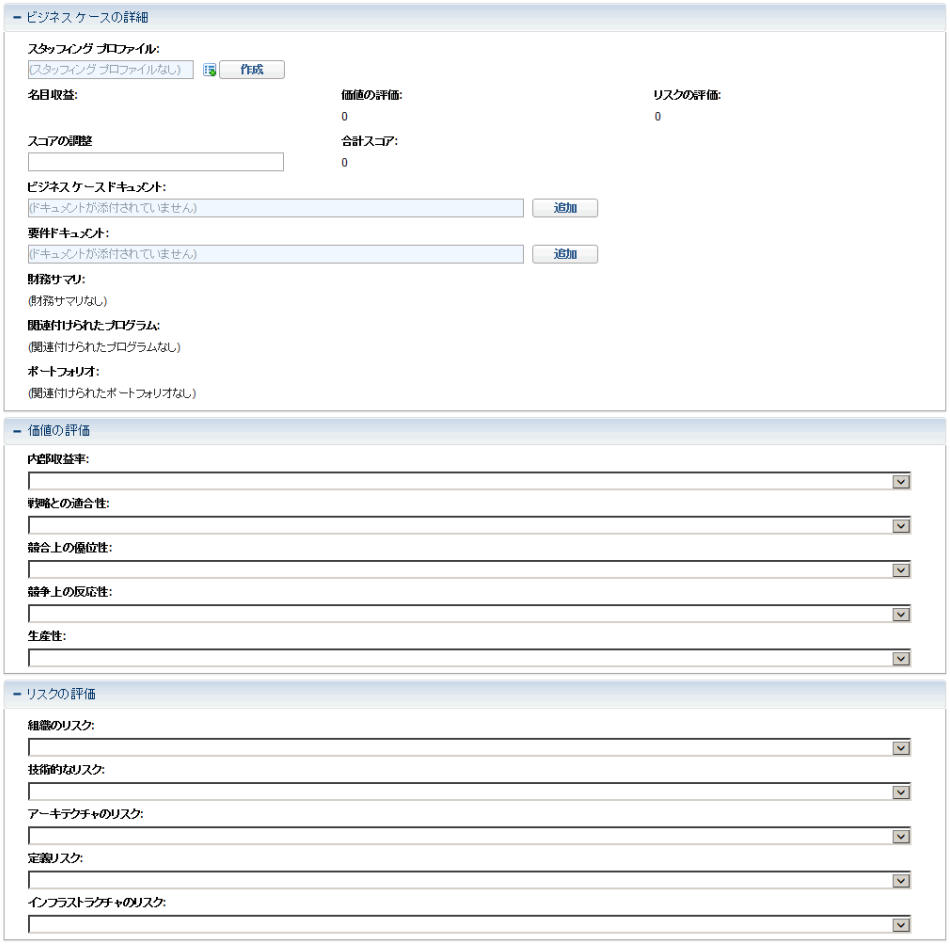
表 4-1. [現在のポートフォリオの分析] ページのフィルタフィールド(5/5ページ)

フィールド名	説明
バブルのサイズの意味	バブル (ライフサイクルエンティティ) のさまざまなサイズが表すものを指定します。オプションは次のとおりです。 ● **[計画コスト]:** ライフサイクルエンティティの計画コスト。これはデフォルトオプションです。 ● **[ベネフィット]:** ライフサイクルエンティティの財務ベネフィット。 ● **[リソース]:** ライフサイクルエンティティのスタッフィングプロファイル。 ● **[価値]:** ライフサイクルエンティティの価値の評価 (「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明を参照)。 ● **[リスク]:** ライフサイクルエンティティのリスクの評価 (「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明を参照)。 ● **[スコア]:** ライフサイクルエンティティの合計スコア (「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) の説明を参照)。 ● **[名目収益]:** 有効な場合、「合計名目収益」(147ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの名目収益。 ● **[正味現在価値]:** 有効な場合、「正味現在価値 (NPV)」(148ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの正味現在価値 (NPV)。 ● **[カスタムフィールド値]:** 有効な場合、ライフサイクルエンティティのカスタムフィールド値 (『HP Portfolio Management設定ガイド』の説明を参照)。

価値とリスクの評価の決定

ライフサイクルエンティティは、純粋に数値では計算できない定性的な基準を使用して評価できます。これらのランキングは、図 4-2の提案の例で示すように、各ライフサイクルエンティティの作成時にオプションで指定する [**価値の評価**] および [**リスクの評価**] セクション内のフィールドのセットを使用してトラッキングされます。これらのフィールドは、ライフサイクルエンティティの [**詳細**] セクション (提案の場合、[**プロジェクトの詳細**] タブ) に表示されます。

図 4-2. 定性的な値とリスクの評価およびスコアの調整



これらの定性的なフィールドに入力すると、PPM Centerでは、リスト順に次の計算を実行し、ライフサイクルエンティティの対応する [**価値の評価**]、[**リスクの評価**]、[**合計スコア**] を動的に計算して表示します。

- 各フィールドに対して定義済みの重み係数を適用します。
- 重み付けされた各エントリを [**価値の評価**] セクションに追加します (結果は [**ビジネスケースの詳細**] セクションの [**価値の評価**] フィールドに表示されます)。
- 重み付けされた各エントリを [**リスクの評価**] セクションに追加します (結果は [**ビジネスケースの詳細**] セクションの [**リスクの評価**] フィールドに表示されます)。
- [**価値の評価**] から [**リスクの評価**] から差し引いて、スコアを取得します。
- 結果のスコアを、[**ビジネスケースの詳細**] セクションの [**スコアの調整**] フィールドで指定された数量で調整します。たとえば、自信のあるプロジェクトのスポンサーなら、[**スコアの調整**] フィールドに「**10**」と入力してスコアを10ポイント上げる可能性がありますが、プロジェクトのリスクが計算値よりも高いと考える人は「**-5**」と入力してスコアを5ポイント下げるかもしれません。
- [**ビジネスケースの詳細**] セクションの [**合計スコア**] フィールドに結果を表示します。

つまり、[**合計スコア**] = [**価値の評価**] − [**リスクの評価**] + [**スコアの調整**] となります。

スコアリング基準とその値の変更または追加の詳細については、『HP Portfolio Management設定ガイド』を参照してください。

HP Portfolio Managementポートレットの使用

本項およびそこで説明するポートレットでは、ポートフォリオとは、PPM Centerインスタンスでの提案、プロジェクト、および資産のセット全体 (ここからサブセットを選択できる) のことです。第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31ページ) で説明する階層ポートフォリオとは異なり、本章で説明するポートフォリオには、プログラムを含めることができず、下位ポートフォリオを組み込める階層の一部でもありません。

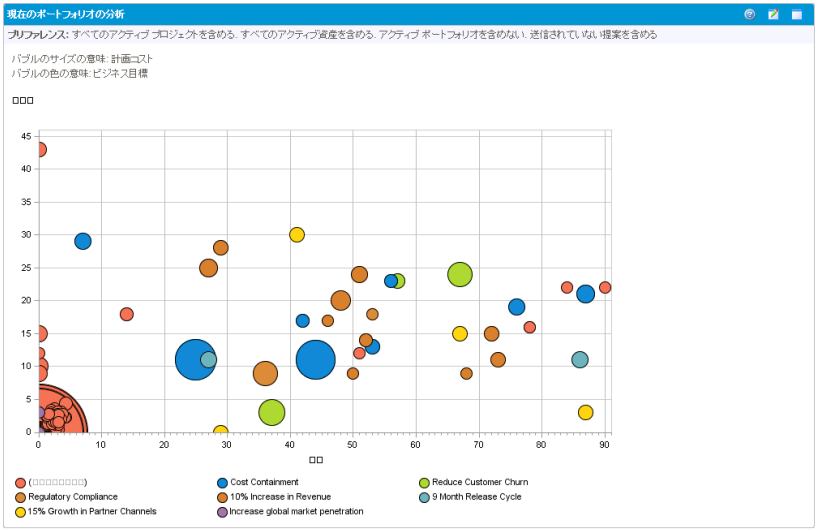
次の各項で説明するように、ポートフォリオの主要な要素をリアルタイムで表示できるように、いくつかのポートレットが用意されています。これらのポートレットをパーソナライズして、ユーザにとって最も重要な情報を表示するようにできます。

ほかのHP Portfolio Managementポートレットについては、「シナリオ比較ポートレットの使用」(143ページ)」および『HPエンティティガイド』を参照してください。

[現在のポートフォリオの分析] ポートレットを使用したポートフォリオの表示

[現在のポートフォリオの分析] ポートレットには、[現在のポートフォリオの分析] ページと同じバブルチャートが表示されますが、ページの場合とは異なり、フィルタフィールドはポートレットに対して保存されます。図 4-3を参照してください。

図 4-3. [現在のポートフォリオの分析] ポートレット



このポートレットに関して編集できるプリファレンスは、[現在のポートフォリオの分析] ページのフィルタフィールドと同じです。詳細については、「ポートフォリオの分析」(69ページ) を参照してください。

異なるフィルタフィールド設定を持つこのポートレットの複数のインスタンスを単一のPPM Dashboardページに配置すると、現在のポートフォリオのさまざまな要素の同時ビューを取得できます。

ポートフォリオ (<カテゴリ>別) ポートレットを使用したポートフォリオデータの表示

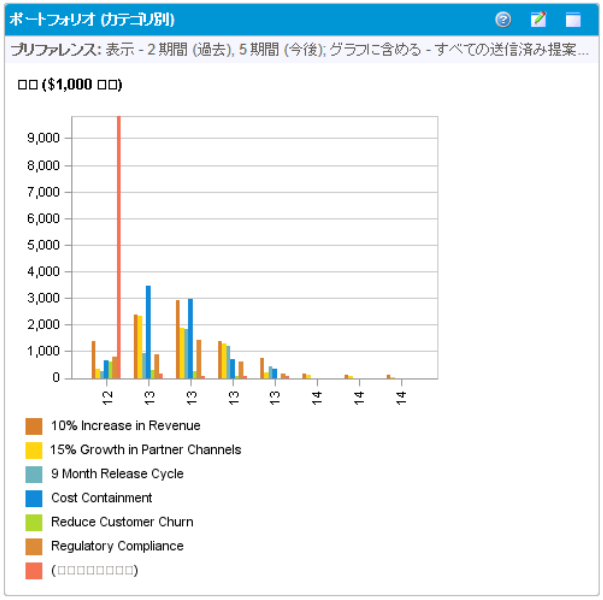
ポートフォリオ (<カテゴリ>別) ポートレットを使用すると、ポートフォリオのコンテンツの財務上重要な値 (コスト、財務ベネフィット、NPV、名目収益など) を分析および集計できます。

ポートフォリオ (<カテゴリ>別) ポートレットには、具体的に次のようなものがあります。

- ポートフォリオ (ビジネス目標)
- ポートフォリオ (プロジェクトクラス)
- ポートフォリオ (資産クラス)

このポートレットは、選択したカテゴリの期間ごとの比較を表示します。例として、図 4-4にポートフォリオ (ビジネス目標) ポートレットを示します。

図 4-4. ポートフォリオ (ビジネス目標) ポートレット



チャート内の棒をクリックするとドリルダウンページが開き、その棒を構成する各ライフサイクルエンティティの期間ごとの予算の詳細が示されます。図 4-5の例を参照してください。

図 4-5. [ポートフォリオ (カテゴリ別) ビジネス目標] ドリルダウンページ

ポートフォリオ (カテゴリ別) ビジネス目標: Regulatory Compliance

完了

期間別予算の詳細

合計予算: $3,909,632

提案	Q4 12	Q1 13	Q2 13	Q3 13	Q4 13	Q1 14	Q2 14	Q3 14	合計
Compliance Tracker	$0	$568,880	$640,600	$0	$0	$0	$0	$0	$1,209,480
Global Logistics	$0	$45,000	$45,000	$0	$0	$0	$0	$0	$90,000
ISO-9002 Certification	$248,624	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$248,624
Identity Control	$0	$0	$483,108	$442,980	$0	$0	$0	$0	$926,088
Network Security Update	$48,000	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$48,000
SOX Audit Tracker	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0
Warranty Maintenance Upgrades	$0	$137,840	$128,720	$40,880	$0	$0	$0	$0	$307,440
合計	**$296,624**	**$751,720**	**$1,297,428**	**$483,860**	**$0**	**$0**	**$0**	**$0**	
プロジェクト	Q4 12	Q1 13	Q2 13	Q3 13	Q4 13	Q1 14	Q2 14	Q3 14	合計
Barcode Asset Collection	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0
合計	**$0**	**$0**	**$0**	**$0**	**$0**	**$0**	**$0**	**$0**	
資産	Q4 12	Q1 13	Q2 13	Q3 13	Q4 13	Q1 14	Q2 14	Q3 14	合計
Enterprise Information Portal	$144,000	$144,000	$144,000	$144,000	$144,000	$0	$0	$0	$720,000
Transaction Management	$360,000	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$0	$360,000
合計	**$504,000**	**$144,000**	**$144,000**	**$144,000**	**$144,000**	**$0**	**$0**	**$0**	

完了

第 5 章 What-If分析

What-If 分析の概要

本章では、What-If分析を実行するためのシナリオ比較の使用方法を説明します。What-If分析は、実際に購入したりプロジェクトを開始しないで、投資関連の意思決定を行うための方法です。

What-If分析を実行するために、HP Portfolio Managementでは、複数のシナリオを素早く組み合わせ、さまざまに視覚化して代替方法を比較できます。HP Portfolio Managementシナリオ比較には、次のものが含まれています。

- 指定した提案、プロジェクト、および資産のグループ
- 3つのシナリオ (それぞれがこれらの提案、プロジェクト、資産の異なるサブセットの選択に基づく)

本書では、「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、または資産を表すために使用されます。「ライフサイクルエンティティ」は提案、プロジェクト、および資産を任意に組み合わせたものです。

各タイプのライフサイクルエンティティは、一から作成することもできますが、通常、リクエストタイプの構成に応じて、提案は承認時に自動的にプロジェクトになり、プロジェクトは完了時に自動的に資産になります。

シナリオ比較インタフェースを使用すると、指定した制限パラメータと最適化パラメータを使用して最適化プログラム (オプティマイザ) を実行し、最適なシナリオを特定できます。

シナリオ比較を作成、表示、変更するには、Portfolio Management ライセンス、および特定のアクセス許可とアクセス権 (『HP Program Management Configuration Guide』および「シナリオ比較のアクセス権の設定」(139 ページ) を参照) が必要です。

この章で説明する手順を実行する必要があるにもかかわらず、必要なアクセス権がない場合は、管理者に問い合わせてください。

シナリオ比較の作成

シナリオ比較を作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[**作成**] > [**シナリオ比較**] を選択します。

   [シナリオ比較の作成] ページが開きます。

3. [**比較名**] を入力します。
4. シナリオ比較用に提示されるすべての視覚化に対して使用する時間範囲を入力します。この時間範囲は、シナリオ比較の対象となるライフサイクルエンティティには影響しません。これらのライフサイクルエンティティは、手順 6 で指定します。[**開始期間**] と [**終了期間**] は、いつでも変更できます。
5. シナリオ比較内の 3 つのシナリオについてそれぞれ名前を入力します。

6. コンテンツを指定します。つまり、シナリオ比較に含めるライフサイクルエンティティのセットを選択します。後で、これらのライフサイクルエンティティのどれを個々のシナリオに含め、どれを除外するかを指定します。少なくとも、シナリオ比較には、いずれかのシナリオに含めたいと思うライフサイクルエンティティをすべて含めておきます。後で、シナリオ比較全体に対して、また個々のシナリオに対してライフサイクルエンティティの追加および削除を行うことができます。

   シナリオ比較の開始点としては、送信された提案のすべて、アクティブなプロジェクトのすべて、アクティブな資産のすべてを含めることができます。また、オートコンプリートを使用して、シナリオ比較に含める特定の提案、プロジェクト、資産を選択することもできます。

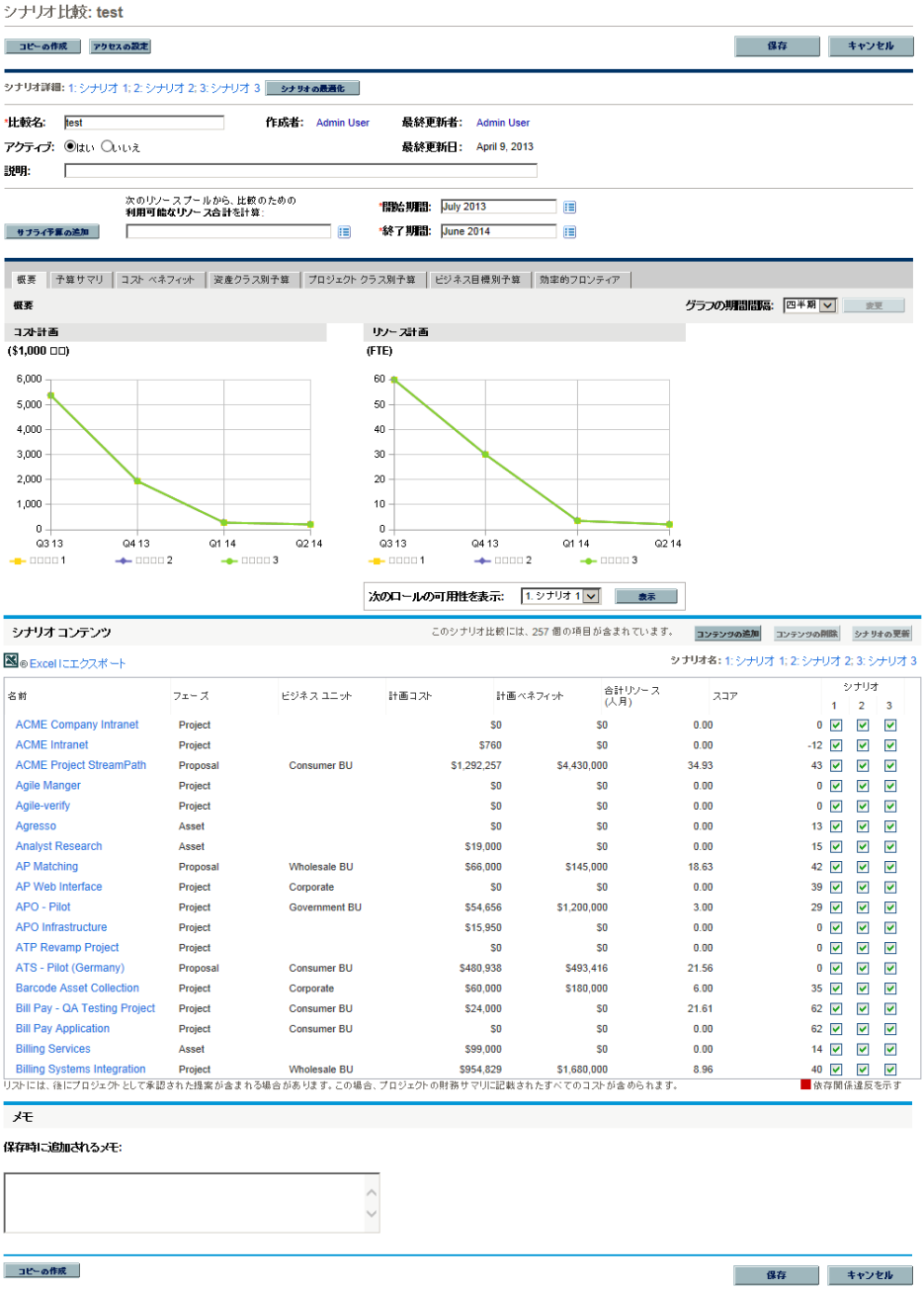
   [**ポートフォリオ**] フィールドを表示するように設定されたリクエストタイプで詳細フィルタを使用すると、「階層ポートフォリオ」(第 3 章「階層ポートフォリオの作成と表示」(31 ページ) で定義) の一部となっている該当するタイプのすべてのリクエストを検索できます。

7. [**作成**] をクリックして、シナリオ比較を作成します。

   シナリオ比較リスト内のライフサイクルエンティティがリスト内にないライフサイクルエンティティに依存するシナリオ比較を作成できます。最終のシナリオ比較リストがライフサイクルエンティティに指定されているすべての依存関係を満たしていることを確認するか、少なくとも不整合に留意しておくこともできます。

   シナリオ比較が作成され、図 5-1 と「[シナリオ比較] ページの概要」(87 ページ) で説明するような [シナリオ比較] ページが開きます。

図 5-1. [シナリオ比較] ページ



次の各項では、シナリオ比較で表示される情報について詳細に説明します。ライフサイクルエンティティの追加と削除を含め、シナリオ比較とその個々のシナリオのさまざまな方法による変更については、「シナリオ比較の表示と変更」(107ページ) を参照してください。

[シナリオ比較] ページの概要

[シナリオ比較] ページには、次の主要なセクションがあります。

- シナリオ比較の基本情報フィールドは、ページの上部にあります。これらのフィールドを変更するには、「シナリオ比較の基本情報の変更」(111ページ) を参照してください。特に、サプライ予算とリソースプールのセットをシナリオ比較用に指定し、[**概要**] タブで、個々のシナリオのライフサイクルエンティティに関連付けられたコストおよびリソースの合計と比較できます。

- タブのセットにシナリオ比較の結果が表示されます。デフォルトでは [**概要**] タブが表示されます。これらのタブについては、「シナリオ比較の結果 (タブ) の確認」(93ページ) を参照してください。

  シナリオ比較では、すべてのグラフとテーブルでコストとベネフィットを計算するために、各シナリオ用に選択した提案、プロジェクト、資産のセットから次の値を使用します。

  - 過去の期間の場合、指定されていれば (つまり、空白およびゼロでない)、実績コストと実績ベネフィット、それ以外の場合、予測 (計画) コストと予測ベネフィット
  - 現在の期間の場合、予測コストまたは実績コストのいずれか**高い**方、および予測ベネフィットと実績ベネフィットのいずれか**高い**方
  - 今後の期間の場合、予測コストと予測ベネフィット

  コストの決定は、選択した提案、プロジェクト、資産に関連付けられている承認された予算とは無関係です。

  また、[**リソース合計 (人月)**] を計算するために、シナリオ比較では次の値を使用します。

  - 過去の期間の場合、指定されていれば、実績工数、それ以外の場合、計画工数
  - 現在の期間の場合、計画工数または実績工数のいずれか**高い**方
  - 今後の期間の場合、計画工数

- [**Excelにエクスポート**] リンクは、[**シナリオコンテンツ**] セクションの左上にあります。このリンクをクリックすると、基本情報フィールド (シナリオ比較の上部にあり) および [**シナリオコンテンツ**] テーブルに表示された列が (依存関係違反があればその指摘も含めて) Microsoft Excelにエクスポートされます。

  Excelには、表示されている列のみが、その表示順にエクスポートされます。つまり、表示するように選択した列や列の順序を変更した場合、その内容はMicrosoft Excelファイルに反映されます。

- [**シナリオ名**] フィールドには、シナリオ比較の各シナリオの [シナリオ詳細] ページへのリンクがあります。これは、シナリオ比較の上部近くにある [**シナリオ詳細**] フィールドに表示される一連のリンクと同じです。

- [**シナリオコンテンツ**] セクションには、シナリオ比較作成時に指定した基準を満たすライフサイクルエンティティがリストされます。ヘッダには、シナリオ比較内の項目数、[**コンテンツの追加**] ボタン、[**コンテンツの削除**] ボタンがあり、行が選択されている場合は [**シナリオの更新**] ボタンもあります。

  [**シナリオの更新**] をクリックすると、項目選択の変更内容がすべて保存され、それに応じて [**シナリオコンテンツ**] セクションの上にあるすべてのタブのグラフも更新されます。このボタンをクリックしても、グラフの上の基本情報フィールド ([**比較名**]、[**説明**] など) に加えた変更は保存されません。

  シナリオを変更するには、シナリオ比較全体に対してライフサイクルエンティティの追加および削除を行ったり、また3つの個々のシナリオから差別化を目的として、特定のライフサイクルエンティティを含めたり、除外したりします。詳細については、「シナリオ比較の表示と変更」(107ページ) を参照してください。

  [**シナリオコンテンツ**] セクションの列には、次の表に記載するように各ライフサイクルエンティティの情報が表示されます。

列	説明
名前	ライフサイクルエンティティの名前。ライフサイクルエンティティを開くリンクとして表示されます。
フェーズ	ライフサイクルエンティティ ([**提案**]、[**プロジェクト**]、[**資産**]) のフェーズ。
ビジネスユニット	ライフサイクルエンティティに指定されているビジネスユニット (存在する場合)。
計画コスト	ライフサイクルエンティティの合計コスト。次の項目の合計として計算されます。 ● 過去の各月について: 実績コストがレポートされている (つまりブランクやゼロでない) 場合はその値、レポートされていない場合は予測コスト ● 今月について: 予測コストと実績コスト (レポートされている場合) のいずれか大きい方 ● 将来の月について: 予測コスト
計画ベネフィット	ライフサイクルエンティティの合計財務ベネフィット。次の項目の合計として計算されます。 ● 過去の各月について: 実績ベネフィットがレポートされている (つまりブランクやゼロでない) 場合はその値、レポートされていない場合は予測ベネフィット ● 今月について: 予測ベネフィットと実績ベネフィット (レポートされている場合) のいずれか大きい方 ● 将来の月について: 予測ベネフィット
合計リソース (人月)	ライフサイクルエンティティで必要とされる合計人月数。添付されているスタッフィングプロファイルで指定されています。
名目収益	「合計名目収益」(147 ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの名目収益。この列は、対応するパラメータが管理者によって有効に設定された場合にのみ表示されます。86 ページの図 5-1 の例はこれに該当します。
[正味現在価値]:	「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) の説明に従って計算される、ライフサイクルエンティティの正味現在価値。この列は、対応するパラメータが管理者によって有効に設定された場合にのみ表示されます。図 5-1 の例はこれに該当します。

列	説明
[カスタムフィールド値]:	ライフサイクルエンティティをランク付けする目的で管理者によって指定されるカスタム財務メトリクス。この列は、対応するパラメータが管理者によって有効に設定された場合にのみ表示されます。図 5-1の例はこれに該当します。
スコア	ライフサイクルエンティティに対して計算された [**合計スコア**]。詳細については、「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) を参照してください。
シナリオ1、2、および3	比較のために3つの各シナリオに含める、または除外するライフサイクルエンティティ (行) を示すチェックボックスのリスト。最初は、すべてのライフサイクルエンティティが3つのシナリオすべてに選択されます。比較するシナリオを区別するには、必要に応じて図 5-1の例に示すようにチェックボックスを選択解除します。 **注記:** デフォルトでは、選択されているライフサイクルエンティティのセットが同じであれば、シナリオ比較内のシナリオは同一です。ただし、シナリオ内の任意のライフサイクルエンティティの開始日を変更できるため (「シナリオ内のライフサイクルエンティティの開始日の調整」(121 ページ) を参照)、そのシナリオを同じエンティティを持つほかのシナリオと区別できます。この違いは [シナリオ比較] ページでは識別できません。

- [シナリオ比較] ページの下部にある [**メモ**] セクションでは、シナリオ比較にメモを追加できます。詳細については、「シナリオ比較へのメモの追加」(118 ページ) を参照してください。

シナリオコンテンツテーブルで使用可能なオプション列

「シナリオ比較のシナリオコンテンツの外観を変更する方法」で説明するように、任意のシナリオ比較のシナリオコンテンツテーブルに特定の列を追加できます。このような列の中には、`COST_CAPITALIZATION_ENABLED` `server.conf`パラメータが`true`に設定され、資本コストと運用コストが別々にトラッキングできるようになっている場合にのみ使用できるものもあります。次のリストに、このような列を示します。

- **承認された予算**
- **承認された資本予算** (コストの資産計上が有効な場合)

- **承認された業務予算** (コストの資産計上が有効な場合)
- **予測コスト**
- **予測資本コスト** (コストの資産計上が有効な場合)
- **予測業務コスト** (コストの資産計上が有効な場合)
- **実績コスト**
- **実績資本コスト** (コストの資産計上が有効な場合)
- **実績業務コスト** (コストの資産計上が有効な場合)
- **予測ベネフィット**
- **実績ベネフィット**

シナリオ比較のシナリオコンテンツの外観を変更する方法

シナリオ比較の [**シナリオコンテンツ**] テーブルは、次の方法で変更できます。変更内容は、PPM Center からログアウトした後で再度ログインしたときも保持されています。

- 列を再配置するには、列見出しをクリックして目的の場所までドラッグします。
- 列のサイズは、列見出しと隣接する列見出しの間にある区切り線をクリックしてドラッグし、調整します。

  次のオプションについては、必要に応じて列見出しをクリックまたは右クリックする代わりに、マウスを移動したときに列見出しの右側に表示されるドロップダウン矢印をクリックできます。

- テーブルの列を非表示にするには、任意の列見出しを右クリックし、[**列**] を選択して、非表示にする列の名前をクリック (選択解除) します。

  表示されていない列を表示するには、任意の列見出しを右クリックし、[**列**] を選択して、表示する列の名前をクリック (選択解除) します。

- 列内の値を基にして行のソートを行うには、基準とする列の見出しをクリックするか、右クリックして、[**昇順でソート**] または [**降順でソート**] を選択します。
- 列見出しを右クリックし、[**列 "<列名>" の凍結**] をクリックすると、次の操作を実行できます。
  - 該当する列を左側については可能な限り、ただし、右側については、前に凍結されたほかの列まで移動する
  - 見出しをクリックしたりドラッグしても該当する列を移動できないようにする
  - ほかの列に水平スクロールが使用されている場合、該当する列の幅を凍結する

  列を凍結した場合は、列見出しを右クリックして、[**列 "<列名>" の凍結解除**] をクリックすれば、列を凍結されたほかの列のすぐ右側まで移動できます。

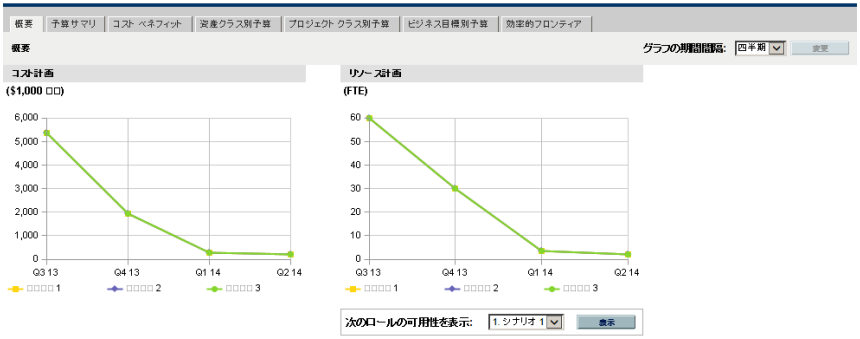
シナリオ比較の結果 (タブ) の確認

シナリオ比較の結果は [シナリオ比較] ページのタブのセットに表示されます。各タブについては、次の各項で説明します。これらの例では、シナリオ比較の各シナリオに対して異なるエンティティのセットが選択されています。合計コスト、合計ベネフィット、および合計リソースの計算方法については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87 ページ) を参照してください。

[概要] タブ

[シナリオ比較] ページの [**概要**] タブには、シナリオ比較の 3 つのシナリオの概要が表示されます。図 5-2 を参照してください。

図 5-2. [シナリオ比較] ページ、[概要] タブ



ほかのタブとは異なり、[**概要**] タブでは、3 つのシナリオすべてを 2 つの視覚化 ([**コスト計画**] グラフと [**リソース計画**] グラフ) にそれぞれ統合します。

- **[コスト計画]:** [コスト計画] グラフの各シナリオの折れ線は、そのシナリオに対して選択されたすべてのライフサイクルエンティティに添付されているコストの期間ごとの合計を示します。コスト計算については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87 ページ) を参照してください。

  サプライ予算がタブの上の基本情報セクションに指定されている場合、グラフには、サプライ予算が [合計予算] 折れ線として下に単色付きで示されます。サプライ予算の指定については、「シナリオ比較の基本情報の変更」(111 ページ) を参照してください。

- **[リソース計画]:** [リソース計画] グラフのシナリオの折れ線は、各シナリオに必要な期間ごとのリソースを示します。この値は、そのシナリオに対して選択されたすべてのライフサイクルエンティティに添付されているすべてのスタッフィングプロファイルの合計リソース要件の総計です。

  タブの上の基本情報セクションで [**次のリソースプールから、比較のための利用可能なリソース合計を計算**] が指定されている場合、フィールドグラフには、これらのリソースプールのリソースの合計が [利用可能なリソース合計] 折れ線として下に単色付きで示されます。このフィールドを指定するには、「シナリオ比較の基本情報の変更」(111ページ) を参照してください。シナリオ比較用に指定するリソースサプライは、シナリオ内のライフサイクルエンティティに添付されているスタッフィングプロファイルのセットで表されるリソースデマンドに関連付ける必要はありません。

  特定のシナリオのロールの可用性を表示し、特定のロールが必要となる場所と時点を一目で判断することもできます。詳細については、「シナリオのロールの可用性と要件の表示」(124ページ) を参照してください。

任意の期間で、シナリオの必要予算または必要リソースは、シナリオ比較に指定されたサプライ予算またはサプライリソースを超えることができます。目標と制限に関するさまざまなオプション付きでシナリオ最適化プログラムを実行できます。このプログラムは、最適化済みシナリオが指定したサプライ予算またはサプライリソースを超えないようにします。詳細については、「シナリオの最適化の実行」(126ページ) を参照してください。

すべてのタブ ([**効率的フロンティア**] タブを除く) のグラフは、横軸に同じ間隔を使用します。間隔を変更するには、これらの任意のタブの [**グラフの期間間隔**] フィールドで新しい値を選択し、[**変更**] をクリックします。図 5-3 を参照してください。

図 5-3. [グラフの期間間隔] フィールド

[予算サマリ] タブ

[シナリオ比較] ページの [**予算サマリ**] タブには、各シナリオのコスト情報のグラフが表示されます。図 5-4を参照してください。

図 5-4. [シナリオ比較] ページ、[予算サマリ] タブ

各グラフは、資本的支出と運用支出を積み重ね棒グラフで表示します。コスト (予算) 計算については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87ページ) を参照してください。

シナリオ比較にサプライ予算が指定されている場合、サプライ予算はキャパシティ曲線として表示されます。シナリオ比較にサプライ予算を指定する方法の詳細については、「シナリオ比較の基本情報の変更」(111ページ) を参照してください。

任意の期間で、シナリオの必要予算は、シナリオ比較に指定されたサプライ予算を超えることができます。目標と制限に関するさまざまなオプション付きでシナリオ最適化プログラムを実行できます。このプログラムは、最適化済みシナリオが指定したサプライ予算を超えないようにします。詳細については、「シナリオの最適化の実行」(126ページ) を参照してください。

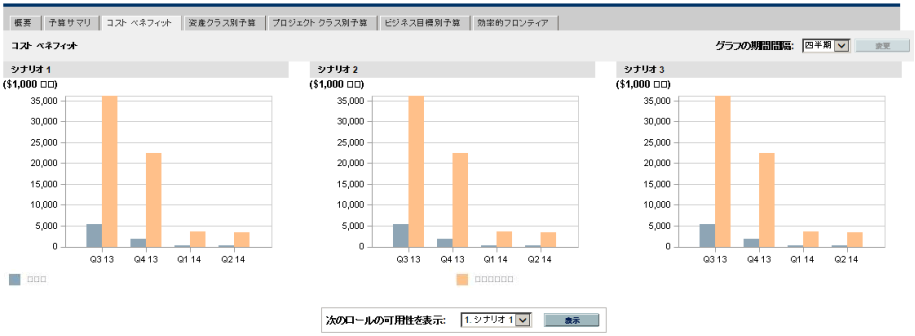
支出の負の値の表示はサポートされていません。

[**効率的フロンティア**] タブ以外のすべてのタブでグラフの横軸に使用される間隔を変更するには、[**グラフの期間間隔**] フィールドで新しい値を選択し、[**変更**] をクリックします (94ページの図 5-3を参照)。

[コストベネフィット] タブ

[シナリオ比較] ページの [**コストベネフィット**] タブには、各シナリオのコスト/ベネフィット分析を示すグラフが表示されます。図 5-5 を参照してください。

図 5-5. [シナリオ比較] ページ、[コストベネフィット] タブ



各シナリオのグラフは、期間ごとに予定されるコストと予定されるベネフィットを表す棒グラフです。このグラフには、次の機能があります。

- 各グラフにおけるコストとベネフィットの棒は、各シナリオの期間ごとの正味ベネフィットに関する情報を提供します。
- グラフは期間ごとに表示されるため、各シナリオのコストとベネフィットのトレンドも示されます。

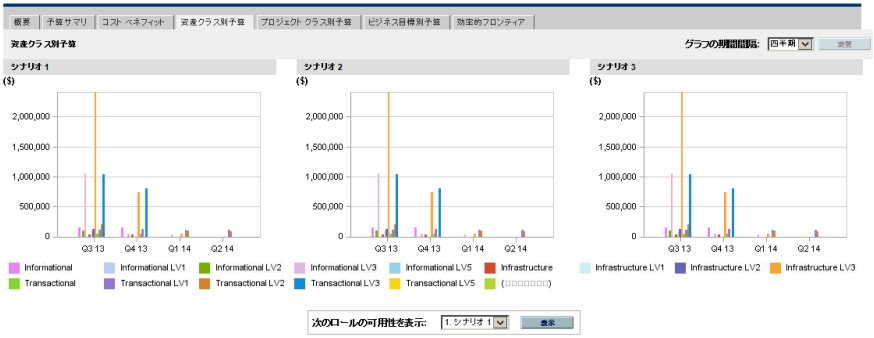
コストとベネフィットの計算については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87 ページ) を参照してください。

[**効率的フロンティア**] タブ以外のすべてのタブでグラフの横軸に使用される間隔を変更するには、[**グラフの期間間隔**] フィールドで新しい値を選択し、[**変更**] をクリックします (94 ページの図 5-3 を参照)。

[資産クラス別予算] タブ

[シナリオ比較] ページの [**資産クラス別予算**] タブには、各シナリオの期間ごとの予算を資産クラス別に比較するグラフが表示されます。図 5-6を参照してください。

図 5-6. [シナリオ比較] ページ、[資産クラス別予算] タブ



各シナリオのグラフは、期間ごとに棒が隣接した (各資産クラスにつき1本ずつ) 棒グラフで構成されています。これらの棒で、各シナリオについて、さまざまな資産クラス ([情報]、[インフラストラクチャ]、[トランザクション]) 間の予算配布を比較できます。

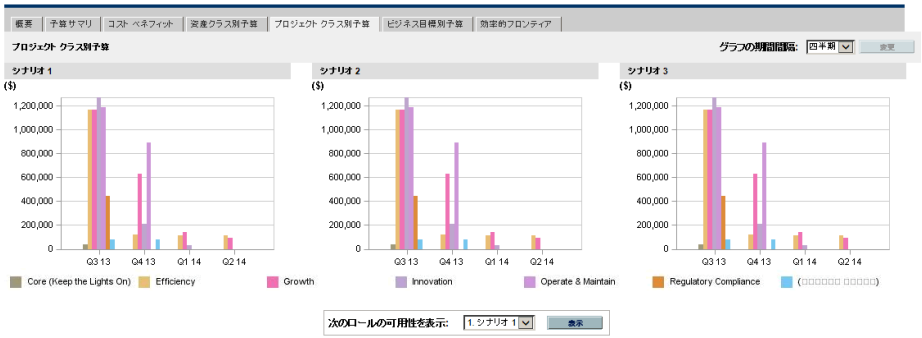
コスト (予算) 計算については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87ページ) を参照してください。

[**効率的フロンティア**] タブ以外のすべてのタブでグラフの横軸に使用される間隔を変更するには、[**グラフの期間間隔**] フィールドで新しい値を選択し、[**変更**] をクリックします (94ページの図 5-3を参照)。

[プロジェクトクラス別予算] タブ

[シナリオ比較] ページの [**プロジェクトクラス別予算**] タブには、各シナリオの期間ごとの予算をプロジェクトクラス別に比較するグラフが表示されます。図 5-7 を参照してください。

図 5-7. [シナリオ比較] ページ、[プロジェクトクラス別予算] タブ



各シナリオのグラフは、期間ごとに棒が隣接した (各プロジェクトクラスにつき 1 本ずつ) 棒グラフで構成されています。これらの棒で、各シナリオについて、さまざまなプロジェクトクラス ([コア (既存資産の維持)]、[効率性]、[成長]、[イノベーション]) 間の予算配布を比較できます。

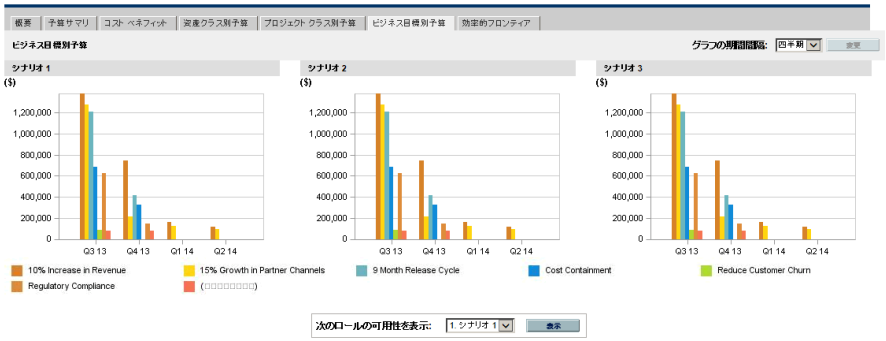
コスト (予算) 計算については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87 ページ) を参照してください。

[**効率的フロンティア**] タブ以外のすべてのタブでグラフの横軸に使用される間隔を変更するには、[**グラフの期間間隔**] フィールドで新しい値を選択し、[**変更**] をクリックします (94 ページの図 5-3 を参照)。

[ビジネス目標別予算] タブ

[シナリオ比較] ページの [**ビジネス目標別予算**] タブには、各シナリオの期間ごとの予算をビジネス目標別に比較するグラフが表示されます。図 5-8を参照してください。

図 5-8. [シナリオ比較] ページ、[ビジネス目標別予算] タブ



各シナリオのグラフは、期間ごとに棒が隣接した (各ビジネス目標につき1本ずつ) 棒グラフで構成されています。これらの棒で、各シナリオについて、さまざまなビジネス目標間の予算配布を比較できます。

コスト (予算) 計算については、「[シナリオ比較] ページの概要」(87ページ) を参照してください。

[**効率的フロンティア**] タブ以外のすべてのタブでグラフの横軸に使用される間隔を変更するには、[**グラフの期間間隔**] フィールドで新しい値を選択し、[**変更**] をクリックします (94ページの図 5-3を参照)。

[効率的フロンティア] タブ

[シナリオ比較] ページの [**効率的フロンティア**] タブでは、本項で説明する効率的フロンティアグラフを表示できます。[**効率的フロンティア**] タブの [**効率的フロンティアの生成**] をクリックし、適用する制限およびパフォーマンス目標 (最大NPVなど) を指定すると、HP Portfolio Managementによって最適化プログラム (オプティマイザ) が呼び出されます。シナリオ比較のすべてのライフサイクルエンティティのさまざまなサブセットの使用を反映した広範な計算の実行により、オプティマイザは効率的フロンティア曲線を生成します。

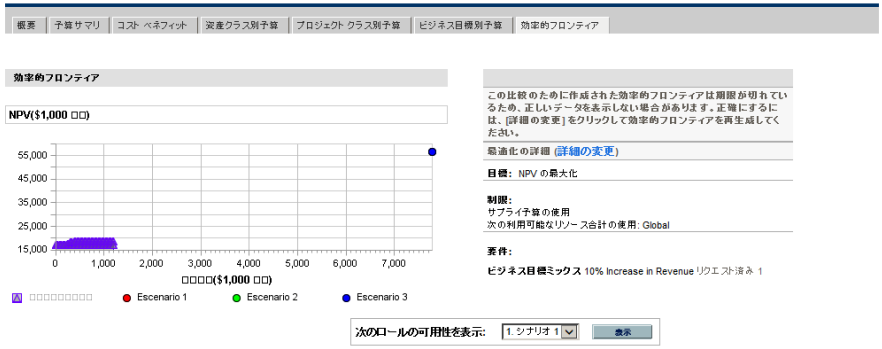
効率的フロンティアグラフの詳細については、「効率的フロンティアグラフについて」を参照してください。必要なパラメータの指定とグラフの生成については、「効率的フロンティアグラフの作成」(102ページ) を参照してください。

効率的フロンティアグラフについて

図 5-9の例に示すように、効率フロンティアグラフの横軸は予算で、縦軸は最大化することにした次のパフォーマンス目標のうちのいずれかになります。

- **[NPV]:** [NPV] は、オプティマイザによって選択されたライフサイクルエンティティの正味現在価値です。NPV の定義については、「正味現在価値 (NPV)」(148ページ) を参照してください。
- **[合計スコア]:** [合計スコア] は、オプティマイザによって選択されたライフサイクルエンティティの集団的な合計スコアです。ライフサイクルエンティティの合計スコアの計算方法については、「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) を参照してください。
- **[価値]:** [価値] は、オプティマイザによって選択されたライフサイクルエンティティの集団的な価値の評価です。ライフサイクルエンティティの価値の評価の計算方法については、「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) を参照してください。

図 5-9. [シナリオ比較] ページ、[効率的フロンティア] タブ



オプティマイザによって計算される曲線は、効率的フロンティア、つまり指定した制限や要件のセット (後述) 内で、さまざまな予算レベルにおいてこのシナリオ比較のすべてのライフサイクルエンティティを最適な組み合わせ (サブセット) で使用した場合に、選択した目標に対して達成できる最高のパフォーマンスとなります。制限や要件が少ないほど、曲線は高くなります (つまり、パフォーマンスが向上します)。

効率的フロンティアを生成するには、シナリオ比較に、その基本情報 (上部セクション) で指定されたサプライ予算がある必要があります。

シナリオ比較の3つのシナリオを表示すると、グラフに3つの固有のデータポイントが表示されます。シナリオのデータポイントの予算レベル (横軸上の位置) は、そのシナリオのすべてのライフサイクルエンティティのコストの合計になります。

これらのシナリオのデータポイントは、一般的に効率的フロンティア曲線より下にきます。オプティマイザによる効率的フロンティアの生成で制限をまったく加えなかった場合、このシナリオ比較内のライフサイクルエンティティの特定の組み合わせを指定するシナリオの実際のパフォーマンスは、曲線上になるか曲線より下になります。

シナリオのデータポイントは、次の理由のいずれかで曲線より上にくることがあります。

- 効率的フロンティアパラメータで指定した制限 (「効率的フロンティアグラフの作成」の手順で説明) がシナリオの制限よりも厳しいため、効率的フロンティアではサプライ予算レベルで目標を達成することがシナリオに比べて難しくなった。
- シナリオが変更されてシナリオのパフォーマンスが改善されたため、効率的フロンティア曲線が再生成されていない。

シナリオ比較内の任意のシナリオに対してオプティマイザを呼び出し、パフォーマンス目標達成のために使用する、シナリオ比較内のすべてのライフサイクルエンティティの最高のサブセットを決定できます。「シナリオの最適化の実行」(126 ページ) を参照してください (シナリオ最適化を実行しても、効率的フロンティア曲線は生成されません)。シナリオの最適化と効率的フロンティアの生成の両方に同じ制限のセットを使用すると、そのシナリオのデータポイントは効率的フロンティア曲線上になります。

[**効率的フロンティア**] タブの右側には、曲線が最後に生成されたとき (「効率的フロンティアグラフの作成」を参照) に1つ目の [効率的フロンティア] ウィンドウで指定された、目標、予算とリソースの制限、その他の要件が表示されます。

効率的フロンティアグラフの作成

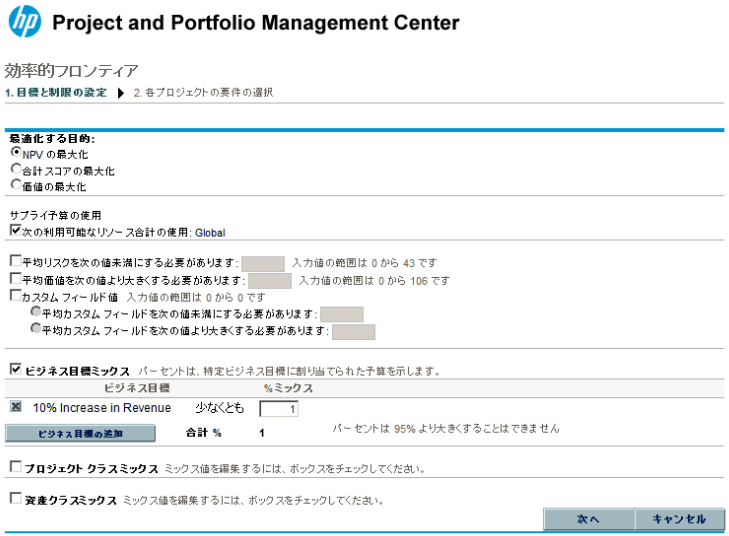
効率的フロンティアグラフの制限を指定してグラフを生成するには、次の手順を実行します。

1. 効率的フロンティアグラフを生成するシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。
2. [**効率的フロンティア**] タブをクリックします。
3. [**サプライ予算の追加**] (サプライ予算が以前に指定されていない場合) または [**サプライ予算の編集**] (サプライ予算が以前に指定されている場合) をクリックして、シナリオ比較のサプライ予算を指定します。

4. このシナリオ比較に対して効率的フロンティアグラフを生成したことがない場合、[**効率的フロンティア**] タブの [**効率的フロンティアの生成**] をクリックします。

   効率フロンティアグラフを以前に生成した場合は、[**効率的フロンティア**] タブの [**詳細の変更**] リンクをクリックします。

   1つ目の [効率的フロンティア] ウィンドウ (2つある) が開きます。



   a. パフォーマンス目標として最大化するオプション ([NPV]、[合計スコア]、[価値]) を指定します。詳細については、「効率的フロンティアグラフについて」(100ページ) を参照してください。

   b. 制限の一部として、指定されたリソースプール (存在する場合) を使用するかどうかのオプションを指定します。

   c. (オプション) オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して許可する最大平均の [**リスクの評価**] を指定するには、[**平均リスクを次の値未満にする必要があります:**] チェックボックスを選択してから、表示された範囲内でそのフィールドに値を指定します ([**リスクの評価**] の定義については、「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) を参照してください)。

d. (オプション) オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して許可する最小平均の [**価値の評価**] を指定するには、[**平均価値を次の値より大きくする必要があります:**] チェックボックスを選択してから、表示された範囲内でそのフィールドに値を指定します ([**価値の評価**] の定義については、「価値とリスクの評価の決定」(77ページ)」を参照してください)。

e. (オプション) オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して最大平均の [**カスタムフィールド**] 値を指定するには、[**カスタムフィールド値**] チェックボックスを選択してから [**平均カスタムフィールドを次の値未満にする必要があります:**] オプションを選択し、表示された範囲内で値を指定します。

   オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して最小平均の [**カスタムフィールド**] 値を指定するには、[**カスタムフィールド値**] チェックボックスを選択してから [**平均カスタムフィールドを次の値より大きくする必要があります:**] オプションを選択し、表示された範囲内で値を指定します。

f. (オプション) さまざまなビジネス目標に割り当てる予算の最小パーセントを指定するには、次の手順を実行します。

   i. [**ビジネス目標ミックス**] チェックボックスを選択します。

   ii. 表示される [**ビジネス目標**] リストからビジネス目標を選択し、[**%ミックス**] フィールドに最小予算パーセントを指定します。リスト内のほかのビジネス目標のパーセント (存在する場合) を指定するには、[**ビジネス目標の追加**] をクリックしてこの手順を繰り返します。

      すべてのビジネス目標に最小パーセントを指定する必要はありません。特定のビジネス目標のパーセントを指定したかどうかに関わらず、オプティマイザは、ライフサイクルエンティティがほかのすべての制限を満たしていれば、そのビジネス目標を使用するライフサイクルエンティティを選択できます。

      指定するビジネス目標のパーセントの合計は、95% 以下である必要があります。

g. (オプション) さまざまなプロジェクトクラスに割り当てる予算の最小パーセントを指定するには、次の手順を実行します。

   i. [**プロジェクトクラスミックス**] チェックボックスを選択します。

ii. 表示される [**プロジェクトクラス**] リストからプロジェクトクラスを選択し、[**% ミックス**] フィールドに最小予算パーセントを指定します。リスト内のほかのプロジェクトクラスのパーセント (存在する場合) を指定するには、[**プロジェクトクラスの追加**] をクリックしてこの手順を繰り返します。

すべてのプロジェクトクラスに最小パーセントを指定する必要はありません。特定のプロジェクトクラスのパーセントを指定したかどうかに関わらず、オプティマイザは、ライフサイクルエンティティがほかのすべての制限を満たしていれば、そのプロジェクトクラスを使用するライフサイクルエンティティを選択できます。

指定するプロジェクトクラスのパーセントの合計は、95% 以下である必要があります。

h. (オプション) さまざまな資産クラスに割り当てる予算の最小パーセントを指定するには、次の手順を実行します。

i. [**資産クラスミックス**] チェックボックスを選択します。

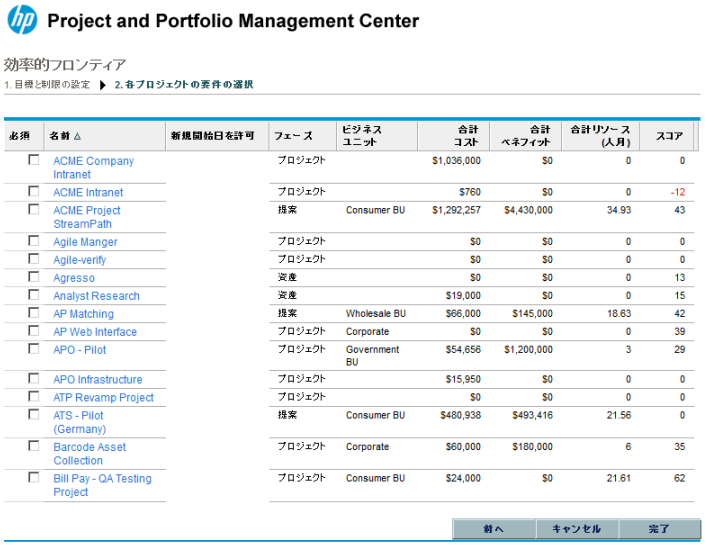
ii. 表示される [**資産クラス**] リストから資産クラスを選択し、[**% ミックス**] フィールドに最小予算パーセントを指定します。リスト内のほかの資産クラスのパーセント (存在する場合) を指定するには、[**資産クラスの追加**] をクリックしてこの手順を繰り返します。

すべての資産クラスに最小パーセントを指定する必要はありません。特定の資産クラスのパーセントを指定したかどうかに関わらず、オプティマイザは、ライフサイクルエンティティがほかのすべての制限を満たしていれば、その資産クラスを使用するライフサイクルエンティティを選択できます。

指定する資産クラスのパーセントの合計は、95% 以下である必要があります。

i. [**次へ**] をクリックします。

2 つ目の [効率的フロンティア] ウィンドウ (2 つある) が表示され、このシナリオ比較のすべてのライフサイクルエンティティがリストされます。



Project and Portfolio Management Center

効率的フロンティア

1. 目標と制限の設定 ▶ 2. 各プロジェクトの要件の選択

必須	名前 △	新規開始日を許可	フェーズ	ビジネスユニット	合計コスト	合計ベネフィット	合計リソース (人月)	スコア
☐	ACME Company Intranet		プロジェクト		$1,036,000	$0	0	0
☐	ACME Intranet		プロジェクト		$760	$0	0	-12
☐	ACME Project StreamPath		提案	Consumer BU	$1,292,257	$4,430,000	34.93	43
☐	Agile Manger		プロジェクト		$0	$0	0	0
☐	Agile-verify		プロジェクト		$0	$0	0	0
☐	Agresso		資産		$0	$0	0	13
☐	Analyst Research		資産		$19,000	$0	0	15
☐	AP Matching		提案	Wholesale BU	$66,000	$145,000	18.63	42
☐	AP Web Interface		プロジェクト	Corporate	$0	$0	0	39
☐	APO - Pilot		プロジェクト	Government BU	$54,656	$1,200,000	3	29
☐	APO Infrastructure		プロジェクト		$15,950	$0	0	0
☐	ATP Revamp Project		プロジェクト		$0	$0	0	0
☐	ATS - Pilot (Germany)		提案	Consumer BU	$480,938	$493,416	21.56	0
☐	Barcode Asset Collection		プロジェクト	Corporate	$60,000	$180,000	6	35
☐	Bill Pay - QA Testing Project		プロジェクト	Consumer BU	$24,000	$0	21.61	62

前へ　キャンセル　完了

j. [**必須**] 列のチェックボックスを使用して、効率的フロンティアに含める必要があるライフサイクルエンティティを指定します (これらのライフサイクルエンティティを含めることがパフォーマンス目標の最大化に効果があるかどうかに関わらず)。

[**必須**] 列での選択に関わらず、シナリオ比較でリストされたいずれかのライフサイクルエンティティがリストされているほかのライフサイクルエンティティとの依存関係を指定している場合、オプティマイザはそれらの依存関係に従った選択を行います。つまり、オプティマイザは、リスト内のライフサイクルエンティティ間の依存関係違反を防止します。ただし、オプティマイザは、リスト外のライフサイクルエンティティとシナリオ比較リスト内のライフサイクルエンティティの依存関係は考慮しません。

k. [**新規開始日を許可**] 列内のチェックボックスを使用して、まだ開始されていない提案とプロジェクトの中で、オプティマイザに開始の遅延を許可することで、選択目標に対するパフォーマンスの向上につながるものを指定します。オプティマイザは、常に遅延を1か月単位で最高6か月まで考慮します。

提案またはプロジェクトの計画開始日が過去の場合、その提案またはプロジェクトには、開始日を遅らせるオプションはありません。資産にこのオプションはありません。

効率的フロンティアの生成の結果は、開始日の遅延を許可したライフサイクルエンティティのうちどれが実際に遅延されるか、またはどれだけ遅延されるかを示しません。

l. [**完了**] をクリックします。

オプティマイザは、指定した制限に基づいて効率的フロンティア曲線を計算します。

このプログラムは、評価するデータの量に応じて実行に時間がかかる場合があります。進行状況バーが表示されます。

m. 計算が完了すると、[**シナリオ比較の表示**] ボタンが表示されます。

どのライフサイクルエンティティを組み合わせても指定された制限のセットを満たすことができない場合、オプティマイザは実現可能なソリューションを見つけることができません。この場合は、より緩い制限を指定して、もう一度最適化を実行します。

n. [**シナリオ比較の表示**] をクリックします。

シナリオ比較が再び表示されます。

o. [**効率的フロンティア**] タブをクリックして、効率的フロンティアグラフを表示します。

シナリオ比較の表示と変更

シナリオ比較と個々のシナリオを表示および変更するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 指定した基準でフィルタしたシナリオ比較をリストおよび表示する。
- シナリオ比較の基本情報を変更する。
- シナリオ比較のコンテンツを変更する。
- シナリオ比較を削除する。
- シナリオ比較をコピーする。
- 個々のシナリオを変更する。
- シナリオの最適化を実行する。
- シナリオ比較のセキュリティを設定する。

シナリオ比較のリストと表示

シナリオ比較を表示および編集するためのアクセス権については、「シナリオ比較のアクセス権の設定」(139 ページ) を参照してください。

シナリオ比較のリストを表示させてから選択するのではなく、最後に表示したシナリオ比較を表示させるには、次の手順を実行します。

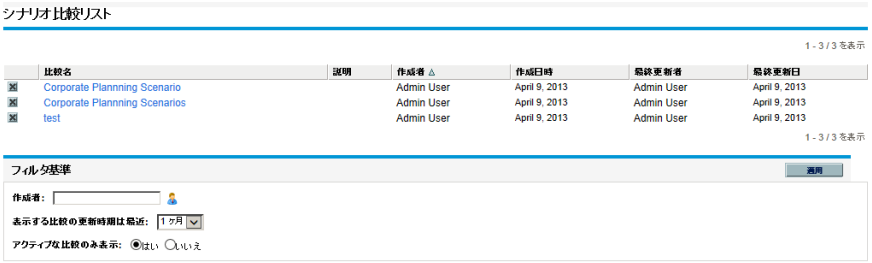
1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから [**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**シナリオ比較**] > [**最後のシナリオ比較の表示**] を選択します。

   110 ページの図 5-10 の例に示すような、[シナリオ比較] ページが表示されます。

アクセスできるシナリオ比較をリストし、特定のものを表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[**検索**] > [**シナリオ比較**] を選択します。

   [シナリオ比較リスト] ページが表示されます。



3. (オプション) 次の表で説明するように、[**フィルタ基準**] セクションのパラメータを使用して、シナリオ比較リストをフィルタします。

フィールド名	説明
作成者	特定のユーザによって作成されたシナリオ比較のみ表示します。
表示する比較の更新時期は最近	リストで選択された期間内に更新されたシナリオ比較のみ表示します。
アクティブな比較のみ表示	[**はい**] を選択すると、アクティブなシナリオ比較のみ表示します。 [**いいえ**] を選択すると、すべてのシナリオ比較を表示します。

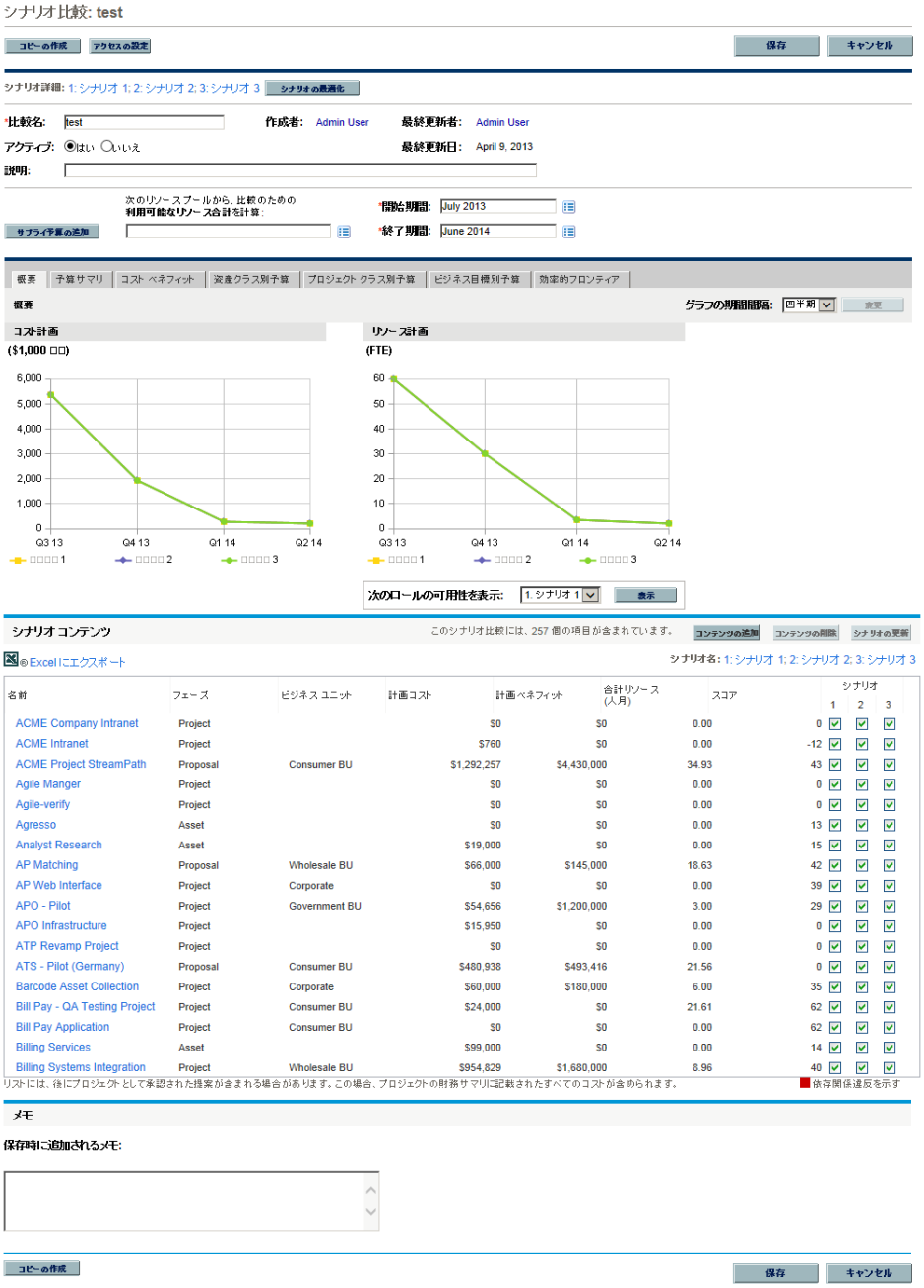
4. [シナリオ比較リスト] ページにフィルタを適用して再読み込みするには、[**適用**] をクリックします。

5. リスト内の特定のシナリオ比較を表示するには、[比較名] 列でその名前をクリックします。

   図 5-10の例に示すような、[シナリオ比較] ページが表示されます。

   [**名目収益**] (「合計名目収益」(147ページ) で定義)、[**正味現在価値**] (「正味現在価値 (NPV)」(148ページ) で定義)、および [**カスタムフィールド値**] (各ライフサイクルエンティティのランク付けに使用されるカスタム財務メトリック) の各列は、対応するパラメータが管理者によって表示が有効に設定されている場合にのみ、[**シナリオコンテンツ**] セクションに表示されます。この例では、[**名目収益**] は有効になっておらず、[**正味現在価値**] と [**カスタムフィールド値**] は有効になっています。

図 5-10. [シナリオ比較] ページ



シナリオ比較の基本情報の変更

[シナリオ比較] ページの基本情報 (上部セクション) には、シナリオ比較全体に関連するパラメータを記述または指定するフィールドが含まれています。これらのフィールドの一部は、シナリオ比較を初めて作成したときには使用できません。110ページの図 5-10を参照してください。

これらのフィールドを変更するには、次の手順を実行します。

1. 変更する基本情報フィールドを持つシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。
2. 次の表を使用して、必要に応じてこれらのフィールドを変更します。

フィールド名 (*必須)	説明
シナリオ詳細	シナリオ比較の各シナリオの [シナリオ詳細] ページを開くリンクのセット。
*比較名	シナリオ比較の名前。
作成者	(読み取り専用) シナリオ比較を作成したユーザ。
最終更新者	(読み取り専用) シナリオ比較を最後に更新したユーザ。
アクティブ	シナリオ比較をアクティブにするかどうかを指定するオプション。シナリオ比較を非アクティブにすると、その情報は保持されますが、[シナリオ比較リスト] ページの [**フィルタ基準**] セクションの [**アクティブな比較のみ表示**] フィールドが [**いいえ**] に設定されている場合にのみ、[シナリオ比較リスト] に表示されます。
最終更新日	(読み取り専用) シナリオ比較が最後に更新された日付。
説明	シナリオ比較の説明。

フィールド名 (*必須)	説明
[サプライ予算の追加] ボタン、またはサプライ予算の追加後は [サプライ予算の編集] ボタン	クリックしてシナリオ比較に使用するサプライ予算を指定します。 [サプライ予算] ウィンドウが開きます。[**会計年**] フィールドで、シナリオ比較が対象とする年度の範囲から年度を選択します。 **ヒント:** セル内のデータを、同じ行で隣接した範囲のセルにコピーするには、コピーするデータが入ったセルをクリックし、[**Shift**] キーを押しながらコピー範囲の最終セルをクリックします。 サプライ予算が、シナリオ比較の [**概要**] タブの [コスト計画] グラフの [合計予算] 折れ線として表示されます。
次のリソースプールから、比較のための利用可能なリソース合計を計算	リソースプールのセットで、これに対して合計リソースが集計され、シナリオ比較の [**概要**] タブの [リソース計画] グラフの [利用可能なリソース合計] 折れ線として表示されます。 これらのリソースプールは、シナリオ内のライフサイクルエンティティに添付されているスタッフィングプロファイルのセットで表されるリソースデマンドに関連付ける必要はありません。
*開始期間	シナリオ比較の開始期間。
*終了期間	シナリオ比較の終了期間。

3. [**保存**] をクリックします。

シナリオ比較内のシナリオコンテンツの変更

[シナリオ比較] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションは、シナリオ**比較**と**個々のシナリオ**のコンテンツをリストし、制御します。次の各項で説明するように、これらのコンテンツは変更できます。

シナリオで使用するシナリオ比較内のライフサイクルエンティティの選択

[シナリオ比較] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションには、現在シナリオ比較に含まれているすべてのライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、資産) がリストされます。シナリオ比較内の個々のシナリオのコンテンツは、シナリオ番号 [**1**]、[**2**]、[**3**] の下にあるチェックボックスによって制御されます。110ページの図 5-10を参照してください。

デフォルトでは、シナリオ比較の各シナリオは、選択されているライフサイクルエンティティのセットが同じであれば同一です。ただし、シナリオ内の任意のライフサイクルエンティティの開始日を変更できるため (「シナリオ内のライフサイクルエンティティの開始日の調整」(121ページ) を参照)、そのシナリオを同じエンティティを持つほかのシナリオと区別できます。この違いは [シナリオ比較] ページでは識別できません。

すでにシナリオ比較に含まれているライフサイクルエンティティを使用して特定のシナリオのコンテンツを変更するには、次の手順を実行します。

1. 変更するシナリオが含まれているシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。
2. [**シナリオコンテンツ**] セクションまで下にスクロールします。
3. シナリオ [1]、[2]、[3] の列で、シナリオに含める、または除外するライフサイクルエンティティのチェックボックスを選択または選択解除します。

ライフサイクルエンティティ A と B が [**シナリオ比較**] リストにあり、ライフサイクルエンティティ B がライフサイクルエンティティ A に依存するものとして定義されていて、ライフサイクルエンティティ B のチェックボックスを選択解除せずにライフサイクルエンティティ A のチェックボックスを選択解除した場合 (つまり、このシナリオ内に依存関係違反を作成した場合)、両方のライフサイクルエンティティのチェックボックスが赤で強調表示されます。

4. 次のいずれかを行います。

   - [**保存**] をクリックすると、グラフの上の基本情報フィールド ([**比較名**]、[**説明**] など) を変更した場合はその内容も含めて、シナリオ比較の変更内容がすべて保存されます。

   - [**シナリオコンテンツ**] セクションの上部にある [**シナリオの更新**] をクリックすると、シナリオ内のコンテンツ選択の変更内容のみが保存されます。このボタンでは、グラフの上の基本情報フィールドに加えた変更は保存されません。

   [**シナリオコンテンツ**] セクションの上あるすべてのタブのグラフが、各シナリオのコンテンツの選択に加えた変更に基づいて更新されます。

ライフサイクルエンティティのシナリオ比較およびそのシナリオへの追加

[シナリオ比較] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションには、現在シナリオ比較に含まれているすべてのライフサイクルエンティティがリストされます。ライフサイクルエンティティを [**シナリオコンテンツ**] セクションに追加するには、次の手順を実行します。

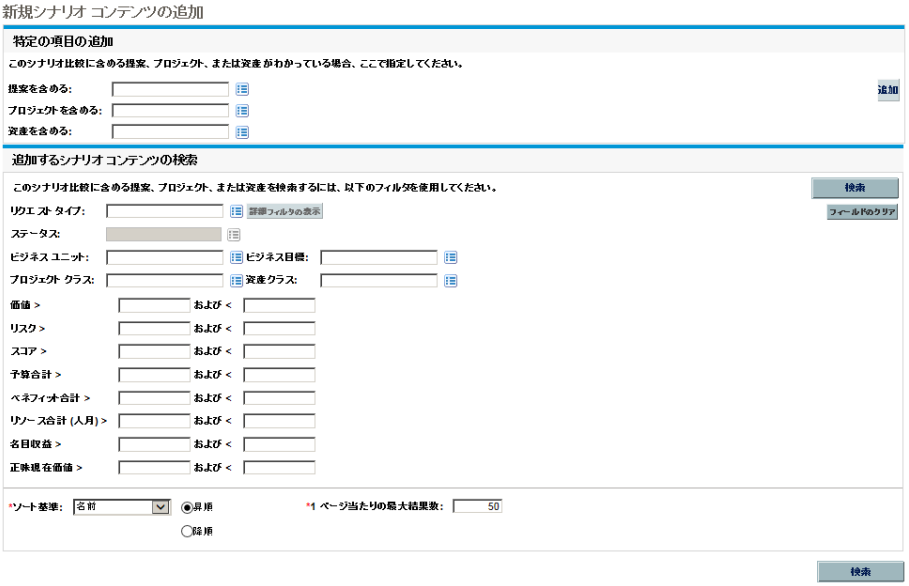
1. 変更するシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照してください。

2. [**シナリオコンテンツ**] セクションの右上にある [**コンテンツの追加**] をクリックします。

   次の2つのセクションを持つ [新規シナリオコンテンツの追加] ウィンドウが開きます。

   - [**特定の項目の追加**] セクション: 115 ページの手順 3 で説明するように、オートコンプリートを使用して特定の提案、プロジェクト、資産をシナリオ比較に追加します。

   - [**追加するシナリオコンテンツの検索**] セクション: 116 ページの手順 4 で説明するように、シナリオ比較に追加する可能性があるエンティティを検索するためのフィルタがあります。



3. 特定の提案、プロジェクト、資産を名前別にシナリオ比較に追加するには、次の手順を実行します。

   a. シナリオ比較の [**特定の項目の追加**] セクションで、[**提案を含める**]、[**プロジェクトを含める**]、[**資産を含める**] の各フィールドのオートコンプリートを使用して、追加するライフサイクルエンティティを選択します。

   b. [**追加**] をクリックします。

      シナリオ比較内にまだ存在していない選択したエンティティが、シナリオ比較の [**シナリオコンテンツ**] セクションに追加されます。

   c. [**保存**] をクリックして、シナリオ比較に対する変更を保存します。

   特定のフィルタ基準に一致するエンティティを検索する必要がある場合、手順 4に進みます。それ以外の場合、117ページの手順 5に進みます。

4. 特定のフィルタ基準に一致するエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

   a. 必要に応じてシナリオ比較の [**追加するシナリオコンテンツの検索**] セクションのフィールドに入力します。

      [**リクエストタイプ**] フィールドのオートコンプリートを使用して1つ以上のリクエストタイプを選択すると、[**詳細フィルタの表示**] ボタンが有効になります。詳細フィルタの使用については、手順 bを参照してください。

      [**リクエストタイプ**] フィールドのオートコンプリートを使用して1つのリクエストタイプを選択すると、[**ステータス**] フィールドのオートコンプリートが有効になります。

      価値 ([**価値の評価**])、リスク ([**リスクの評価**])、スコア ([**合計スコア**]) の定義については、「価値とリスクの評価の決定」(77ページ) を参照してください。下限、上限、または両方を指定できます。

      予算、ベネフィット、またはリソースの「合計」に対して指定した上限または下限は、そのすべての期間にわたって各ライフサイクルエンティティの合計に適用されます。予算とリソースの合計は、「[シナリオ比較] ページの概要」(87ページ) の説明に従って計算されます。シナリオ比較の時間範囲は、これらのフィルタに影響を与えません。

      名目収益、正味現在価値、カスタムフィールド値の限度を指定するためのフィールドは、管理者が HP Portfolio Management でそれらを使用可能に設定した場合のみ使用できます。

   b. 詳細フィルタのセットは、リクエストタイプによって異なります。複数のリクエストタイプを選択して、[**詳細フィルタの表示**] をクリックすると、すべてのリクエストタイプに共通のフィールドのみ、[新規シナリオコンテンツの追加] ウィンドウの [**追加するシナリオコンテンツの検索**] セクションに詳細フィルタとして表示されます。

      詳細フィルタを使用するには、次の手順を実行します。

      i. [**リクエストタイプ**] フィールドに少なくとも1つのリクエストタイプを指定します。

      ii. [**詳細フィルタの表示**] をクリックします。

      iii. 目的の詳細フィルタを指定します。

c. [新規シナリオコンテンツの追加] ウィンドウの下部にある [**ソート基準**] フィールドに、ライフサイクルエンティティのリスト時に使用するソート順序、および表示の昇順、降順の選択を行います。[**1ページ当たりの最大結果数**] フィールドも指定します。

d. [新規シナリオコンテンツの追加] ウィンドウの [**追加するシナリオコンテンツの検索**] セクションで、[**検索**] をクリックします。

   [新規シナリオコンテンツの追加] ウィンドウの [**追加するシナリオコンテンツの選択**] セクションに、基準を満たし、まだシナリオコンテンツにないライフサイクルエンティティが追加されます。

e. 詳細フィルタを使用後、詳細フィルタを再度非表示にする場合、[**単純フィルタの表示**] をクリックします。

f. [**追加するシナリオコンテンツの選択**] セクションのエンティティのリストで、シナリオ比較に追加するエンティティの左側のチェックボックスを選択 (または [**すべてチェック**] をクリック) して、[**追加**] をクリックします。

   [新規シナリオコンテンツの追加] ウィンドウが閉じ、選択したライフサイクルエンティティがシナリオ比較の [**シナリオコンテンツ**] セクションに追加されます。

g. [**保存**] をクリックして、シナリオ比較の変更を保存します。

5. 追加されるライフサイクルエンティティに関して比較するシナリオを区別するには、必要に応じてシナリオの列のチェックボックスを選択解除します。

6. シナリオ比較が目的どおりに指定されたら、[**保存**] をクリックします。

シナリオ比較からのライフサイクルエンティティの削除

シナリオ比較およびそのシナリオすべてからライフサイクルエンティティを削除するには、次の手順を実行します。

1. 削除するライフサイクルエンティティを含むシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。

   [シナリオ比較] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションには、現在シナリオ比較で利用できるすべてのライフサイクルエンティティがリストされます。

2. シナリオ比較から削除するライフサイクルエンティティを、[**名前**] 列のリンクをクリックせずに選択します。[**Ctrl**] キーを押しながらクリックするか、[**Shift**] キーを押しながらクリックすると、複数のライフサイクルエンティティ (行) を選択できます。選択したライフサイクルエンティティが色付きで強調表示されます。

3. [**シナリオコンテンツ**] セクションの上部にある [**コンテンツの削除**] をクリックします。

[**シナリオ比較**] リストにあるライフサイクルエンティティとリストから削除するライフサイクルエンティティ間で依存関係違反が発生しても、それを知らせる表示はありません。

シナリオ比較へのメモの追加

メモを [シナリオ比較] ページの下部にある [**メモ**] セクションのシナリオ比較に追加するには、次の手順を実行します。

1. メモを追加する対象のシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照してください。

2. [**メモ**] セクションまで下にスクロールします。

3. 必要なテキストを入力します。

4. [**保存**] をクリックします。

シナリオ比較の削除

シナリオ比較を削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。

2. メニューバーから [**開く**] > [**Portfolio Management**] > [**シナリオ比較**] > [**シナリオ比較のリスト**] を選択します。

3. 削除するシナリオ比較の左側にある [**削除**] アイコンをクリックします。

   質問ダイアログボックスが開きます。

4. [**OK**] をクリックします。

シナリオ比較のコピー

シナリオ比較をコピーするには、次の手順を実行します。

1. コピーするシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。

2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**コピーの作成**] をクリックします。

   コピーの名前を変更して内容を更新できるように、シナリオ比較のコピーが「コピー(1)～**<シナリオ比較の名前>**」という名前で作成され、その [シナリオ比較] ページが開きます。

   元の比較に含まれていたシナリオに対してシナリオの最適化を実行した場合、そのシナリオのコピーに対して選択したライフサイクルエンティティのデフォルトのセット(シナリオの列のチェックボックスで示される)が、オプティマイザが選択するセットとなります。ただし、そのコピー内で、必要に応じてシナリオのライフサイクルエンティティを選択および選択解除できます。

個々のシナリオの変更

[シナリオ比較] ページからは、[シナリオ詳細] ページで個々のシナリオの詳細を表示し、次の操作を実行できます。

- シナリオに対してライフサイクルエンティティを追加または削除する
- シナリオの名前を変更する。
- 実際の開始日が指定されていない場合、ライフサイクルエンティティの計画開始日を特定のシナリオに対して指定されているように調整する。
- 特定のライフサイクルエンティティの詳細を表示する。
- シナリオのロールの可用性と要件を表示する。

シナリオに対するシナリオ比較内のライフサイクルエンティティの追加または削除

ライフサイクルエンティティがすでにシナリオ比較内にある場合に特定のシナリオに対してライフサイクルエンティティを追加または削除する方法については、「シナリオで使用するシナリオ比較内のライフサイクルエンティティの選択」(113ページ) を参照してください。

シナリオの名前の変更

シナリオ比較内のシナリオの名前を変更するには、次の手順を実行します。

1. 名前を変更するシナリオが含まれているシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。
2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**シナリオ詳細**] フィールド (または [**シナリオコンテンツ**] テーブルの上部付近にある [**シナリオ名**] フィールド) で、目的のシナリオのリンクをクリックします。

   そのシナリオの [シナリオ詳細] ページが開き、[**タイムライン**] タブが選択された状態になっています。

   [**タイムライン**] タブ内のライフサイクルエンティティの順序を変更するには、[**表示順**] フィールドから別のオプションを選択し、[**適用**] をクリックします。[**タイムライン**] タブで、提案のみなどの情報のサブセットを表示するには、[**表示**] フィールドから別のオプションを選択して [**適用**] をクリックします。

3. [**シナリオ名**] フィールドに新しいシナリオ名を入力します。
4. [**保存**] をクリックします。

   シナリオのデータが保存され、[シナリオ比較] ページが再度読み込まれます。

5. [**完了**] をクリックします。

シナリオ内のライフサイクルエンティティの開始日の調整

[シナリオ詳細] ページの [**タイムライン**] タブでは、実際の開始日が指定されていない場合、ライフサイクルエンティティの計画開始日をこの特定のシナリオに対して指定されているように変更できます。

[タイムライン] タブでライフサイクルエンティティの計画開始日を変更すると、変更はシナリオに反映されます。ただし変更内容を恒久的にするには、ライフサイクルエンティティ自身を開いてその日付を変更する必要があります。

たとえば、ポートフォリオマネージャが、[**タイムライン**] タブで「Expand to Europe」提案の開始日を変更して、いくつかのスケジュールの競合を調整するとします。マネージャはその提案の適合性を好んでおり、提案を開いて、[**予定されている開始日**] をシナリオに合うように変更します。

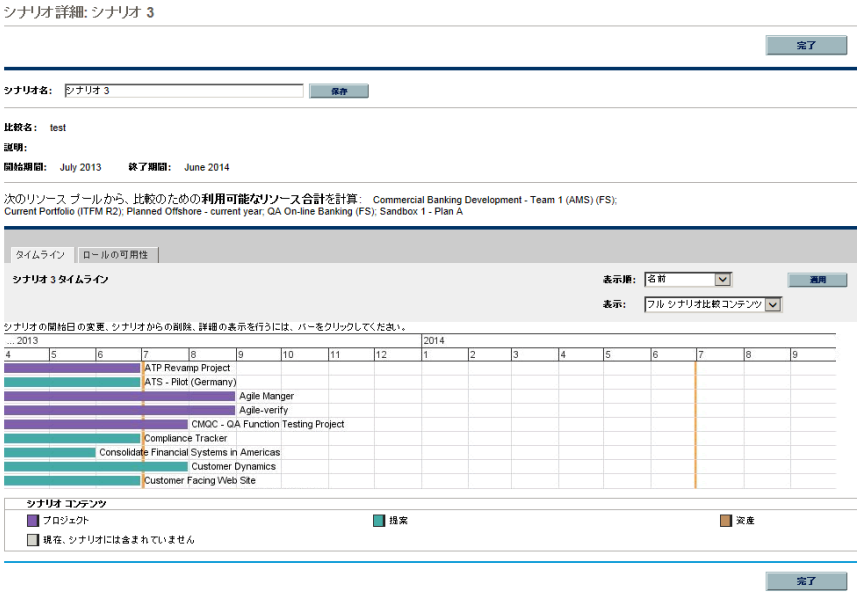
ライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、資産) の日付がライフサイクルエンティティ自身の中で変更されると、ライフサイクルエンティティに関連付けられた予測コスト、財務ベネフィット、およびスタッフィングプロファイルもそれに合わせて自動的に更新されます。

特定のシナリオ内のライフサイクルエンティティの日付を変更するには、次の手順を実行します。

1. 変更するシナリオを含むシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照してください。

2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**シナリオ詳細**] フィールド (または [**シナリオコンテンツ**] テーブルの上部付近にある [**シナリオ名**] フィールド) で、目的のシナリオのリンクをクリックします。

   そのシナリオの [シナリオ詳細] ページが開き、[**タイムライン**] タブが選択された状態になっています。



3. [**タイムライン**] タブでライフサイクルエンティティ (横棒) をマウスでポイントすると、ポップアップが表示され、エンティティの名前、合計予算、合計ベネフィット、および合計リソースが示されます。変更するライフサイクルエンティティをクリックします。

   [**<ライフサイクルエンティティ>の開始日**] 読み取り専用フィールド、[**シナリオの開始日**] フィールド、および [**<ライフサイクルエンティティ>の削除**] ボタンと [**<ライフサイクルエンティティ>の詳細の表示**] ボタンがあるウィンドウが開きます。ここで、**<ライフサイクルエンティティ>**は、「**提案**」、「**プロジェクト**」、または「**資産**」です。

4. [**シナリオの開始日**] に、ライフサイクルエンティティの新しいシナリオの開始日を入力します。これは、**このシナリオの**このライフサイクルエンティティの開始日となります。ほかのシナリオでは、このライフサイクルエンティティに別の開始日を指定できます。

5. [**変更**] をクリックします。

   シナリオのライフサイクルエンティティの開始日が更新されます。変更を恒久的にしたい場合は、ライフサイクルエンティティを開いて、ライフサイクルエンティティ自体の日付を変更する必要があります。

6. 必要に応じて、ほかのライフサイクルエンティティについて手順 3 ～手順 5を繰り返します。

7. [**完了**] をクリックします。

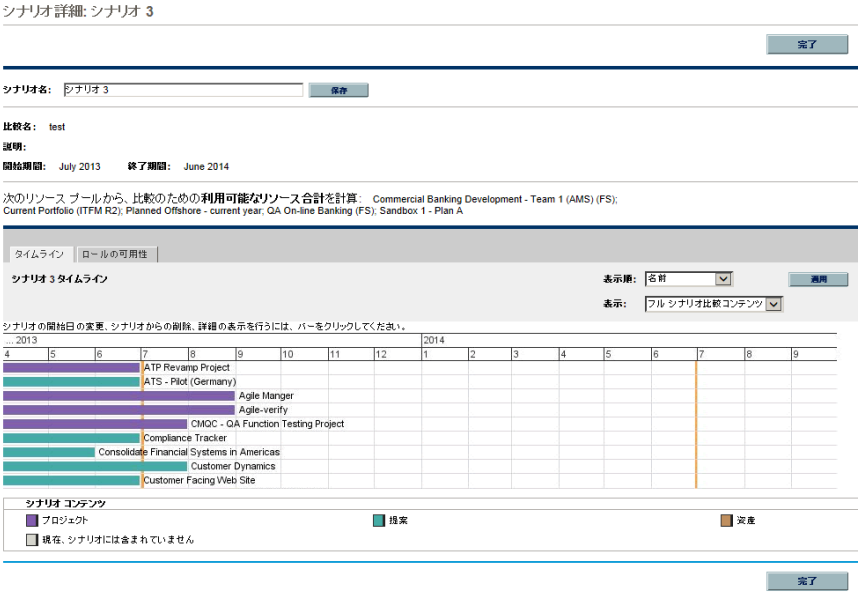
ライフサイクルエンティティの詳細の表示

特定のシナリオからライフサイクルエンティティの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. 変更するシナリオを含むシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。

2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**シナリオ詳細**] フィールド (または [**シナリオコンテンツ**] テーブルの上部付近にある [**シナリオ名**] フィールド) で、目的のシナリオのリンクをクリックします。

   そのシナリオの [シナリオ詳細] ページが開き、[**タイムライン**] タブが選択された状態になっています。



3. [**タイムライン**] タブでライフサイクルエンティティ (横棒) をマウスでポイントすると、ポップアップが表示され、エンティティの名前、合計予算、合計ベネフィット、および合計リソースが示されます。詳細を表示するライフサイクルエンティティをクリックします。

   [**<ライフサイクルエンティティ>の開始日**] 読み取り専用フィールド、[**シナリオの開始日**] フィールド、および [**<ライフサイクルエンティティ>の削除**] ボタンと [**<ライフサイクルエンティティ>の詳細の表示**] ボタンがあるウィンドウが開きます。ここで、**<ライフサイクルエンティティ>**は、「**提案**」、「**プロジェクト**」、または「**資産**」です。

4. [**<ライフサイクルエンティティ>の詳細の表示**] ボタンをクリックします。

   ライフサイクルエンティティの詳細が表示されます。

シナリオのロールの可用性と要件の表示

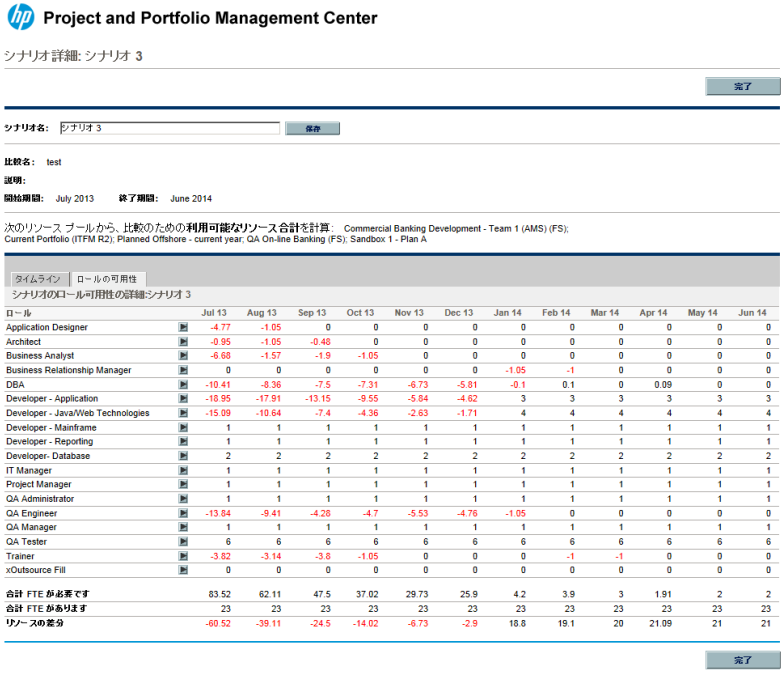
[シナリオ詳細] ページの [**ロールの可用性**] タブには、特定のシナリオに必要なすべてのロールのリストと、そのシナリオの期間全体で利用可能なリソース数が表示されます。図 5-11 を参照してください。

シナリオのロールの可用性情報を表示するには、[シナリオ比較] ページ (「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照) で、次のいずれかの操作を実行します。

- シナリオ比較で、[**次のロールの可用性を表示**] リストからシナリオを選択し、[**表示**] をクリックします。
- 特定のシナリオを開いて [**ロールの可用性**] タブをクリックします。

何らかのリソースが不足している場合、括弧で囲んで赤で示されます。

図 5-11. [シナリオ詳細] ページ、[ロールの可用性] タブ



Project and Portfolio Management Center

シナリオ詳細: シナリオ 3

完了

シナリオ名: シナリオ 3 保存

比較名: test

説明:

開始期間: July 2013 終了期間: June 2014

次のリソース プールから、比較のための利用可能なリソース合計を計算: Commercial Banking Development - Team 1 (AMS) (FS); Current Portfolio (ITFM R2); Planned Offshore - current year; QA On-line Banking (FS); Sandbox 1 - Plan A

タイムライン | ロールの可用性

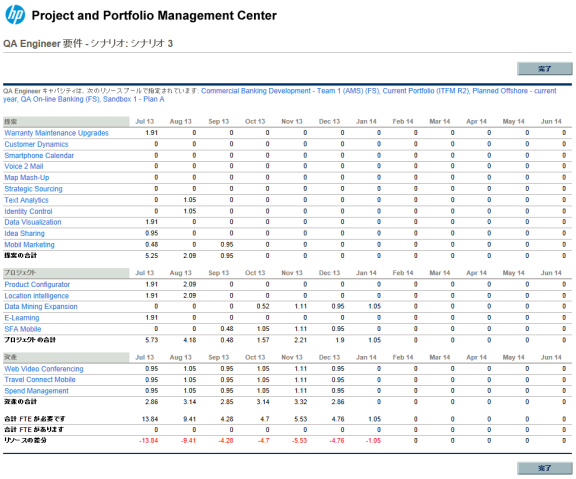
シナリオのロール可用性の詳細:シナリオ 3

ロール	Jul 13	Aug 13	Sep 13	Oct 13	Nov 13	Dec 13	Jan 14	Feb 14	Mar 14	Apr 14	May 14	Jun 14
Application Designer	-4.77	-1.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Architect	-0.95	-1.05	-0.48	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Business Analyst	-6.68	-1.57	-1.9	-1.05	0	0	0	0	0	0	0	0
Business Relationship Manager	0	0	0	0	0	0	-1.05	-1	0	0	0	0
DBA	-10.41	-8.36	-7.5	-7.31	-6.73	-5.81	-0.1	0.1	0	0.09	0	0
Developer - Application	-18.95	-17.91	-13.15	-9.55	-5.84	-4.62	3	3	3	3	3	3
Developer - Java/Web Technologies	-15.09	-10.64	-7.4	-4.36	-2.63	-1.71	4	4	4	4	4	4
Developer - Mainframe	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Developer - Reporting	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Developer- Database	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
IT Manager	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Project Manager	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
QA Administrator	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
QA Engineer	-13.84	-9.41	-4.28	-4.7	-5.53	-4.76	-1.05	0	0	0	0	0
QA Manager	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
QA Tester	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
Trainer	-3.82	-3.14	-3.8	-1.05	0	0	0	-1	-1	0	0	0
xOutsource Fill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 FTE が必要です	83.52	62.11	47.5	37.02	29.73	25.9	4.2	3.9	3	1.91	2	2
合計 FTE があります	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
リソースの差分	-60.52	-39.11	-24.5	-14.02	-6.73	-2.9	18.8	19.1	20	21.09	21	21

完了

任意のロール名の右側にある矢印をクリックすると、そのロールのドリルダウンページが表示され、そのロールの要件がある場所が提案、プロジェクト、および資産別にカテゴリ化して示されます。図 5-12を参照してください。

図 5-12. ロールの要件のドリルダウンページ



Project and Portfolio Management Center

QA Engineer 要件 - シナリオ: シナリオ 3

完了

QA Engineer キャパシティは、次のリソース プールで指定されています: Commercial Banking Development - Team 1 (AMS) (FS); Current Portfolio (ITFM R2); Planned Offshore - current year; QA On-line Banking (FS); Sandbox 1 - Plan A

提案	Jul 13	Aug 13	Sep 13	Oct 13	Nov 13	Dec 13	Jan 14	Feb 14	Mar 14	Apr 14	May 14	Jun 14
Warranty Maintenance Upgrades	1.91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Customer Dynamics	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Smartphone Calendar	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Voice 2 Mail	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Map Mash-Up	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Strategic Sourcing	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Text Analytics	0	1.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Identity Control	0	1.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Data Visualization	1.91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Idea Sharing	0.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Mobil Marketing	0.48	0	0.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0
提案の合計	5.25	2.09	0.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクト	Jul 13	Aug 13	Sep 13	Oct 13	Nov 13	Dec 13	Jan 14	Feb 14	Mar 14	Apr 14	May 14	Jun 14
Product Configurator	1.91	2.09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Location Intelligence	1.91	2.09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Data Mining Expansion	0	0	0	0.52	1.11	0.95	1.05	0	0	0	0	0
E-Learning	1.91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SFA Mobile	0	0	0.48	1.05	1.11	0.95	0	0	0	0	0	0
プロジェクトの合計	5.73	4.18	0.48	1.57	2.21	1.9	1.05	0	0	0	0	0
資産	Jul 13	Aug 13	Sep 13	Oct 13	Nov 13	Dec 13	Jan 14	Feb 14	Mar 14	Apr 14	May 14	Jun 14
Web Video Conferencing	0.95	1.05	0.95	1.05	1.11	0.95	0	0	0	0	0	0
Travel Connect Mobile	0.95	1.05	0.95	1.05	1.11	0.95	0	0	0	0	0	0
Spend Management	0.95	1.05	0.95	1.05	1.11	0.95	0	0	0	0	0	0
資産の合計	2.86	3.14	2.85	3.14	3.32	2.86	0	0	0	0	0	0
合計 FTE が必要です	13.84	9.41	4.28	4.7	5.53	4.76	1.05	0	0	0	0	0
合計 FTE があります	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リソースの差分	-13.84	-9.41	-4.28	-4.7	-5.53	-4.76	-1.05	0	0	0	0	0

完了

シナリオの最適化の実行

最適化プログラム (オプティマイザ) を実行できます。このプログラムは、目標として次のいずれかを最大化するために、既存のシナリオ比較内のすべてのライフサイクルエンティティから包含または除外するライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、および資産) の最適なセットを決定します。

- **[NPV]:** [NPV] は、オプティマイザによって選択されたライフサイクルエンティティの集団的な正味現在価値です。NPV の定義については、「正味現在価値 (NPV)」(148 ページ) を参照してください。
- **[合計スコア]:** [合計スコア] は、オプティマイザによって選択されたライフサイクルエンティティの集団的な合計スコアです。ライフサイクルエンティティの合計スコアの計算方法については、「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) を参照してください。
- **[価値]:** [価値] は、オプティマイザによって選択されたライフサイクルエンティティの集団的な価値の評価です。ライフサイクルエンティティの価値の評価の計算方法については、「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ) を参照してください。

最適化ではシナリオ比較インタフェースが使用され、シナリオ比較内の 1 つ、2 つ、または 3 つすべてのシナリオに対して別々に最適化基準を指定できます。次の項で説明するように、どのシナリオについても、指定する最適化基準のセットに対して最適化結果がただ 1 つ得られます。1 つのシナリオ比較内で、異なるパフォーマンス目標または異なる最適化基準に対して異なるシナリオを最適化することがあります。

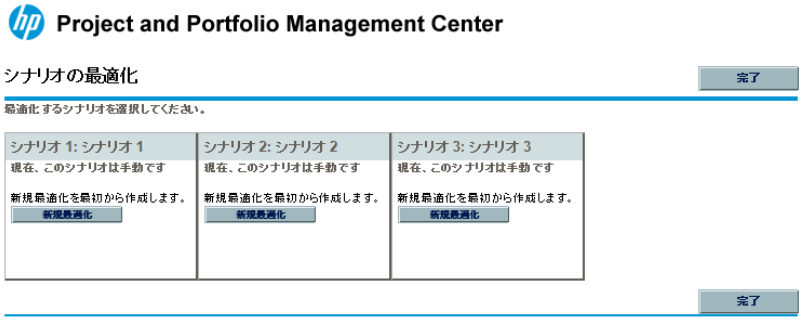
新しいシナリオの最適化の実行

特定のシナリオに対して最適化が実行されると、その結果は、シナリオ比較内のライフサイクルエンティティのうちどれがそのシナリオに含められ、どれが除外されるかについて以前に手動で (チェックボックスを使用して) 指定した内容に上書きされます。最適化する予定の元のシナリオを保持する場合、シナリオ比較をコピーし、そのシナリオの名前を変更します。詳細については、「シナリオ比較のコピー」(119 ページ) および 「シナリオの名前の変更」(120 ページ) を参照してください。

新しいシナリオの最適化を実行するには、次の手順を実行します。

1. 最適化で利用可能にするライフサイクルエンティティのセットを含むシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照してください。
2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**コピーの作成**] をクリックします。

   [シナリオの最適化] ウィンドウが開きます。



3. 1 つまたは複数のシナリオの最適化パラメータを設定するには、次の手順を実行します。

   a. 最適化するシナリオの [**新規最適化**] をクリックします。

      1つ目の [シナリオの最適化] ウィンドウ (2つある) が開きます。

   b. 最適化の目標として最大化するオプション ([NPV]、[合計スコア]、または [価値]) を指定します。

   c. サプライ予算 (存在する場合) を使用するオプションを指定します。このオプションは、このシナリオ比較に対して以前に指定した可能性があります。

   d. 指定されたリソースプール（存在する場合）を使用するオプションを指定します。このオプションは、最適化制限の一部としてこのシナリオ比較に対して以前に指定した可能性があります。

   e. (オプション) オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して許可する最大平均の [**リスクの評価**] を指定するには、[**平均リスクを次の値未満にする必要があります:**] チェックボックスを選択してから、表示された範囲内でそのフィールドに値を指定します ([**リスクの評価**] の定義については、「価値とリスクの評価の決定」(77 ページ)」を参照してください)。

f. (オプション) オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して許可する最小平均の [**価値の評価**] を指定するには、[**平均価値を次の値より大きくする必要があります:**] チェックボックスを選択してから、表示された範囲内でそのフィールドに値を指定します ([**価値の評価**] の定義については、「価値とリスクの評価の決定」(77ページ)」を参照してください)。

g. (オプション) オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して最大平均の [**カスタムフィールド**] 値を指定するには、[**カスタムフィールド値**] チェックボックスを選択してから [**平均カスタムフィールドを次の値未満にする必要があります:**] オプションを選択し、表示された範囲内で値を指定します。

   オプティマイザが選択するライフサイクルエンティティに対して最小平均の [**カスタムフィールド**] 値を指定するには、[**カスタムフィールド値**] チェックボックスを選択してから [**平均カスタムフィールドを次の値より大きくする必要があります:**] オプションを選択し、表示された範囲内で値を指定します。

h. (オプション) さまざまなビジネス目標に割り当てる予算の最小パーセントを指定するには、次の手順を実行します。

   i. [**ビジネス目標ミックス**] チェックボックスを選択します。

   ii. 表示される [**ビジネス目標**] リストからビジネス目標を選択し、[**%ミックス**] フィールドに最小予算パーセントを指定します。リスト内のほかのビジネス目標のパーセント (存在する場合) を指定するには、[**ビジネス目標の追加**] をクリックしてこの手順を繰り返します。

      すべてのビジネス目標に最小パーセントを指定する必要はありません。特定のビジネス目標のパーセントを指定したかどうかに関わらず、オプティマイザは、ライフサイクルエンティティがほかのすべての制限を満たしていれば、そのビジネス目標を使用するライフサイクルエンティティを選択できます。

      指定するビジネス目標のパーセントの合計は、95%以下である必要があります。

i. (オプション) さまざまなプロジェクトクラスに割り当てる予算の最小パーセントを指定するには、次の手順を実行します。

   i. [**プロジェクトクラスミックス**] チェックボックスを選択します。

   ii. 表示される [**プロジェクトクラス**] リストからプロジェクトクラスを選択し、[**% ミックス**] フィールドに最小予算パーセントを指定します。リスト内のほかのプロジェクトクラスのパーセント (存在する場合) を指定するには、[**プロジェクトクラスの追加**] をクリックしてこの手順を繰り返します。

   すべてのプロジェクトクラスに最小パーセントを指定する必要はありません。特定のプロジェクトクラスのパーセントを指定したかどうかに関わらず、オプティマイザは、ライフサイクルエンティティがほかのすべての制限を満たしていれば、そのプロジェクトクラスを使用するライフサイクルエンティティを選択できます。

   指定するプロジェクトクラスのパーセントの合計は、95% 以下である必要があります。

j. (オプション) さまざまな資産クラスに割り当てる予算の最小パーセントを指定するには、次の手順を実行します。

   i. [**資産クラスミックス**] チェックボックスを選択します。

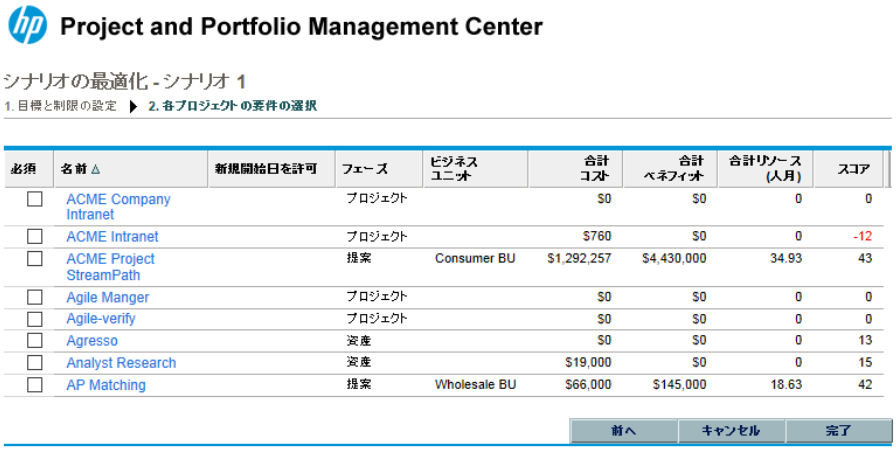
   ii. 表示される [**資産クラス**] リストから資産クラスを選択し、[**% ミックス**] フィールドに最小予算パーセントを指定します。リスト内のほかの資産クラスのパーセント (存在する場合) を指定するには、[**資産クラスの追加**] をクリックしてこの手順を繰り返します。

   すべての資産クラスに最小パーセントを指定する必要はありません。特定の資産クラスのパーセントを指定したかどうかに関わらず、オプティマイザは、ライフサイクルエンティティがほかのすべての制限を満たしていれば、その資産クラスを使用するライフサイクルエンティティを選択できます。

   指定する資産クラスのパーセントの合計は、95% 以下である必要があります。

k. [**次へ**] をクリックします。

2つ目の [シナリオの最適化] ウィンドウ (2つある) が表示され、このシナリオ比較のすべてのライフサイクルエンティティがリストされます。



必須	名前	新規開始日を許可	フェーズ	ビジネスユニット	合計コスト	合計ベネフィット	合計リソース(人月)	スコア
☐	ACME Company Intranet		プロジェクト		$0	$0	0	0
☐	ACME Intranet		プロジェクト		$760	$0	0	-12
☐	ACME Project StreamPath		提案	Consumer BU	$1,292,257	$4,430,000	34.93	43
☐	Agile Manger		プロジェクト		$0	$0	0	0
☐	Agile-verify		プロジェクト		$0	$0	0	0
☐	Agresso		資産		$0	$0	0	13
☐	Analyst Research		資産		$19,000	$0	0	15
☐	AP Matching		提案	Wholesale BU	$66,000	$145,000	18.63	42

l. [**必須**] 列のチェックボックスを使用して、シナリオの最適化に含める必要があるライフサイクルエンティティを指定します (これらのライフサイクルエンティティを含めることがパフォーマンス目標の最大化に効果があるかどうかに関わらず)。

[**必須**] 列での選択に関わらず、シナリオ比較でリストされたいずれかのライフサイクルエンティティがリストされているほかのライフサイクルエンティティとの依存関係を指定している場合、オプティマイザはそれらの依存関係に従った選択を行います。つまり、オプティマイザは依存関係違反を防止します。ただし、オプティマイザは、リスト外のライフサイクルエンティティに対する、シナリオ比較リスト内のライフサイクルエンティティの依存関係をまったく考慮しません。

m. [**新規開始日を許可**] 列内のチェックボックスを使用して、まだ開始されていない提案とプロジェクトで、オプティマイザに開始の遅延を許可することで、選択目標に対するパフォーマンスの向上につながるものを指定します。オプティマイザは、常に遅延を1か月単位で最高6か月まで考慮します。

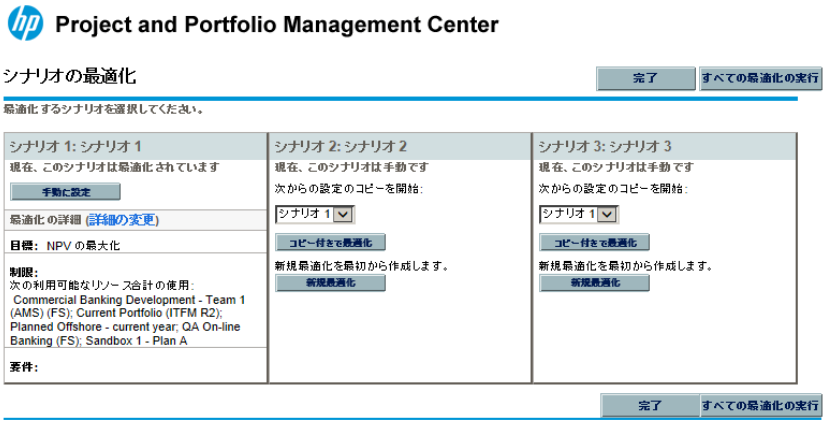
提案またはプロジェクトの計画開始日が過去の場合、その提案またはプロジェクトには、開始日を遅らせるオプションはありません。資産にこのオプションはありません。

最適化によって任意のライフサイクルエンティティの計画開始日が遅延されると、シナリオにそれらの遅延が反映されます。これは、[シナリオ詳細] ページのシナリオの [**タイムライン**] タブで、それらのライフサイクルエンティティがオレンジ色のアウトラインで囲まれていることでわかります。ただし、変更を恒久的にする場合は、ライフサイクルエンティティ自身を開いて、開始日を変更する必要があります。

n. [**完了**] を選択して2つ目の [シナリオの最適化] ウィンドウを閉じ、最適化の設定を保存します。

最適化はまだ実行されていません。

[シナリオの最適化] ウィンドウが新しいオプション付きで再び開きます。



o. このウィンドウで、次のいずれかの操作を実行します。

- 最適化パラメータを指定したシナリオに対して、[**手動に設定**] をクリックして、シナリオを最適化パラメータ設定のまったくない手動制御に戻します。
- 最適化パラメータを指定したシナリオに対して、[**詳細の変更**] リンクをクリックして、最適化パラメータを変更します。

- 手動のシナリオ (最適化されておらず [**現在、このシナリオは手動です**] と表示されるシナリオ) については、最適化済みシナリオのリストを利用できます。リストから1つのシナリオを選択し、[**コピー付きで最適化**] をクリックしてそのシナリオの最適化パラメータをコピーします。次に、それらのパラメータを変更して、異なる最適化を取得できます。

- 手動のシナリオに対して、[**新規最適化**] をクリックして、そのシナリオに新しい最適化パラメータのセットを指定します。

- [**完了**] をクリックして [シナリオの最適化] ウィンドウを閉じ、[シナリオ比較] ページのブラウザを更新します。最適化基準は、個々のシナリオの [シナリオ詳細] ページに追加される [**最適化の詳細**] タブで表示できます (詳細については本項の後半で説明します)。

  最適化はまだ実行されていません。シナリオ名をクリックすると、シナリオの最適化を実行できるウィンドウを開くことができます。

- [**すべての最適化の実行**] をクリックして、最適化パラメータを指定したすべてのシナリオに対してオプティマイザを実行します。シナリオの最適化は、この方法でのみ実行できます。手順 4に進みます。

特定のシナリオに対して最適化パラメータを指定したが、実際には最適化を実行していない場合、[シナリオ比較] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションは図 5-13のように表示されます。ただし、シナリオのリンクはシナリオが「最適化済み - 実行されていません」となっていることを示し、読み取り専用チェックマークの選択が以前の手動による選択を反映しています。

4. オプティマイザは、処理するデータの量に応じて実行にかなり時間がかかる場合があります。最適化中の各シナリオには進行状況バーが表示されます。

   計算が完了すると、[**シナリオ比較の表示**] ボタンが表示されます。

どのライフサイクルエンティティを組み合わせても指定された制限のセットを満たすことができない場合、オプティマイザは実現可能なソリューションを見つけることができません。この場合は、より緩い制限を指定して、もう一度最適化を実行します。

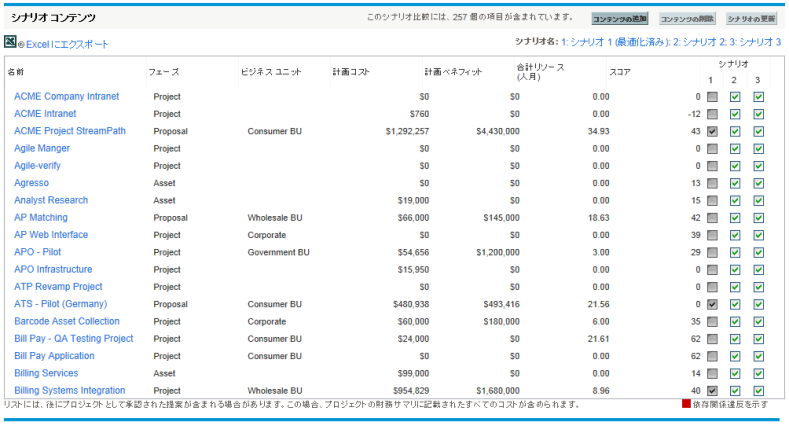
5. [**シナリオ比較の表示**] をクリックします。

   シナリオ比較が再び表示され、最適化の結果を確認できます。

次の最適化の結果を確認できます。

- [シナリオ比較] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションでは、最適化済みシナリオのすべてのライフサイクルエンティティのすべてのチェックボックスが、読み取り専用チェックマークまたは空白領域で置き換えられています。これらは、128ページの手順 3で指定した最適化基準 (必須のライフサイクルエンティティを含む)、およびシナリオ比較内のライフサイクルエンティティ間の以前に指定した依存関係に合わせて、最適化済みシナリオの各ライフサイクルエンティティをオプティマイザが含めたのか、除外したのかをそれぞれ示しています。ライフサイクルエンティティ (行) の順序は変更されません。図 5-13を参照してください。

図 5-13. 最適化済みシナリオのシナリオコンテンツ



名前	フェーズ	ビジネス ユニット	計画コスト	計画ベネフィット	合計リソース (人月)	スコア	シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3
ACME Company Intranet	Project		$0	$0	0.00	0	☐	☑	☑
ACME Intranet	Project		$760	$0	0.00	-12	☐	☑	☑
ACME Project StreamPath	Proposal	Consumer BU	$1,292,257	$4,430,000	34.93	43	☑	☑	☑
Agile Manger	Project		$0	$0	0.00	0	☐	☑	☑
Agile-verify	Project		$0	$0	0.00	0	☐	☑	☑
Agresso	Asset		$0	$0	0.00	13	☐	☑	☑
Analyst Research	Asset		$19,000	$0	0.00	15	☐	☑	☑
AP Matching	Proposal	Wholesale BU	$66,000	$145,000	18.63	42	☐	☑	☑
AP Web Interface	Project	Corporate	$0	$0	0.00	39	☐	☑	☑
APO - Pilot	Project	Government BU	$54,656	$1,200,000	3.00	29	☐	☑	☑
APO Infrastructure	Project		$15,950	$0	0.00	0	☐	☑	☑
ATP Revamp Project	Project		$0	$0	0.00	0	☐	☑	☑
ATS - Pilot (Germany)	Proposal	Consumer BU	$480,938	$493,416	21.56	0	☑	☑	☑
Barcode Asset Collection	Project	Corporate	$60,000	$180,000	6.00	35	☐	☑	☑
Bill Pay - QA Testing Project	Project	Consumer BU	$24,000	$0	21.61	62	☐	☑	☑
Bill Pay Application	Project	Consumer BU	$0	$0	0.00	62	☐	☑	☑
Billing Services	Asset		$99,000	$0	0.00	14	☐	☑	☑
Billing Systems Integration	Project	Wholesale BU	$954,829	$1,680,000	8.96	40	☑	☑	☑

- 最適化済みシナリオのデータは、[シナリオ比較] ページのすべてのタブのグラフで変更され、指定基準に従ってオプティマイザが選択したライフサイクルエンティティを反映します。

  特に、[**効率的フロンティア**] タブで以前に効率的フロンティアグラフを生成した場合 (「[効率的フロンティア] タブ」(100ページ) を参照)、すべてのシナリオを最適化したかどうかに関わらず、グラフには3つのシナリオすべてのデータポイントが表示されます (グラフには、効率的フロンティアの生成時に指定した基準も表示されます)。

効率的フロンティアと最適化済みシナリオの生成基準が同じだった場合、最適化済みシナリオのデータポイントは効率的フロンティア曲線上に位置するはずです。効率的フロンティア曲線を基準にしたシナリオのデータポイントの位置の詳細については、「[効率的フロンティア] タブ」(100ページ) を参照してください。

- 最適化済みの各シナリオで、オプティマイザによるライフサイクルエンティティの開始日の遅延を許可する場合は常に、[シナリオ詳細] ページの [**タイムライン**] タブが変更され、それらのライフサイクルエンティティを囲むオレンジ色のアウトラインで示されるように、そうした遅延を反映します (任意のシナリオ比較と同様に、ライフサイクルエンティティ自身の開始日は、手動で更新する必要があります)。

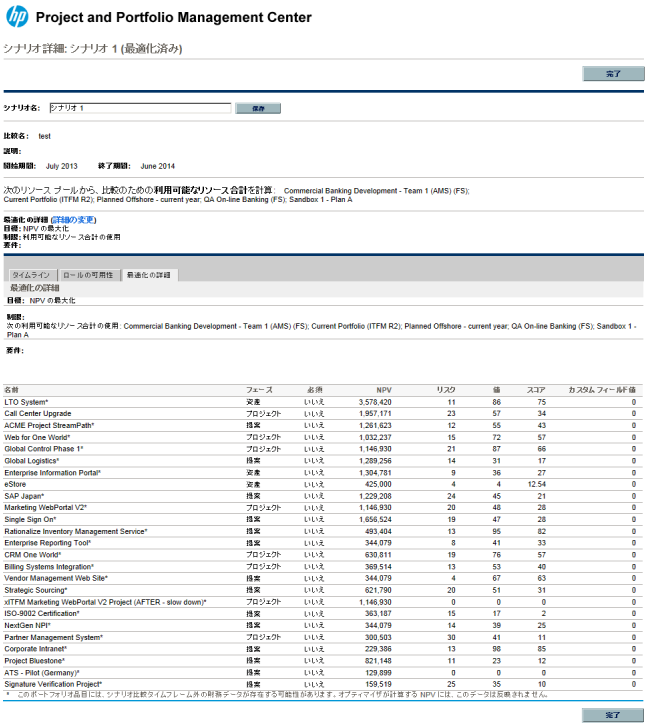
- 最適化によってシナリオから除外されるライフサイクルエンティティは、手動による指定でシナリオ比較から除外されたライフサイクルエンティティと同様に、[**タイムライン**] タブに表示されます。

- 最適化済みの各シナリオの [シナリオ詳細] ページの [**ロールの可用性**] タブのデータは、最適化結果を反映するように変更されます。

- [シナリオ詳細] ページの [**最適化の詳細**] タブでは、ライフサイクルエンティティのリストが、最適化によって識別されたライフサイクルエンティティのみ含むように変更されます。これらのエンティティは、NPV などの最適化目標の最大値から最小値へとソートされ、目標の最大化を目指す最適化における相対的影響力を示します。このリストには、最適化でどのライフサイクルエンティティを必須として指定したかについても表示されます。図 5-14 を参照してください。

  [**最適化の詳細**] タブには、128 ページの手順 b から 130 ページの手順 j で指定した基準が表示されます。また、ビジネス目標、プロジェクトクラス、および資産クラスのすべての定義済みタイプのオプティマイザによる「実際の」(計算された) パーセントも表示されます。これらのパーセントは、129 ページの手順 h から 130 ページの手順 j で指定した最小値に従います。

図 5-14. シナリオ最適化後の [最適化の詳細] タブ



Project and Portfolio Management Center

シナリオ詳細: シナリオ 1 (最適化済み)

完了

シナリオ名: シナリオ 1 保存

比較名: test

説明:

開始期間: July 2013 終了期間: June 2014

次のリソース プールから、比較のための利用可能なリソース合計を計算: Commercial Banking Development - Team 1 (AMS) (FS); Current Portfolio (ITFM R2); Planned Offshore - current year; QA On-line Banking (FS); Sandbox 1 - Plan A

最適化の詳細 (詳細の変更)
目標: NPV の最大化
制限: 利用可能なリソース合計の使用
要件:

タイムライン | ロールの可用性 | 最適化の詳細

最適化の詳細

目標: NPV の最大化

制限:
次の利用可能なリソース合計の使用: Commercial Banking Development - Team 1 (AMS) (FS); Current Portfolio (ITFM R2); Planned Offshore - current year; QA On-line Banking (FS); Sandbox 1 - Plan A

要件:

名前	フェース	必須	NPV	リスク	価	スコア	カスタム フィールド値
LTO System*	定義	いいえ	3,578,420	11	86	75	0
Call Center Upgrade	プロジェクト	いいえ	1,957,171	23	57	34	0
ACME Project StreamPath*	提案	いいえ	1,261,623	12	55	43	0
Web for One World*	プロジェクト	いいえ	1,032,237	15	72	57	0
Global Control Phase 1*	プロジェクト	いいえ	1,146,930	21	87	66	0
Global Logistics*	提案	いいえ	1,289,256	14	31	17	0
Enterprise Information Portal*	定義	いいえ	1,304,781	9	36	27	0
eStore	定義	いいえ	425,000	4	4	12.54	0
SAP Japan*	提案	いいえ	1,229,208	24	45	21	0
Marketing WebPortal V2*	プロジェクト	いいえ	1,146,930	20	48	28	0
Single Sign On*	提案	いいえ	1,656,524	19	47	28	0
Rationalize Inventory Management Service*	提案	いいえ	493,404	13	95	82	0
Enterprise Reporting Tool*	提案	いいえ	344,079	8	41	33	0
CRM One World*	プロジェクト	いいえ	630,811	19	76	57	0
Billing Systems Integration*	プロジェクト	いいえ	369,514	13	53	40	0
Vendor Management Web Site*	提案	いいえ	344,079	4	67	63	0
Strategic Sourcing*	提案	いいえ	621,790	20	51	31	0
xITFM Marketing WebPortal V2 Project (AFTER - slow down)*	プロジェクト	いいえ	1,146,930	0	0	0	0
ISO-9002 Certification*	提案	いいえ	363,187	15	17	2	0
NextGen NPI*	提案	いいえ	344,079	14	39	25	0
Partner Management System*	プロジェクト	いいえ	300,503	30	41	11	0
Corporate Intranet*	提案	いいえ	229,386	13	98	85	0
Project Bluestone*	提案	いいえ	821,148	11	23	12	0
ATS - Pilot (Germany)*	提案	いいえ	129,899	0	0	0	0
Signature Verification Project*	提案	いいえ	159,519	25	35	10	0

* このポートフォリオ品目には、シナリオ比較タイムフレーム外の財務データが存在する可能性があります。オプティマイザが計算する NPV には、このデータは反映されません。

完了

このシナリオの最適化基準は変更できます (「既存の最適化の変更」を参照)。

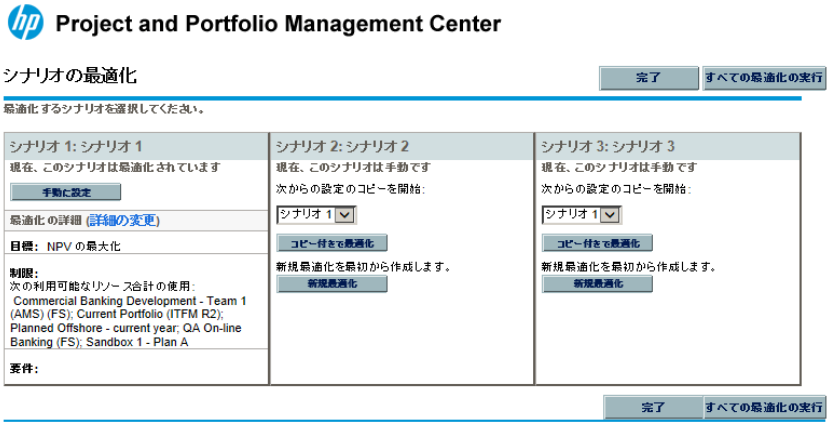
既存の最適化の変更

既存の最適化およびその基準を変更せずに保持する場合、「既存の最適化のコピー」の説明に従って、最初に最適化をコピーし、次にそのコピーを変更します。

既存の最適化を変更してから実行するには、次の手順を実行します。

1. 変更する最適化済みシナリオが含まれるシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108ページ) を参照してください。
2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**コピーの作成**] をクリックします。

   [シナリオの最適化] ウィンドウが開きます。



3. 変更する最適化済みシナリオの [**詳細の変更**] リンクをクリックします。
4. 必要に応じて2つの [シナリオの最適化] ウィンドウの基準を変更します。128ページの手順 b から開始します。

既存の最適化のコピー

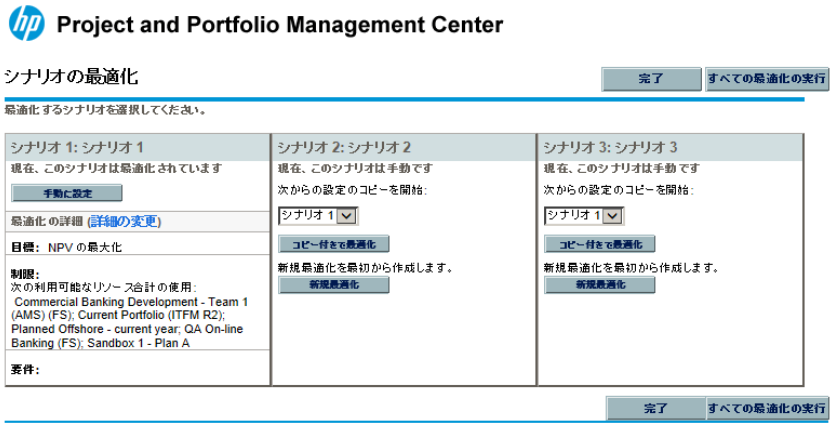
既存の最適化の生成に使用された基準を保持したまま、基準をコピーして変更し、再び最適化を実行して基準の違いによる効果を判断することもできます。次の手順を実行して、シナリオ比較でまだ最適化されていないシナリオの1つを置き換えます。

既存の最適化をコピーしてから変更するには、次の手順を実行します。

1. 最適化されたシナリオと最適化するシナリオが含まれるシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ)を参照してください。

2. [シナリオ比較] ページの上部にある [**コピーの作成**] をクリックします。

   [シナリオの最適化] ウィンドウが開きます。



   最適化されていないシナリオ比較内のシナリオ ([**現在、このシナリオは手動です**] と表示されるシナリオ) には、最適化済みのシナリオのリストと [**コピー付きで最適化**] ボタンが含まれています。

3. 最適化されていないシナリオの1つ (置換してもかまわないシナリオ) で、ドロップダウンリストからコピーするシナリオとして以前に最適化したシナリオを選択し、[**コピー付きで最適化**] をクリックします。

   以前の最適化基準がコピーされ、そのシナリオの最適化のためにコピーに変更を加えることができます。

4. 必要に応じて2つの [シナリオの最適化] ウィンドウの基準を変更します。128ページの手順 bから開始します。

最適化済みシナリオのコンテンツの変更

最適化済みシナリオを直接編集することはできません。ただし、新しい検討事項に対応するために、[シナリオの最適化] ページでそのシナリオの [**手動に設定**] をクリックすることで、最適化済みシナリオを編集可能にできます。オプティマイザがこのシナリオに対して行ったライフサイクルエンティティの選択がデフォルトとなり、編集のベースとなります。

そのシナリオの [**最適化の詳細**] タブは適用不可になり、削除されます。

シナリオ比較のアクセス権の設定

シナリオ比較と最適化へのアクセスは、セキュリティグループ定義で管理者によって設定されたアクセス許可を通じてシステムレベルで制御されます。ユーザは、所属しているセキュリティグループを通じてアクセス許可にリンクされます。シナリオ比較のアクセス許可とセキュリティグループの詳細については、『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』および『HP Portfolio Management設定ガイド』を参照してください。

さらに、ユーザに適切なシステムレベルのアクセス許可がある場合、作成したシナリオ比較の表示、基本情報の編集、コンテンツの編集、セキュリティの編集、または削除を行うことができるユーザのリストに対してアクセス権を指定できます。

次の各項では、シナリオ比較の [アクセスの設定] ページを使用してユーザに表示および編集のアクセス権を付与する方法について説明します。

ユーザの表示アクセス権の設定

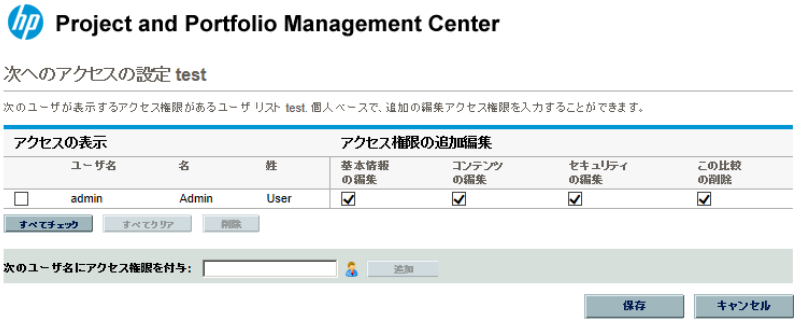
シナリオ比較を表示できるユーザのリストを設定するには、次の手順を実行します。

1. 目的のシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照してください。

   シナリオ比較へのアクセス権を変更するアクセス許可がある場合、[シナリオ比較] ページの上部にある [**アクセスの設定**] ボタンが有効になっています。

2. [**アクセスの設定**] をクリックします。

   選択したシナリオ比較の [アクセスの設定] ページが開きます。ウィンドウ左側の [**アクセスの表示**] セクションにリストされているユーザは、このシナリオ比較を表示できます。



3. ユーザまたはユーザのグループをリストに追加するには、次の手順を実行します。

   a. [**次のユーザ名にアクセス権限を付与**] リストでユーザまたはユーザのグループを選択します。テキストボックスの右側にあるアイコンを使用して、表示されるウィンドウの [**利用可能**] 列で目的の各ユーザの名前をクリックし、それらの名前を [**選択項目**] 列に移動します。

   b. [**追加**] をクリックします。

      [アクセスの設定] ページに追加されたユーザは、シナリオ比較を表示できます。

4. ユーザがシナリオ比較に表示アクセスできないようにリストからユーザまたはユーザのグループを削除するには、次の手順を実行します。

   a. ユーザ名の左側にあるチェックボックスを選択します (または [**すべてチェック**] をクリックします)。

   b. [**削除**] をクリックします。

5. [アクセスの設定] ページで [**保存**] をクリックします。

リスト上のユーザの編集能力を設定するには、「既存ユーザの編集アクセス権の設定」を参照してください。

既存ユーザの編集アクセス権の設定

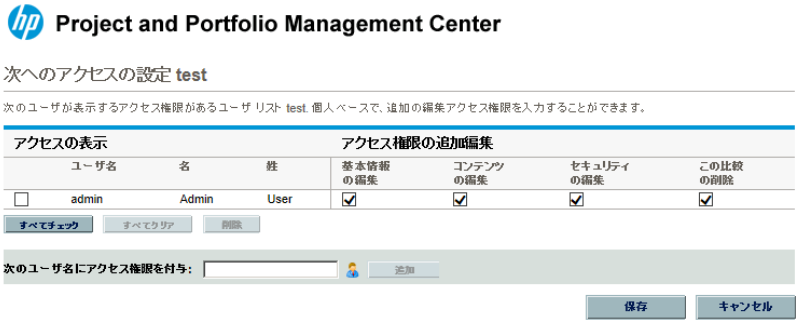
シナリオ比較に対してどのユーザがどの編集能力を持つか指定するには、次の手順を実行します。

1. アクセス権を変更するシナリオ比較を開きます。詳細については、「シナリオ比較のリストと表示」(108 ページ) を参照してください。

   シナリオ比較へのアクセス権を変更するアクセス許可がある場合、[シナリオ比較] ページの上部にある [**アクセスの設定**] ボタンが有効になっています。

2. [**アクセスの設定**] をクリックします。

   選択したシナリオ比較の [アクセスの設定] ページが開きます。ウィンドウ左側の [**アクセスの表示**] セクションにリストされているユーザは、このシナリオ比較を表示できます。



次の表に、[アクセスの設定] ページの右側にある [**アクセス権限の追加編集**] セクションで各ユーザに指定できる編集フィールドをリストします。

フィールド名	説明
基本情報の編集	ユーザが [**シナリオ比較**] ページの上部セクションにある基本情報フィールドを編集できるようにします。[**シナリオコンテンツ**] セクションの編集アクセス権は付与しません。詳細については、「シナリオ比較の基本情報の変更」(111 ページ) を参照してください。
コンテンツの編集	ユーザが [**シナリオ比較**] ページの [**シナリオコンテンツ**] セクションを編集できるようにします。上部セクションにある基本情報の編集アクセス権は付与しません。
セキュリティの編集	ユーザが [アクセスの設定] ページを使用して、シナリオ比較の表示またはセキュリティを編集できるようにします。
この比較の削除	ユーザがシナリオ比較を削除できるようにします。

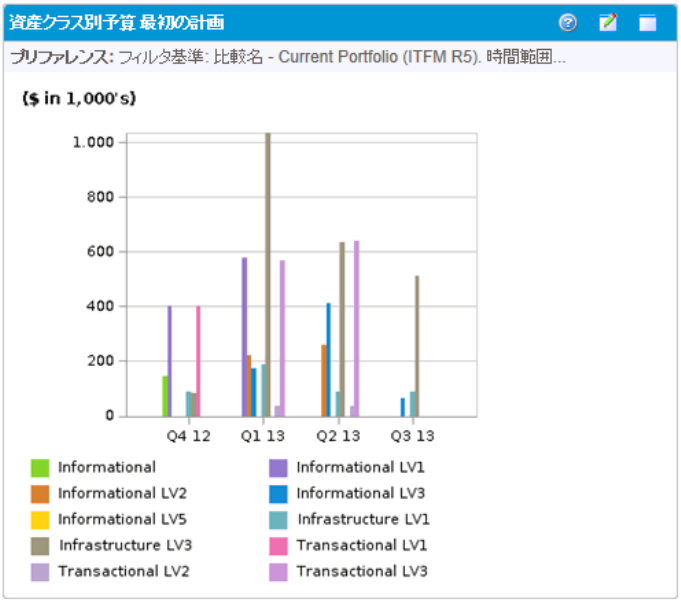
3. 必要に応じてオプション (チェックボックス) を選択または選択解除することにより、このシナリオ比較に関する各ユーザの編集オプションを設定します。
4. [**完了**] をクリックします。

シナリオ比較ポートレットの使用

HP Portfolio Managementには、シナリオ比較に基づくポートレットが用意されています。これらのポートレットは、PPM Dashboardに追加できます。ほかのフィルタ基準の中で、ポートレットで使用する1つのシナリオ比較と、ほとんどの場合そのシナリオの1つを選択します。同じシナリオに対して異なるフィルタ基準を使用する隣接するポートレット、または同じシナリオ比較または異なるシナリオ比較から選択した異なるシナリオを使用する隣接するポートレットを作成できます。

たとえば、図 5-15に、同じシナリオ比較の2つのシナリオを比較する、2つの[資産クラス別予算] ポートレットを示します(ポートレットのタイトルは手動で編集して、シナリオを「最初の計画」および「2番目の計画」として区別しています)。

図 5-15. 異なるシナリオを比較する [資産クラス別予算] ポートレット



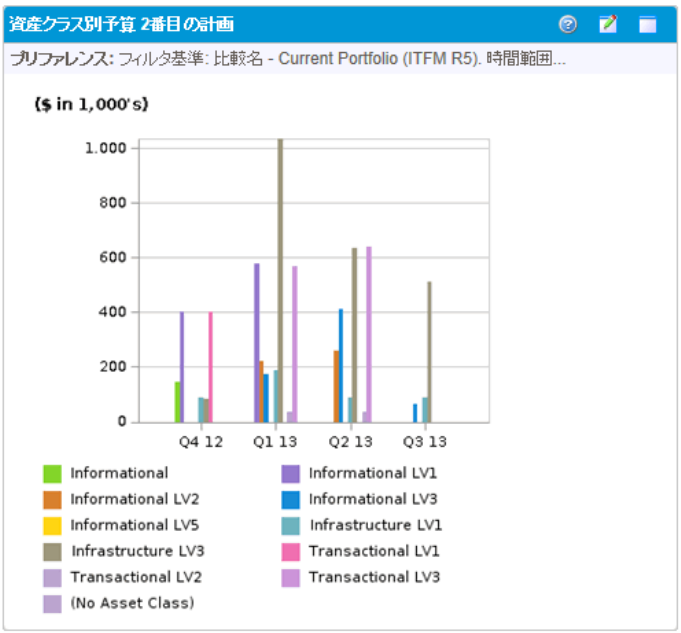


表 5-1に、使用可能なシナリオ比較ポートレットについて説明します。

表 5-1. シナリオ比較ポートレット(1/2ページ)

ポートレット	説明
資産クラス別予算	シナリオ比較から選択した1つのシナリオにのみ対応する以外は、[シナリオ比較] ページの [**資産クラス別予算**] タブとよく似ています。詳細については、「[資産クラス別予算] タブ」(97ページ) を参照してください。期間ごとに予算を表す棒が隣接した (各資産クラスにつき1本ずつ) 棒グラフを表示します。
ビジネス目標別予算	シナリオ比較から選択した1つのシナリオにのみ対応する以外は、[シナリオ比較] ページの [**ビジネス目標別予算**] タブとよく似ています。詳細については、「[ビジネス目標別予算] タブ」(99ページ) を参照してください。期間ごとに予算を表す棒が隣接した (各ビジネス目標につき1本ずつ) 棒グラフを表示します。
プロジェクトクラス別予算	シナリオ比較から選択した1つのシナリオにのみ対応する以外は、[シナリオ比較] ページの [**プロジェクトクラス別予算**] タブとよく似ています。詳細については、「[プロジェクトクラス別予算] タブ」(98ページ) を参照してください。期間ごとに予算を表す棒が隣接した (各プロジェクトクラスにつき1本ずつ) 棒グラフを表示します。
予算サマリ	シナリオ比較から選択した1つのシナリオにのみ対応する以外は、[シナリオ比較] ページの [**予算サマリ**] タブとよく似ています。詳細については、「[予算サマリ] タブ」(95ページ) を参照してください。各グラフは、資本的支出と運用支出を積み重ね棒グラフで表示します。
コストベネフィット分析	シナリオ比較から選択した1つのシナリオにのみ対応する以外は、[シナリオ比較] ページの [**コストベネフィット**] タブとよく似ています。詳細については、「[コストベネフィット] タブ」(96ページ) を参照してください。期間ごとに予定されるコストと予定されるベネフィットを表す棒グラフを表示します。
現在のポートフォリオの分析	詳細については、「[現在のポートフォリオの分析] ポートレットを使用したポートフォリオの表示」(79ページ) を参照してください。

表 5-1. シナリオ比較ポートレット(2/2ページ)

ポートレット	説明
ポートフォリオ (<**カテゴリ別**>)	詳細については、「ポートフォリオ (<カテゴリ>別) ポートレットを使用したポートフォリオデータの表示」(80ページ) を参照してください。
合計予算	[シナリオ比較] ページの [**概要**] タブに表示される [コスト計画] グラフとよく似ています。詳細については、「[概要] タブ」(93ページ) を参照してください。期間ごとに各シナリオが消費する合計予算、およびサプライ予算 (指定されている場合) を表示します。
合計リソース	[シナリオ比較] ページの [**概要**] タブに表示される [リソース計画] グラフとよく似ています。詳細については、「[概要] タブ」(93ページ) を参照してください。各シナリオに要する期間ごとの合計リソースを、使用可能な合計リソース (指定されている場合は) と併せて示します。

Portfolio Management、Financial Management、およびその他のカテゴリのほかのポートレットについては、『HPエンティティガイド』を参照してください。

付録 A　財務メトリック

合計名目収益

月次計画および実績の名目収益は、月次計画および実績のコストとベネフィットに基づいています。特定の月の名目収益とは、その月のベネフィット合計とその月のコスト合計の差額です。

名目収益＝ベネフィットーコスト

財務サマリとシナリオ比較で使用される [**名目収益**] フィールドと [**合計名目収益**] フィールドは、データがあるすべての月にわたる計画と実績のコストとベネフィットから計算されます。時間範囲全体の合計コストと合計ベネフィットを決定するために、月次貢献度は次のように個々の月の値を基にします。

- **過去の各月の場合**: レポートされている、つまり、値が空白またはゼロでない場合、実績コストが使用され、それ以外の場合、予測コストが使用されます。同様に、レポートされている場合、実績ベネフィットが使用され、それ以外の場合、予測ベネフィットが使用されます。
- **現在の月の場合**: 予測コストと実績コストの高い方が使用されます。同様に、予測ベネフィットと実績ベネフィットの高い方が使用されます。
- **将来の各月の場合**: 予測コストと予測ベネフィットが使用されます。

これらの月次金額は合計ベネフィットと合計コストを決定するために集計され、合計名目収益はその差額となります。

合計名目収益＝合計ベネフィットー合計コスト

正味現在価値 (NPV)

正味現在価値 (NPV) は、指定された割引率および名目収益実現までに許容される時間に基づいて、現在価値まで割引した合計名目収益です。

NPVは財務サマリに基づいています。NPVは、「合計名目収益」の説明に従って、財務サマリのすべての月の実績と予測のコストとベネフィットを使用して計算されます。

将来の特定の月のNPVは次のように求めます。

$$NPV = (名目収益) / (1 + i/12)^{n}$$

ここで

n	現在の月からの期間 (月) 数を表します。
名目収益	「合計名目収益」の説明に従って月nに対して計算されます。
i	年間の割引率を表します。たとえば、年間6%の割引率を表すために **[割引率]** フィールド (デフォルトでは無効) に「6」と指定すると、この公式では「i」の値として「0.06」を使用し、年12か月を反映するためにそれを「12」で割ります。

PPM Centerでは、各月の特定の名目収益を使用して、すべての月 (過去、現在、および将来) のこれらの値の合計である合計NPVを計算しレポートします。

過去および現在の月のNPVは、進行中のプロジェクトにとって有用です。

将来の月のみ割引されます。過去と現在の月では、合計の計算にそれらの名目収益を使用します。

将来のプロジェクトの例

たとえば、表 A-1 に示すような予測ベネフィットと予測コストを持ち、割引率が年間6% (つまり、月間0.5% または0.005) の4か月の将来プロジェクトがあるとします。

表 A-1. NPVの計算例

月	予測ベネフィット	予測コスト	予測ベネフィット - 予測コスト (予測名目収益)
2012年5月	$100,000	$90,000	$10,000
2012年6月	$120,000	$90,000	$30,000
2012年7月	$140,000	$40,000	$100,000
2012年8月	$140,000	$5,000	$135,000

2012年3月時点、つまりプロジェクトの開始前2か月の時点で、合計NPVは、次の金額 (1ドル未満は四捨五入) の合計となります。

- $10,000 / (1.005)^{2} ＝ $9,901 (5月)
- $30,000 / (1.005)^{3} ＝ $29,554 (6月)
- $100,000 / (1.005)^{4} ＝ $98,025 (7月)
- $135,000 / (1.005)^{5} ＝ $131,675 (8月)

この例では、合計NPVは$269,155となります。

4か月のプロジェクトの合計予測名目収益は、$275,000となります。

進行中のプロジェクトの例

今度は、同じ例で現在の月 (月が0) が6月でプロジェクトが進行中の場合を考えます。このとき、5月の「ベネフィット - コスト」の実績値が予測どおりで、その後、6月の実績コストと実績ベネフィットが予測コストと予測ベネフィットより低いため、6月には予測データが使用されるとします。その後、6月時点で、合計NPVは、次の金額 (1ドル未満は四捨五入) の合計となります。

- $10,000 (5月)
- $30,000 (6月)
- $100,000 / $(1.005)^1$ ＝ $99,502 (7月)
- $135,000 / $(1.005)^2$ ＝ $133,660 (8月)

この例では、合計NPVは$273,162となります。

索引

M

Microsoft Excel
　階層ポートフォリオのエクスポート , **62**

N

NPV (正味現在価値), **148**

NPV の計算のための割引率 , **148**

P

PFM - 資産リクエスト
　資産を参照

PFM - 提案リクエスト
　提案を参照

PFM - プロジェクトリクエスト
　プロジェクトを参照

Portfolio Management, **9**
　What-If 分析 , **83**
　階層ポートフォリオ
　　ポートフォリオ、階層を参照
　作成
　　ライフサイクルエンティティ , **13**
　シナリオ比較
　　シナリオ比較を参照
　ビジネス目標の作成とリンク , **27**
　ポートフォリオの分析 , **69**
　ポートフォリオ、階層
　　ポートフォリオ、階層を参照
　ポートレット
　　現在のポートフォリオの分析 , **79**
　　シナリオ比較 , **143**
　　ポートフォリオ (カテゴリ別), **80**
　ライフサイクルエンティティのスコア , **77**

Portfolio Management でのリンク
　ビジネス目標からエンティティへ , **27**

W

What-If 分析 , **83**
　シナリオ比較結果の使用 , **93**
　シナリオ比較の作成 , **84**

あ

アクセス権
　シナリオ比較 , **139**
　ポートフォリオ、階層 , **64**

アクセス制御リスト (ACL)
　アクセス権を参照
　アクセス権を参照

え

エクスポート
　階層ポートフォリオから Microsoft Excel へ , **62**

か

階層ポートフォリオ
　ポートフォリオ、階層を参照

階層ポートフォリオの下位ポッドタブ , **43**

階層ポートフォリオの概要タブ , **41**

階層ポートフォリオの提案 / プロジェクト / 資産タブ , **52**

階層ポートフォリオのプログラム , **47**

階層ポートフォリオのプログラムタブ , **47**

階層ポートフォリオの予算の減損グラフ , **41**

下位ポートフォリオ , **31**, **43**
　階層ポートフォリオからの削除 , **46**
　階層ポートフォリオへの追加 , **45**
　ポートフォリオ内の階層 , **34**

管理
　シナリオ比較
　　シナリオ比較を参照

こ

合計名目収益 , **147**

効率的フロンティアグラフ
　概要 , **100**
　生成 , **102**

コピー
　シナリオの最適化 , **138**
　シナリオ比較 , **119**

さ

最適化、シナリオ , **126**
　既存の最適化のコピー , **138**
　結果 , **134**
　最適化済みシナリオの変更 , **139**
　最適化設定の変更 , **137**
　パフォーマンス目標 , **126**

財務メトリック
　名目収益と正味現在価値 (NPV) の定義 , **147**

削除
　空の階層ポートフォリオ , **40**
　シナリオ比較 , **118**

作成
　階層ポートフォリオ , **31**, **38**
　資産 , **21**
　　最初から , **23**
　　プロジェクトから , **21**
　シナリオ比較 , **84**
　スタッフィングプロファイル , **26**
　提案 , **14**
　ビジネス目標 , **27**
　プロジェクト , **16**
　　最初から , **20**
　　提案から , **17**
　ポートフォリオ、階層 , **31**, **38**
　ライフサイクルエンティティ , **13**

し

資産 , **21**
　階層ポートフォリオ , **32**, **52**
　階層ポートフォリオからの削除 , **59**
　階層ポートフォリオへの追加 , **56**
　作成 , **21**
　資産の最初からの作成 , **23**
　プロジェクトからの資産の作成 , **21**
　ポートフォリオ内の検索 , **60**

シナリオ
　エンティティの開始日の調整
　　最適化の自動的な使用 , **131**
　　手動 , **121**
　エンティティの詳細の表示 , **123**
　最適化済みシナリオの変更 , **139**
　作成
　　シナリオ比較を参照
　変更 , **119**

シナリオエンティティの開始日、調整
最適化の自動的な使用 , **131**
手動 , **121**
シナリオ詳細
最適化の詳細タブ , **135**
タイムラインタブ , **121**
ロールの可用性タブ , **124**
シナリオ詳細の最適化の詳細タブ , **135**
シナリオ詳細のタイムラインタブ , **121**
シナリオ詳細のロールの可用性タブ , **124**
シナリオの最適化
最適化、シナリオを参照
シナリオ比較 , **84**
アクセス権 , **139**
結果 , **93**
コピー , **119**
コンテンツの変更 , **113**
最適化
シナリオ比較のすべてのエンティティの最適化を参照
削除 , **118**
作成 , **84**
シナリオ比較ページを参照
詳細の変更 , **111**
セキュリティ , **139**
選択 , **108**
表示 , **107**
変更 , **107**
ポートレット , **143**
リスト , **108**
シナリオ比較の概要タブ , **93**
シナリオ比較の効率的フロンティアタブ , **100**
シナリオ比較のコストベネフィットタブ , **96**
シナリオ比較の資産クラス別予算タブ , **97**
シナリオ比較のすべてのエンティティの最適化 , **100**
結果 , **100**
パフォーマンス目標 , **100**
シナリオ比較のビジネス目標別予算タブ , **99**
シナリオ比較のプロジェクトクラス別予算タブ , **98**
シナリオ比較の予算サマリタブ , **95**
シナリオ比較ページ , **87**
概要タブ , **93**
効率的フロンティアタブ , **100**
コストベネフィットタブ , **96**
資産クラス別予算タブ , **97**
ビジネス目標別予算タブ , **99**
プロジェクトクラス別予算タブ , **98**
予算サマリタブ , **95**
例 , **86**
シナリオ名、変更 , **120**
正味現在価値 , **148**

す

スコア、ライフサイクルエンティティ , **77**
スタッフィングプロファイル , **25**
作成とライフサイクルエンティティへのリンク , **26**

せ

セキュリティ
シナリオ比較 , **139**
ポートフォリオ、階層 , **64**
設定
財務サマリへのコストのロールアップ
スタッフィングプロファイルからライフサイクルエンティティの計画人件費へ , **26**

て

提案 , **14**
階層ポートフォリオ , **32**, **52**
階層ポートフォリオからの削除 , **59**

階層ポートフォリオへの追加 , **56**
作成 , **14**
提案からのプロジェクトの作成 , **17**
ポートフォリオ内の検索 , **60**

は

パフォーマンス目標
シナリオの最適化 , **126**
シナリオ比較のすべてのエンティティの最適化 , **100**

ひ

ビジネス目標
Portfolio Management での作成とリンク , **27**
Portfolio Management での変更 , **29**
表示
シナリオ比較 , **107**

ふ

プログラム
階層ポートフォリオ , **32**
階層ポートフォリオからの削除 , **51**
階層ポートフォリオへの追加 , **50**
プロジェクト , **16**
階層ポートフォリオ , **32**, **52**
階層ポートフォリオからの削除 , **59**
階層ポートフォリオへの追加 , **56**
作成 , **16**
提案からのプロジェクトの作成 , **17**
プロジェクトからの資産の作成 , **21**
プロジェクトの最初からの作成 , **20**
ポートフォリオ内の検索 , **60**
分析
ポートフォリオ , **67**
ポートレットの使用 , **78**
ライフサイクルエンティティの価値とリスク , **77**

へ

変更
最適化済みシナリオ , **139**
シナリオの最適化設定 , **137**
シナリオ比較
コンテンツ , **113**
シナリオ , **119**
シナリオ名 , **120**
詳細 , **111**
ビジネス目標 , **29**

ほ

ポートフォリオと下位ポートフォリオの階層 , **34**
ポートフォリオのバブルチャート , **67**
ポートフォリオ分析 , **69**
ポートフォリオマネージャ
ポートフォリオへの追加 , **63**
ポートフォリオ、階層 , **31**
Microsoft Excel にエクスポート , **62**
Microsoft Excel、エクスポート , **62**
アクセス権 , **64**
階層での検索 , **37**
下位ポートフォリオ , **31**
下位ポートフォリオタブ , **43**
下位ポートフォリオの削除 , **46**
下位ポートフォリオの追加 , **45**
下位ポートフォリオを持つ階層 , **34**
概要タブ , **41**
空の削除 , **40**
作成 , **31**, **38**
資産 , **32**, **52**
資産の削除 , **59**
資産の追加 , **56**
セキュリティ , **64**
提案 , **32**, **52**
提案の削除 , **59**
提案の追加 , **56**

提案 / プロジェクト / 資産タブ , **52**
提案、プロジェクト、および資産の検索 , **60**
テーブル、列の変更 , **61**
プログラム , **32**
プログラムタブ , **47**
プログラムの削除 , **51**
プログラムの追加 , **50**
プロジェクト , **32**, **52**
プロジェクトの削除 , **59**
プロジェクトの追加 , **56**
ヘッダ , **40**
変更 (テーブルの列), **61**
ポートフォリオマネージャの追加 , **63**
予算の減損グラフ , **41**
ライフサイクルエンティティ , **32**, **52**
ライフサイクルエンティティの削除 , **59**
ライフサイクルエンティティの追加 , **56**

ポートレット
現在のポートフォリオの分析 , **79**
シナリオ比較 , **143**
ポートフォリオ (カテゴリ別), **80**

め

名目収益 , **147**

メトリック、財務
財務メトリックを参照

も

目標、ビジネス
ビジネス目標を参照

目標、パフォーマンス
シナリオの最適化 , **126**
シナリオ比較のすべてのエンティティの最適化 , **100**

ら

ライフサイクルエンティティ , **10**, **13**, **31**, **67**, **83**
階層ポートフォリオ , **32**, **52**
階層ポートフォリオからの削除 , **59**
階層ポートフォリオへの追加 , **56**
価値の評価 , **77**
作成 , **13**
資産 , **21**
資産も参照
スコア , **77**
提案 , **14**
提案も参照
プロジェクト , **16**
プロジェクトも参照
リスクの評価 , **77**

ライフサイクルエンティティの価値の評価 , **77**

ライフサイクルエンティティのリスクの評価 , **77**